

新座市立大和田小学校屋内運動場解体工事

建築解体図						電気設備解体図						機械設備解体図					
図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺			
一 般 図			既存図 耐震補強等工事 H14			既存図 1階 部分用途変更工事（放課後児童室保育室改修） H20			KE-01	幹線設備 R階平面図（撤去）	1/200	KM-01	空調換気設備 機器表・凡例（撤去図）	NON			
KA-01	一般図 特記仕様書1(解体)	NON	KA-45	耐震補強等工事時 仕上表 (H14)	NON	KA-89	用途変更時 改修仕上表 (H20)	NON	KE-02	幹線設備 ビック平面図（撤去）	1/200	KM-02	空調換気設備 系統図（撤去図）	NON			
KA-02	一般図 特記仕様書2(解体)	NON	KA-46	耐震補強等工事時 改修平面図(1階・2階) (H14)	1/100	KA-90	用途変更時 改修平面図 (H20)	1/50	KE-03	外構図（撤去）	1/200	KM-03	空調設備 1・2階平面図（撤去図）	1/150			
KA-03	一般図 特記仕様書3(アスベスト)	NON	KA-47	耐震補強等工事時 改修平面図(3階・R階) (H14)	1/100	KA-91	用途変更時 展開図・建具表 (H20)	1/100	KE-04	幹線動力設備 1、2階平面図（撤去）	1/100	KM-04	換気設備 1・2階平面図（撤去図）	1/150			
KA-04	一般図 アスベスト含有一覧表	NON	KA-48	耐震補強等工事時 改修立面図 (H14)	1/100				KE-05	電灯設備 1階平面図（撤去）	1/100	KM-05	給排水衛生消火設備 機器表・器具表・凡例（撤去図）	NON			
KA-05	一般図 解体建築物 面積表・求積図1	1/200	KA-49	耐震補強等工事時 改修断面図 (H14)	1/100	既存図 1階 ビロティ倉庫増築 H22			KE-06	電灯設備 2、3階平面図（撤去）	1/100	KM-06	給排水衛生消火設備 系統図（撤去図）	NON			
KA-06	一般図 解体建築物 面積表・求積図2	1/200	KA-50	耐震補強等工事時 体育館棟 矩計図-1 (H14)	1/50	KA-92	増築倉庫時 仕上表・平面詳細図・矩形図 (H22)	1/25	KE-07	非常照明・誘導灯設備 1階平面図（撤去）	1/100	KM-07	給排水衛生消火設備 1・2・3階平面図（撤去図）	1/150			
KA-07	一般図 仮設計面図1（参考）	1/400、1/40	KA-51	耐震補強等工事時 体育館棟 矩計図-2 (H14)	1/50	KA-93	増築倉庫時 展開図・建具表 (H22)	1/50	KE-08	非常照明・誘導灯設備 2、3階平面図（撤去）	1/100	KM-08	給排水衛生消火設備 1階平面詳細図（1）（撤去図）	1/50			
KA-08	一般図 仮設計面図2(解体後平面図)（参考）	1/400、1/40	KA-52	耐震補強等工事時 体育館棟 1階平面詳細図-1 (H14)	1/50	KA-94	増築倉庫時 部分詳細図 (H22)	1/5	KE-09	ｺﾝﾍﾞ設備 1階平面図（撤去）	1/100	KM-09	給排水衛生消火設備 1階平面詳細図（2）（撤去図）	1/50			
			KA-53	耐震補強等工事時 体育館棟 1階平面詳細図-2 (H14)	1/50				KE-10	ｺﾝﾍﾞ設備 2、3階平面図（撤去）	1/100						
現 況 図			KA-54	耐震補強等工事時 体育館棟 2階平面詳細図-1 (H14)	1/50	既存図 非構造部材耐震化等改修工事 H26			KE-11	校舎棟 弱電設備 1階平面図（撤去）	1/200						
KA-09	現況図 案内図・配置図	1/300	KA-55	耐震補強等工事時 体育館棟 2階平面詳細図-2 (H14)	1/50	KA-95	2・3階改修時 仕上表・建具表 (H26)	1/100	KE-12	校舎棟 弱電設備 ビック階平面図（撤去）	1/200						
KA-10	現況図 既存屋内運動場 1階・R階平面図	1/120	KA-56	耐震補強等工事時 体育館棟 3階平面詳細図-1 (H14)	1/50	KA-96	2・3階改修時 断面詳細図 (H26)	1/50、1/20	KE-13	弱電設備 1階平面図（撤去）	1/100						
KA-11	現況図 既存屋内運動場 2階・3階平面図	1/120	KA-57	耐震補強等工事時 体育館棟 展開図-1 (H14)	1/100	KA-97	2・3階改修時 展開図 (H26)	1/100	KE-14	弱電設備 2、3階平面図（撤去）	1/100						
KA-12	現況図 既存屋内運動場 立面図	1/100	KA-58	耐震補強等工事時 体育館棟 展開図-2 (H14)	1/100	KA-98	2・3階改修時 天井伏図 (H26)	1/100	KE-15	放送・ｲﾝﾀｰﾎﾞｰﾙ呼出設備 1階平面図（撤去）	1/100						
KA-13	現況図 既存屋内運動場 断面図	1/100	KA-59	耐震補強等工事時 体育館棟 天井伏図 (H14)	1/100	KA-99	2・3階改修時 雑詳細図1（競技場床詳細図1） (H26)	1/100	KE-16	放送・ｲﾝﾀｰﾎﾞｰﾙ呼出設備 2、3階平面図（撤去）	1/100						
			KA-60	耐震補強等工事時 体育館棟 建具表 (H14)	1/100	KA-100	2・3階改修時 雑詳細図2（競技場床詳細図2） (H26)	1/5	KE-17	自動火災報知設備 1階平面図（撤去）	1/100						
既存図 体育館新築工事 S48			KA-61	耐震補強等工事時 体育館棟 基礎・2階伏図 (H14)	1/100	KA-101	2・3階改修時 雑詳細図3（体育器具詳細図1） (H26)	1/100、1/30	KE-18	自動火災報知設備 2、3階平面図（撤去）	1/100						
KA-14	新築工事時 仕上表 (S48)	NON	KA-62	耐震補強等工事時 体育館棟 3階・R階伏図 (H14)	1/100	KA-102	2・3階改修時 雑詳細図4（体育器具詳細図2） (H26)	1/100、1/30									
KA-15	新築工事時 平面図 (S48)	1/150	KA-63	耐震補強等工事時 体育館棟 軸組図(1) (H14)	1/100												
KA-16	新築工事時 立面図 (S48)	1/150	KA-64	耐震補強等工事時 体育館棟 軸組図(2) (H14)	1/100	外構解体工事											
KA-17	新築工事時 矩計詳細図 (S48)	1/30	KA-65	耐震補強等工事時 体育館棟 1通り改修計画図 (H14)	1/40、1/20	KA-103	解体 外構図	1/100									
KA-18	新築工事時 階段詳細図 (S48)	1/50	KA-66	耐震補強等工事時 体育館棟 8通り改修計画図 (H14)	1/40	KA-104	解体 外構詳細図1（ゴミ置場、生ゴミ処理機置場）	1/50、1/20									
KA-19	新築工事時 便所詳細図1 (S48)	1/50、1/20	KA-67	耐震補強等工事時 体育館棟 鉄筋コンクリート増設壁詳細図 (H14)	1/40	KA-105	解体 外構詳細図2（渡り廊下、ｺﾞﾌﾞ・階段）	図示									
KA-20	新築工事時 便所詳細図2 (S48)	図示	KA-68	耐震補強等工事時 体育館棟 10通り鉄骨補強ブレース詳細図 (H14)	1/30	KA-106	解体 外構詳細図3（校舎鉄骨外部階段）	1/50、1/10									
KA-21	新築工事時 教室・ピロティ展開図 (S48)	1/50、1/20	KA-69	耐震補強等工事時 体育館棟 A-D通り鉄骨補強ブレース詳細図 (H14)	1/30	KA-107	解体 外構詳細図4 舗装・工作物1	図示									
KA-22	新築工事時 共通詳細図1 (S48)	1/20、1/2	KA-70	耐震補強等工事時 体育館棟 部分詳細図(1) (H14)	1/10	KA-108	解体 外構詳細図5 舗装・工作物2	図示									
KA-23	新築工事時 教室詳細図2 (S48)	1/20	KA-71	耐震補強等工事時 体育館棟 部分詳細図(2) (H14)	1/10	KA-109	解体 外構詳細図6（遊具移設・他）	1/20、1/50									
KA-24	新築工事時 図工室展開図 (S48)	1/50、1/20	KA-72	耐震補強等工事時 体育館棟 鉄骨ブレース接合部詳細図(1) (H14)	1/10												
KA-25	新築工事時 図書室展開図 (S48)	1/50	KA-73	耐震補強等工事時 体育館棟 鉄骨ブレース接合部詳細図(2) (H14)	1/10												
KA-26	新築工事時 理科室・器具庫展開図 (S48)	1/50、1/20	KA-74	耐震補強等工事時 体育館棟 鉄骨基準図(1) (H14)	NON												
KA-27	新築工事時 3階展開図 (S48)	1/50、1/20	KA-75	耐震補強等工事時 体育館棟 鉄骨基準図(2) (H14)	NON												
KA-28	新築工事時 舞台廻り詳細図 (S48)	1/50、1/20	KA-76	耐震補強等工事時 体育館棟 各部詳細図 (H14)	NON												
KA-29	新築工事時 競技場展開図1 (S48)	1/50															
KA-30	新築工事時 競技場展開図2 (S48)	1/50	耐震補強工事(増築棟) H14														
KA-31	新築工事時 天井伏図1 (S48)	1/50	KA-77	耐震補強等工事時 増築棟 矩計図-1 (H14)	1/50												
KA-32	新築工事時 天井伏図2・面積表 (S48)	1/100、1/300	KA-78	耐震補強等工事時 増築棟 矩計図-2 (H14)	1/50												
KA-33	新築工事時 建具表1 (S48)	1/20	KA-79	耐震補強等工事時 増築棟 1階平面詳細図 (H14)	1/50、1/100												
KA-34	新築工事時 建具表2 (S48)	1/100	KA-80	耐震補強等工事時 増築棟 2階平面詳細図 (H14)	1/50												
KA-35	新築工事時 建具表3 (S48)	1/100	KA-81	耐震補強等工事時 増築棟 エレベーター詳細図 (H14)	1/20、1/50												
KA-36	新築工事時 天井詳細図 (S48)	NON	KA-82	耐震補強等工事時 増築棟 E廻り基礎・1・2・R階梁伏図・軸組図 (H14)	1/100												
KA-37	新築工事時 体育器具詳細図1 (S48)	1/100、1/20	KA-83	耐震補強等工事時 増築棟 梁・床板・壁リスト (H14)	1/30												
KA-38	新築工事時 体育器具詳細図2 (S48)	1/20	KA-84	耐震補強等工事時 増築棟 配筋詳細図 (H14)	1/40、1/30												
KA-39	新築工事時 基礎伏図 基礎柱・地中梁リスト (S48)	図示															
KA-40	新築工事時 2・3階梁伏図 梁リスト (S48)	1/200、1/50	耐震補強工事(共通) H14														
KA-41	新築工事時 R階梁伏図 梁リスト (S48)	図示	KA-85	耐震補強等工事時 共通 仕上基準図-1 (H14)	1/5												
KA-42	新築工事時 鉄筋コンクリート基準配筋図 (S48)	NON	KA-86	耐震補強等工事時 共通 部分詳細図-1 (H14)	1/20、1/50												
KA-43	新築工事時 ㇿ・2列ラメン配筋図 (S48)	1/50	KA-87	耐震補強等工事時 共通 部分詳細図-2 (H14)	図示												
KA-44	新築工事時 鉄骨詳細図・鉄骨特記仕様 (S48)	図示	KA-88	耐震補強等工事時 共通 サイン計画図 (H14)	1/20、1/50												

整理番号	注記													設計年月			工事名称			KA-00	
														2025.12			新座市立大和田小学校屋内運動場解体工事				
																	図面名称		縮尺		
																	表紙・図面リスト		A1= NON A3= NON		

工 事 名		新座市立大和田小学校屋内運動場解体工事																																										
特記仕様書																																												
I 工 事 概 要																																												
1. 工 事 場 所		埼玉県新座市大和田1-1-30 用途地域 第1種住居地域【過半】 商業地域																																										
2. 敷地面積		11,930.72㎡																																										
3. 工事種目		棟 名 称 ・ 構 造 ・ 階 数	建築面積 延べ面積																																									
(建物概要)		既存体育館 地上3階建 RC造一部S造 耐火建築物																																										
解体対象																																												
■体育館解体		819.62㎡	1,609.40㎡																																									
■ゴミ置場、生ゴミ処理機置場他 7棟 解体		71.02㎡	29.610㎡																																									
合 計		890.64㎡	1,639.01㎡																																									
4. 工事範囲		敷地内建築物8棟（校舎階段除く）解体・撤去処分（アスベスト除去工事含む） 解体建物に関する電気・機械設備の撤去及び埋設物（配管/配線/枓等）の撤去 建物解体撤去後（工作物含む）の整地																																										
5. 工 期		契約工期	契 約 日 から令和8年11月30日まで																																									
		主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間	現場施工に着手するまで																																									
		現場代理人の現場への常駐を要しない期間	現場施工に着手するまで																																									
		現場施工期間	令和8年4月15日から令和8年11月15日まで																																									
		ただし、仮設工事等は施設との協議による																																										
II 解体工事仕様																																												
(1) 質問回答書、本特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて埼玉県建築工事特別共通仕様書、国土交通省大臣官庁営繕部監修「建築物解体工事共通仕様書(令和4年版)」により、これら共通仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(令和4年版)」及び「公共建築改修工事標準仕様書(令和4年版)」による。 なお、新たな版が出版され、当該基準によりがたい場合は、監督員と協議し、適用する基準等を決定する。																																												
(2) 本特記仕様書の表記 1) 項目は、番号に○印のついたものを適用する。 2) 特記事項は、○印のついたものを適用する。 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。 ◎印の場合は、○のみを適用する。 3) 特記事項に記載の〔 〕内の表示記号は、「埼玉県建築工事特別共通仕様書」の当該項目を示す。 4) 特記事項に記載の〔 〕内の表示記号は、「建築物解体工事共通仕様書」の当該項目を示す。 5) 特記事項に記載の〔 〕内の表示記号は、「公共建築改修工事標準仕様書」の当該項目を示す。 6) 特記事項に記載の〔 〕内の表示記号は、「公共建築工事標準仕様書」の当該項目を示す。 7) 注は標準仕様書記載事項で、注意すべきものを示す。																																												
章	項 目	特 記 事 項																																										
一般共通事項	1 ① 適用基準等	○建設工事公衆災害防止対策要綱（建築工事編）（令和元年9月2日適用） ○埼玉県建築工事に伴う災害、公害及び事故防止対策要領（令和2年4月1日改定） ○建設副産物の手引き（埼玉県建設副産物対策協議会）（令和5年1月改訂） ○建設副産物適正処理推進要綱（平成14年5月30日改正） ○建設工事に伴う騒音振動対策技術指針（平成29年4月1日改正） ○埼玉県建築工事業務要領（令和5年版） ○地盤変動影響調査算定要領（令和5年4月1日適用）																																										
	2 ② 官公署その他への届出手続き等	解体工事の通知書の提出等 ※「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（以下、「建設リサイクル法」という。）第11条の規定による通知書を作成し、監督員に提出すること ※上記通知書の各事項（変更がある場合は、変更後の内容）について、下請業者に周知徹底すること。																																										
	3 ③ 条件明示事項	再資源化等完了の報告と記録 ※廃棄物の再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条第1項の規定により、監督員に書面で報告するとともに、再資源化等の実施状況に関して記録を作成し、保存すること。																																										
	4 ④ 工事実績情報の登録	その他の届出手続等 ※その他、関係官公署その他の関係機関への必要な届出手続等を滞滞なく行う。																																										
	5 ⑤ 工事の記録等	埼玉県電子納品運用ガイドラインの適用 ※対象（建築・設備工事電子納品写真作成要領による。CD-R又はDVD-Rを1部提出）・対象外 注 工事写真は、着工前、各工程における作業状況、解体材の分別状況、完了時について、「埼玉県建築工事写真作成要領」を参考に監督員と協議し、監督員の指示により撮影する 注 電子データを用いた検査に必要な機器は、検査員の意向を勘案し監督員と協議し準備する。																																										
	6 ⑥ 施工管理	※現場代理人は現場に常駐し、現場の運営、取締りを行う。 ※専任された「建設業法」に基づく主任技術者、又は選任された建設リサイクル法に基づく技術管理者は、現場に常駐し、技術管理にあたる。																																										
	7 ⑦ 電気保安技術者	適用する																																										
	8 ⑧ 施工条件	施工時間 〔1.3.5〕〔1.3.5〕 ※行政機関の休日に関する法律（S63第91号）に定める行政機関の休日以外とする。 ただし、監督員の承諾を受けた場合はこの限りでない。 ・以下の期間を除いた現場閉鎖日数の割合が28.5%(8日/28日)以上であること。 年末年始6日間、夏休み3日間、工場製作のみの期間、工事全体の一時中止期間 指定期間（ 下記以外は監督員と協議する。 ・建設発生木材仮置場（※図示 〃） ・（※図示 〃）																																										
	9 ⑨ 環境保全等	建設機械 ※建設機械は、原則として、排出ガス対策型、低騒音型、低振動型を使用する。〔1.3.9〕 引き渡しを要するもの〔1.3.10〕 <table><tr><th>名 称</th><th>仕 様 等</th><th>備 考</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>		名 称	仕 様 等	備 考																																						
	名 称	仕 様 等	備 考																																									
10 引き渡しを要するもの	引き渡しを要するもの〔1.3.10〕 <table><tr><th>名 称</th><th>仕 様 等</th><th>備 考</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>		名 称	仕 様 等	備 考																																							
名 称	仕 様 等	備 考																																										
11 近隣に対する周知	○工事に先立ち、監督員と打ち合わせの上、住民及び関係自治会等に対して〔1.3.6〕工事説明会を開催する。 ○工事に先立ち、「工事のお知らせ」等を配布し、周知する。 ・																																											
12 施工数量調査	調査範囲及び調査方法 ※図示による（ 〃 ） 〔1.5.1〕																																											
13 技能士	適用する（ 〃 ）及び作業（ 〃 ） 〔1.3.3〕〔1.6.2〕																																											
14 完成図等	完成図（電子化媒体） ※CD-R又はDVD-R、1部 （埼玉県建築工事図面情報電子化媒体作成要領による） CADデータの形式 ※SXF(sfx) ・DXF 〇JWW ver1については監督員と協議する。 完成図（紙媒体） ※二つ折り（A2版）製本 1部 〔1.6.1、3〕																																											
15 完成写真	埼玉県電子納品運用ガイドラインの適用 〔1.6.2〕 ※対象（建築・設備工事電子納品写真作成要領による。CD-R又はDVD-Rを1部提出）・対象外 写真アルバムの提出 ・行う（1部） ※行わない																																											
16 施設CADデータの更新	行う																																											
17 現場管理	別途関連工事がある場合、その施工者と密な連絡をとり、全工事に支障のないよう施工すること。																																											
18 施工計画書の提出	工事着手前に施工計画書を作成し、「分別解体等の計画等」を添付して監督員の承諾を受けること。 〔1.2.2〕																																											
19 建築物除却届の提出	工事着手前に先立ち、建築基準法第15条第1項の規定による「建築物除却届」を作成し、監督員に提出すること。 〔1.1.3〕																																											
20 再資源化等	「建設リサイクル法」、「彩の国建設リサイクル実施指針」、「建設副産物の手引き」等を遵守し、建設廃棄物の再資源化等を推進すること。 〔1.3.9〕																																											
21 再資源化等完了の報告と記録	廃棄物の再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条第1項の規定により、監督員に書面で報告するとともに、再資源化等の実施状況に関して記録を作成し保存すること。																																											
22 廃棄物の処理	※「廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)」を遵守し、マニフェストシステムにより適正に処理すること。 ※過渡期等の違法行為の防止を図るとともに、道路交通法遵守を下請業者に徹底すること。																																											
23 環境・安全対策	※工事着手前に付近の状況を調査し、環境保全ならびに安全対策に配慮し、工事を行うこと。 ※工事の施工にあたり、騒音、振動、ほこりの発生、土壌汚染、排水汚染などがなくよう、万全の対策を講じること。 ※工事施工中、近隣（近隣住民・運行人・工作物・積載・道路・建築物等）に損害を与えた場合には、受注者の責任において、損害の補償又は現状に復旧するものとする。																																											
24 振動、騒音測定	※行う ・振動測定のみ行う 工事施工中、監督員の指定した場所に常設して行う。 箇所 2箇所 工事中の内容や状況に応じて測定を行う。 仕様については監督員と協議の上決定すること 近隣住民への表示 ※大型表示板で測定期間中表示 〇行わない																																											
25 隣接建物等調査	※専門業者による周辺家屋の事前調査を行う。調査に当たっては当該関係者の立ち会いを求めると共に、調査した内容については当該関係者の承諾を受けること。 ※損傷箇所の測定、写真撮影、スケッチ、調査図等の作成を行い資料を2部提出すること。 ※受注者の過失により近隣等に損害が生じた場合は受注者の責任に置いて現状復旧すること。 ※調査対象 解体工事前 件 調査方法については、「8 周辺建築物等調査」による																																											
26 施工に注意を要する区域等	本工事場所は以下の区域等に指定等されているため、施工計画の作成 〔1.1.12、13〕及び施工に当たっては関係法令等の遵守に十分注意する。 ・周知の埋蔵文化財包蔵地 ・史跡名勝天然記念物																																											
27 関係法令等の遵守	受注者は工事に伴う道路占用許可、環境(騒音、振動、ほこり等)対策に 〔1.1.13〕に係る諸申請等関係法令に照らし、必要と思われる手続を行い、工事を滞滞なく完了させること。																																											
28 標識の提示	建設業法第40条及び建設リサイクル法第33条に規定する標識を掲示すること。〔1.1.12〕公共工事現場へのコスト表示実施要領（H16.9技管）により、請負金額等を表示する。																																											
29 既存樹木の保存	監督員の指示を受けた既存樹木等については、保護を行う。																																											
30 下請業者の選定	県内業者の活用 ※各種下請業者については、優先的に県内業者を選定すること。 ※下請け業者に解体工事業業者を選定する場合は、所定の建設業許可又は埼玉県知事による解体工事業の登録している者を選定すること。																																											
31 下請業者の指導	受注者は、建設廃棄物の再資源化等を適切に行うよう下請業者を指導すること。																																											
32 その他	他の同時期の工事と連携や協議を取ること。 工事に伴い必要な諸官庁等への手続き・届出・申請は本工事に含む。 近隣への影響を配慮した工法に努めること。																																											
2 ① 騒音・粉じん等の対策	騒音・粉じん等の対策 ※防音パネル ・防音シート 設置範囲及び高さ ※図示 〇解体建物周囲 ※作業に先立ち、散水・養生等を十分に行うこと。 〔2.2.1〕																																											
2 ② 足場その他	足場を設ける場合、「『手すり先行工法に関するガイドライン』について」（厚生労働省 平成21年4月）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」によるものとし、足場の組立、解体、変更の作業時及び使用時には、常時、すべての作業床について手すり、中さん及び柵体の機能を有するものを設置しなければならない。 なお、設置においては、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。 〔2.2.2〕 足落制止用器具の使用は、「『足落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン』（厚生労働省 H30.6.22)による。 〇フルハーネス型足落制止用器具を用いる。 幅が1メートル以上の箇所において足場を使用するときは、原則として本足場を使用する（労働安全衛生規則第561条の2)																																											
3 ① 仮囲い等	※図示 〃 図示の有無に関わらず、監督員と協議の上、必要に応じ適切に配置し的確に対応すること。 〔2.2.2〕 設置する 規模 〃 備品（ 〃 ） ・机 ・椅子 ・書棚 ・風板 ・掛時計 ・寒暖計 ・長靴 ・雨合羽 ・保護帽 ・懐中電灯 ・墜落制止用器具 ・軍手 ・衣類ロッカー ・冷暖房機器 ・消火器 ・湯沸器 ・茶器 ・掃除用具 ・電話機 ・FAX ・電子メール通信機器 ・スキャナー ・プリンター																																											
4 ② 工事概要案内板	仮設物の位置・仕様・車両の進入方法等、施設内の車両の通行路について、 〔2.3.1〕施工前に必ず監督員、施設管理者と協議すること。																																											
5 監督員事務所等	山留めの存置 〃あり(図示) ※なし 鋼矢板等の抜き跡の処理 ※図示 〃 構内既存の施設 ※利用できない 〇利用できる(※有償 ・無償) 構内既存の施設 ※利用できない 〇利用できる(※有償 ・無償) 火災防止に配慮し、火元責任者を配すること。 〇必要に応じ搬入路付近や児童安全確保のために交通誘導員を配置する。 ・図示による																																											
6 仮設物	仮設物の位置・仕様・車両の進入方法等、施設内の車両の通行路について、 〔2.3.1〕施工前に必ず監督員、施設管理者と協議すること。																																											
7 山留めの撤去	山留めの存置 〃あり(図示) ※なし 鋼矢板等の抜き跡の処理 ※図示 〃																																											
8 工事用水	構内既存の施設 ※利用できない 〇利用できる(※有償 ・無償)																																											
9 工事用電力	構内既存の施設 ※利用できない 〇利用できる(※有償 ・無償)																																											
10 火元責任者	火災防止に配慮し、火元責任者を配すること。																																											
11 交通誘導員	〇必要に応じ搬入路付近や児童安全確保のために交通誘導員を配置する。 ・図示による																																											
12 快道トイレ	仕様 ※図示																																											
13 その他	〇仮囲い等は現場の状況に合わせて適宜計画すること。 〇ゲート等の位置は監督員と協議のうえ、必要に応じ適切な位置に移動すること。 〇仮設材の位置・仕様・車両の通行路と進入方法等について、施工前に必ず監督員と協議すること。 〇近隣や施設の行事予定を把握し、工事車両の入場計画を立てること。																																											
3 1 浄化槽・排水槽等	汚水、汚物等の回収、洗浄、消毒等の措置 〃行う 〃行わない																																											
2 杭の解体	杭の解体工法 ・引抜き工法（引抜いた杭の処理 ※現場破碎 ・破碎施設搬入 ・図示） ・破碎工法 杭撤去跡の充填 充填材料 〃山砂 〇流動化処理土 ・セメントミルク																																											
3 屋外設備等	電柱の撤去 〇行う(※図示 〃) 〃行わない 外灯の撤去 〇行う(※図示 〃) 〃行わない フェンス等工作物の撤去 〇行う(※図示 〃) 〃行わない																																											
4 樹木等	樹木の伐採伐根及び移植 ※図示 〃																																											
5 地下埋設物・埋設配管	※図示 〃 埋設管の設置 ※地中埋設管(給水、排水、ガス等)については、監督員の指示による。 ※プラグ止等の措置をする 〃全て撤去する ※官公庁への申請手続きは本工事の範囲とする。																																											
6 設備機器等	解体事前処理（油類タンク） 〇機械設備図による。 ・解体に先立ち、燃料配管、燃料槽、燃料小出槽等に残油がないことを確認する。 必要に応じて残油を抜き取り、燃料を土壌に流失させないように注意する。 ・燃料槽、燃料小出槽は、洗浄のうえ中和処理を行う。 解体事前処理（冷媒） ・冷媒を屋外機にポンプダウンした撤去を行う機器は下記による。 図 面 番 号 記 号 〇冷媒を回収した後撤去を行う機器は下記による。 図 面 番 号 記 号																																											
7 解体後の整地	解体後の埋戻し及び盛土 〇行う 整地高さ ・現状G.L. 〇図示 埋戻し及び盛土の材料 ・山砂の類 ・現場の建設発生土の中の良質土 ・再生コンクリート砂 埋戻し及び盛土に当たっては、各層30cm程度毎に締め固めること。 ※行わない（基礎等撤去後は掘り付けなどにより高低差処理を行う。） 表裏の砂利敷き ※行わない 〃行う（・砂利敷き 〃種 〃 ）																																											
8 解体後の柵の設置	する（解体後、監督員の指示に従い、敷地内に進入できないよう柵、立入禁止の表示板等を設置する。）																																											
9 解体工事全般	〇工事の施工にあたり、騒音・振動については万全の対策を講じること。 〇コンクリートガラ運搬については、現地破碎を削減し、なるべく大ガラにて運搬し、処理施設にて受入れる廃棄規模に応じ破碎等を行うこと。 建設発生土について 〇場内敷均し ・他現場へ搬出（ 〃 ） ・場外搬出適切処理（搬出場所： 〃 ）																																											
4 ① 一般事項	〔1.1.13〕 ※受注者は、「資源の有効な利用の促進に関する法律（資源有効利用促進法）」等に基づき、次の対象工事について、工事着手前に本工事に係る「再生資源利用[促進]計画書」及び「工事登録証明書」を建設副産物情報交換システム（COBRIS）により作成し、施工計画書に各各1部提出する。 また、工事完成後速やかに計画の実施状況（実績）について、「再生資源利用[促進]実施書」及び「工事登録証明書」を同システムにより作成し、各1部提出するとともに、これらの記録を保存する。 (a) 再生資源利用計画書(実施書)の作成対象工事(下記のいずれかに該当する工事) (1) 500m ³ 以上の土砂を搬入する工事 (2) 500 t 以上の砕石を搬入する工事 (3) 200 t 以上の加熱アスファルト混合物を搬入する工事 (4) 最終工事請負金額が100万円以上の工事 (計画書については、当初工事請負金額が100万円以上の工事) (b) 再生資源利用促進計画書(実施書)の作成対象工事(下記のいずれかに該当する工事)																																											
2 ① 再資源化等（再資源化及び削減）	建設廃棄物の種類 備考 ○コンクリート ○コンクリート及び鉄から成る建設資材 ○木材 ○アスファルトコンクリート ○金属類 ・建設泥土 ・小形二次電池 ○蛍光ランプ及びH I Dランプ ○硬質ポリ塩化ビニル管及び継手 ○ガラス ○木材（雑木）																																											
3 再資源化し、現場で利用する建設廃棄物	中間処理施設又は再資源化施設の別 ・監督員と協議																																											
4 産業廃棄物広域認定制度の活用	産業廃棄物の種類 数量 備考																																											
5 最終処分	産業廃棄物の種類 備考																																											
6 処理に注意を要する建設廃棄物	最終於処分場 ・監督員と協議 産業廃棄物の処理 ・監督員と協議 (濁水の処理) 中間処理施設を選定する場合には事前に監督員の承諾を得るものとする。 種類 汚泥 (共通事項) 1 受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥として中間処理施設に運搬及び処理するものとする 2 受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。 3 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。 4 受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票（以下「マニフェスト」という。）により管理するものとする。 (提出書類等) 1 受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。 2 受注者は、工事完成後速やかにマニフェストの写しを監督員に提出しなければならないものとする。 (その他) 受注者は、バキューム式以外の工法（舗装版切断時に濁水を生じない等）を使用する場合においては、事前に発注者と協議するものとする。																																											
7 舗装版切断時に発生する濁水の処理	5 1 施工調査 ※特別管理産業廃棄物の調査を次により行う。 〔5.1.2〕 (1)特別管理産業廃棄物の使用状況について、設計図書及び目視により製造所名、製造年、型式、種類、数量等を調査する。 (2)特別管理産業廃棄物に応じた、収集運搬業者、処分業者、回収業者、産業廃棄物処理施設、処分条件等を調査する。 (3)調査結果は調査にとりまとめ、監督員に提出する。																																											
	2 分析調査 〔5.1.2〕 <table><tr><th>分析調査を行う特別管理産業廃棄物等の種類</th><th>採取する部位・箇所数</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・PCB 含有シーリング</td><td>部 位 ・図示 〃 箇所数： 箇所</td><td></td></tr><tr><td>・分析調査（第一次判定）</td><td>部 位 ・図示 〃 箇所数： 箇所</td><td></td></tr><tr><td>・PCB 含有シーリング</td><td>部 位 ・図示 〃 箇所数： 箇所</td><td></td></tr><tr><td>・分析調査（第二次判定）</td><td>部 位 ・図示 〃 箇所数： 箇所</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td>部 位 ・図示 〃 箇所数： 箇所</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td>部 位 ・図示 〃 箇所数： 箇所</td><td></td></tr><tr><td>・PCB含有シーリング分析調査</td><td>〃</td><td>〃</td></tr><tr><td>・監督員と協議</td><td>〃</td><td>〃</td></tr><tr><td>・PCBを含む機器の数量PCBの分析調査</td><td>〃</td><td>〃</td></tr><tr><td>・絶縁油のPCB含有量の分析調査</td><td>〃</td><td>〃</td></tr><tr><td>「特別管理一般廃棄物及び特別管理産業廃棄物に係る基準の検定方法（平成4年7月3日厚生省告示第192号）」又は「絶縁油中の微量PCBに関する簡易測定法マニュアル（環境省）」により行う。</td><td>〃</td><td>〃</td></tr><tr><td>・ダイオキシン類のサンプリング調査</td><td>〃</td><td>〃</td></tr><tr><td>「廃棄物焼却施設内作業におけるダイオキシン類暴露防止対策要綱（平成13年4月25日付発第401号）」により行う。</td><td>〃</td><td>〃</td></tr></table>		分析調査を行う特別管理産業廃棄物等の種類	採取する部位・箇所数	備 考	・PCB 含有シーリング	部 位 ・図示 〃 箇所数： 箇所		・分析調査（第一次判定）	部 位 ・図示 〃 箇所数： 箇所		・PCB 含有シーリング	部 位 ・図示 〃 箇所数： 箇所		・分析調査（第二次判定）	部 位 ・図示 〃 箇所数： 箇所		・	部 位 ・図示 〃 箇所数： 箇所		・	部 位 ・図示 〃 箇所数： 箇所		・PCB含有シーリング分析調査	〃	〃	・監督員と協議	〃	〃	・PCBを含む機器の数量PCBの分析調査	〃	〃	・絶縁油のPCB含有量の分析調査	〃	〃	「特別管理一般廃棄物及び特別管理産業廃棄物に係る基準の検定方法（平成4年7月3日厚生省告示第192号）」又は「絶縁油中の微量PCBに関する簡易測定法マニュアル（環境省）」により行う。	〃	〃	・ダイオキシン類のサンプリング調査	〃	〃	「廃棄物焼却施設内作業におけるダイオキシン類暴露防止対策要綱（平成13年4月25日付発第401号）」により行う。	〃	〃
分析調査を行う特別管理産業廃棄物等の種類	採取する部位・箇所数	備 考																																										
・PCB 含有シーリング	部 位 ・図示 〃 箇所数： 箇所																																											
・分析調査（第一次判定）	部 位 ・図示 〃 箇所数： 箇所																																											
・PCB 含有シーリング	部 位 ・図示 〃 箇所数： 箇所																																											
・分析調査（第二次判定）	部 位 ・図示 〃 箇所数： 箇所																																											
・	部 位 ・図示 〃 箇所数： 箇所																																											
・	部 位 ・図示 〃 箇所数： 箇所																																											
・PCB含有シーリング分析調査	〃	〃																																										
・監督員と協議	〃	〃																																										
・PCBを含む機器の数量PCBの分析調査	〃	〃																																										
・絶縁油のPCB含有量の分析調査	〃	〃																																										
「特別管理一般廃棄物及び特別管理産業廃棄物に係る基準の検定方法（平成4年7月3日厚生省告示第192号）」又は「絶縁油中の微量PCBに関する簡易測定法マニュアル（環境省）」により行う。	〃	〃																																										
・ダイオキシン類のサンプリング調査	〃	〃																																										
「廃棄物焼却施設内作業におけるダイオキシン類暴露防止対策要綱（平成13年4月25日付発第401号）」により行う。	〃	〃																																										
整理番号	注記	設計年月	工事名称																																									
		2025. 12	新座市立大和田小学校屋内運動場解体工事																																									
			図面名称																																									
			縮尺																																									
			A1= NON A3= NON																																									
			一 般 図 特 記 仕 様 書1(解体)																																									
			KA-01																																									

石綿含有建材の除去及び処理	3 特別管理産業廃棄物の処理	<table><tr><th>特別管理産業廃棄物の種類</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・ 廃石綿等</td><td></td></tr><tr><td>・ PCBを含む機器類</td><td></td></tr><tr><td>・ PCB含有シーリング材</td><td></td></tr><tr><td>・ 廃油</td><td></td></tr><tr><td>・ 廃酸/廃アルカリ</td><td></td></tr><tr><td>・ ダイオキシン類</td><td></td></tr></table>	特別管理産業廃棄物の種類	備 考	・ 廃石綿等		・ PCBを含む機器類		・ PCB含有シーリング材		・ 廃油		・ 廃酸/廃アルカリ		・ ダイオキシン類		8 リフラクトリーセラミックファイバーの処理	除去処理対象物 除去対象範囲 除去方法 処分	・ 図示 ・ 図示 ・ 埋立処分（安定型最終処分場） ・ 近隣説明及び諸官庁への届出は受注者が行い、事前に監督員と協議をすること。	（写真撮影） 第4条 前2条に規定する事前調査に当たっては、改ざん（修正、書き込み、削除等）の防止措置を講じらうて写真撮影するものとする。この場合において、写真撮影が困難な箇所又はスケッチによることが適当と認められる箇所については、スケッチによることができるものとする。 第2条の一般的事項の調査においては、損傷の有無にかかわらず、原則として、次の面画を撮影するものとする。 一 四方からの外部及び屋根 二 各室 第3条の損傷調査において計測する箇所は、撮影対象箇所を指示棒等により指示し、次の事項を明示した黒板等と同時に撮影するものとする。 一 調査番号、建物番号及び建物等所有者の氏名 二 損傷名及び損傷の程度（計測） 三 撮影年月日、写真番号及び撮影対象箇所 （事後調査における損傷調査） 第5条 事前調査を行った損傷箇所の変化及び工事によって新たに発生した損傷については、その状態及び程度を前3条（第10条第2項を除く。）の定めるところにより調査するものとする。 第3条の事前調査の調査区域外であって、事後調査の対象となったものについては、同条の事前調査における一般的事項に準じた調査を行った上で損傷箇所を調査するものとする。 （事前調査等の作成） 第6条 事前調査を行ったときは、次の調査書及び図面を作成するものとする。 一 調査区域位置図 二 調査区域平面図 三 建物等調査一覧表 四 建物等調査図（平面図・立面図等） 五 建物等調査書 六 損傷調査書 七 写真台帳 （事前調査書及び図面） 第7条 前条の調査書及び図面は、次により作成するものとする。 一 調査区域位置図は、工事の工区単位ごとに作成するものとし、調査区域と工事箇所を併せて表示する。この場合の縮尺は、5,000分の1又は10,000分の1程度とする。 二 調査区域平面図は、調査区域内の建物等の配置を示す平面図で工事の工区単位又は調査単位ごとに次により作成する。 イ 調査を実施した建物等については、建物等調査一覧表で付した調査番号及び建物番号（同一所有者が2棟以上の建物所有している場合は、建物に構造別に色分けし、建物の外枠（外壁）を着色する。この場合の構造別色分けは、木造を赤色、非木造を緑色とする。 ロ 縮尺は、500分の1又は1,000分の1程度とする。 三 建物等調査一覧表は、工事の工区単位又は調査単位ごとに調査を実施した建物について調査番号、建物番号の順に建物の所在地、所有者及び建物の概要等必要な事項を記入する。また、工物件等については、次の事項を記載し、建物に構造別に色分けし、建物の外枠（外壁）を着色する。この場合の構造別色分けは、木造を赤色、非木造を緑色とする。 四 建物の建物等調査図（平面図、立面図等）は、第2条及び第3条の事前調査の結果を基に建物ごとに次により作成するものとする。 イ 建物等平面図は、縮尺100分の1で作成し、写真撮影を行った位置を表示するとともに建物延べ面積及び各階別の面積並びにこれらの計算式を記入する。 ロ 建物等立面図は、縮尺100分の1により、原則として、四面（東西南北）作成し、外壁の亀裂等の損傷位置を記入する。 ハ その他調査図（基礎状況、屋根状況及び壁開図）は、発生している損傷を表示する必要がある場合に作成し、縮尺は100分の1又は10分の1程度とする。この場合において写真撮影が困難であり、又は詳細（スケッチ）図を作成することが適当であると認められたものについては、スケッチによる調査図を作成する。 五 工物件の建物等調査図（平面図、立面図等）は、損傷の状況及び程度により前号に準じて作成する。 六 損傷調査書は、第2条及び第3条の事前調査の結果に基づき、建物等ごとに建物等の所在地、所有者名、各室の名称、各部仕上材、写真番号及び損傷の状況等を記載して作成するものとする。なお、写真番号については、次等の写真番号と合わせるものとし、損傷の状況については、事前調査欄に損傷の状況（亀裂、変形、傾斜等）及び程度（幅、長さ及び箇所数）を記載する。 七 写真台帳は、写真番号、撮影対象箇所及び損傷名を記載し、整理するものとする。 （事後調査書等の作成） 第8条 事後調査を行ったときは、第6条の調査書及び図面を基に損傷箇所の変化及び新たに発生した損傷について、事前調査までの成果を基に、第6条第一号及び第二号については異同を明示し、同条第三号から第七号までについては事前調査成果を転記し、前条に準じて第6条各号の調査書及び図面を作成するものとする。 対象エリア及び建物リスト等 ※図示による（ ） ・ 共同住宅の内部調査については、各戸調査を行う ※「外部」の調査は、足場等を設置せず、地上からの目視により行う。	② 製品リスト	2年間長期外部倉庫保管（30坪程度） ・ ピアノ ・ 演習 ・ セフティマット ・ ポートボール台（体育館用） ・ セストボールゴール ・ ひな壇セット ・ 得点板（体育館用） ・ バレーボール支柱（外置きタイプ） ・ ロンボーマット ・ 脱臼箱 ・ ソフトドッジボール ・ バスケットボール ・ ソフトバレーボール ・ サッカーボール ・ ドッジボール ・ ロイター板 ・ 踏切板 ・ マット ・ ハードル ・ 外用マット ・ 高跳びスタンド ・ ポートボール台（外用） ・ Tボール台・ベース・バット ・ 玉入れのかご（使用しない2色） ※外部倉庫保管の工事区分 既存体育館より外部倉庫への移設及び解体工事期間中の保管分とする。
	特別管理産業廃棄物の種類	備 考																				
	・ 廃石綿等																					
	・ PCBを含む機器類																					
	・ PCB含有シーリング材																					
	・ 廃油																					
	・ 廃酸/廃アルカリ																					
	・ ダイオキシン類																					
	4 PCBを含む機器類	処理施設 ・ 監督員と協議 引渡しを要する機器類	② 回収及び処分	分析調査を行う特殊な建設副産物の種類	採取する部位・箇所数	備 考	② 調査対象範囲	対象エリア及び建物リスト等 ※図示による（ ） ・ 共同住宅の内部調査については、各戸調査を行う ※「外部」の調査は、足場等を設置せず、地上からの目視により行う。	② 製品リスト	2年間長期外部倉庫保管（30坪程度） ・ ピアノ ・ 演習 ・ セフティマット ・ ポートボール台（体育館用） ・ セストボールゴール ・ ひな壇セット ・ 得点板（体育館用） ・ バレーボール支柱（外置きタイプ） ・ ロンボーマット ・ 脱臼箱 ・ ソフトドッジボール ・ バスケットボール ・ ソフトバレーボール ・ サッカーボール ・ ドッジボール ・ ロイター板 ・ 踏切板 ・ マット ・ ハードル ・ 外用マット ・ 高跳びスタンド ・ ポートボール台（外用） ・ Tボール台・ベース・バット ・ 玉入れのかご（使用しない2色） ※外部倉庫保管の工事区分 既存体育館より外部倉庫への移設及び解体工事期間中の保管分とする。												
	5 PCB含有シーリング材	除去処理工事 ※図示 撤去方法 ・ 「標準施工要領書（日本シーリング工事業協会組合連合会／日本シーリング材工業会）」による。	② 回収及び処分	分析調査を行う特殊な建設副産物の種類	採取する部位・箇所数	備 考	③ 個人情報の保護	この契約による業務を履行するため個人情報を取り扱う場合は、「個人情報取扱特記事項」を遵守しなければならない。	② 製品リスト	2年間長期外部倉庫保管（30坪程度） ・ ピアノ ・ 演習 ・ セフティマット ・ ポートボール台（体育館用） ・ セストボールゴール ・ ひな壇セット ・ 得点板（体育館用） ・ バレーボール支柱（外置きタイプ） ・ ロンボーマット ・ 脱臼箱 ・ ソフトドッジボール ・ バスケットボール ・ ソフトバレーボール ・ サッカーボール ・ ドッジボール ・ ロイター板 ・ 踏切板 ・ マット ・ ハードル ・ 外用マット ・ 高跳びスタンド ・ ポートボール台（外用） ・ Tボール台・ベース・バット ・ 玉入れのかご（使用しない2色） ※外部倉庫保管の工事区分 既存体育館より外部倉庫への移設及び解体工事期間中の保管分とする。												
6 ダイオキシン類	廃棄物の焼却施設の解体 解体方法 処分方法	② 回収及び処分	分析調査を行う特殊な建設副産物の種類	採取する部位・箇所数	備 考	9 その他	① 解体工事全般 ・ 基礎解体にあたっては、解体後の新築等次工事の支持地盤を荒らさないよう慎重に施工すること。 ・ 大型レッカーを使用する場合は、必要な地耐力が得られるよう必要な養生を行うこと。 ・ 工事中に破損した存置構造物、境界標等は必ず現状復旧すること。	② 製品リスト	2年間長期外部倉庫保管（30坪程度） ・ ピアノ ・ 演習 ・ セフティマット ・ ポートボール台（体育館用） ・ セストボールゴール ・ ひな壇セット ・ 得点板（体育館用） ・ バレーボール支柱（外置きタイプ） ・ ロンボーマット ・ 脱臼箱 ・ ソフトドッジボール ・ バスケットボール ・ ソフトバレーボール ・ サッカーボール ・ ドッジボール ・ ロイター板 ・ 踏切板 ・ マット ・ ハードル ・ 外用マット ・ 高跳びスタンド ・ ポートボール台（外用） ・ Tボール台・ベース・バット ・ 玉入れのかご（使用しない2色） ※外部倉庫保管の工事区分 既存体育館より外部倉庫への移設及び解体工事期間中の保管分とする。													
6 ① 石綿含有建材の事前調査	石綿含有建材の事前調査 工事着手前に先立ち、目視及び貨与する設計図書等により石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査し、監督員に報告する。 調査範囲（図示） 貨与資料（アスベスト分析結果報告書（令和6年度））	① 周辺建築物等調査（地盤変動影響調査算定要領による）	（調査） 第1条 建物等の調査は、事前調査と事後調査に区分して行うものとする。 第2条 事前調査及び事後調査にあたっては、原則として建物等の所有者及び所有権以外の権利を有する者（以下「所有者等」という。）の立会いのうえ行い、地盤変動影響調査等仕様書で定める様式に署名・押印を受けるものとする。 第3条 前項の調査は、情報通信技術その他の先端的な技術を活用して行うことができるものとする。 （事前調査における一般的事項） 第2条 事前調査の実施に当たっては、調査区域内に存する建物等につき、建物等の所有者ごとに次の事項について調査を行うものとする。 一 建物の敷地ごとに建物等（工物件物については主たるもの）の敷地内の位置関係 二 建物等ごとに実測による間取り平面及び立面 三 建物等の所在地及び地番並びに建築年月並びに所有者の氏名及び住所 四 その他第3条の調査書及び図面の作成に必要な事項 第2条 前項第三号の所有者の氏名及び住所が現地調査において確認できないときは、必要に応じて登記事項証明書を請求する等の方法により調査を行うものとする。 （事前調査における損傷調査） 第3条 前条の一般的事項の調査が完了したときは、当該建物等の既存の損傷箇所の調査を行うものとし、当該調査は、原則として、次の部位別に行うものとする。 一 基礎 二 軸部 三 輪部 四 床 五 天井 六 内壁 七 外壁 八 屋根 九 水回り 十 柱 第2条 基礎についての調査は、次により行うものとする。 一 建物の全体又は一部の傾斜若しくは沈下の状況を把握するため、原則として、当該建物基礎の四方向を水準測量で計測する。この場合において、事後調査の基準点とするため、沈下等のおそれのない堅固な物件を定め併せて計測を行う。 二 コンクリート布基礎等に亀裂等が生じているときは、建物の外周について、亀裂等の発生箇所及び状況（最大幅及び長さ）を計測する。 三 基礎のモルタル塗り部分に剥離又は浮き上がりが生じているときは、発生箇所及び状況（大きさ）を計測する。 四 計測の単位は、幅についてはミリメートル、長さについてはセンチメートルとする。 第3条 軸部（柱及び敷居）についての調査は、次により行うものとする。 一 原則として、すべての傾斜の程度を傾斜計で計測する。 二 柱の傾斜の計測位置は、直交する二方向の床（敷居）から1メートルの高さの点とする。 三 敷居の傾斜の計測位置は、柱から1メートル離れた点とする。 四 計測の単位は、ミリメートルとする。 第4条 開口部（建具等）についての調査は、次により行うものとする。 一 原則として、当該建物で建付不良となっている数量調査を行った後、不良箇所すべてを計測する。 二 計測箇所は、柱又は窓枠と建具との隙間との最大値の点とする。 三 建具の開閉が滑らかに行えないもの若しくは不能なもの又は施錠不良が生じているものは、その程度と数量を調査する。 四 計測の単位はミリメートルとする。 第5条 床についての調査は、次により行うものとする。 一 えん甲板張り等の居室（畳敷の居室を除く。）について、気泡水準器で直交する二方向の傾斜を計測する。 二 床仕上げ材に亀裂、縁切れ、剥離又は破損が生じているときは、それらの箇所及び状況（最大幅、長さ又は大きさ）を計測する。 三 床、大引又は根太等床材に緩みが生じているときは、その程度を調査する。 四 計測の単位は、幅についてはミリメートル、長さ及び大きさについてはセンチメートルとする。 6 天井に亀裂、縁切れ、雨漏り等のシミ等が発生しているときの調査は、内壁の調査に準じて行うものとする。 7 内壁にちり切れ（柱及び内材材と壁との分離）が発生しているときの調査は、次により行うものとする。 一 原則として、すべてのちり切れを計測する。 二 計測の単位は、幅についてはミリメートルとする。 8 内壁に亀裂が発生しているときの調査は、次により行うものとする。 一 原則として、全ての亀裂の計測（最大幅、長さ及び傾斜角）をする。 二 計測の単位は、幅についてはミリメートル、長さについてはセンチメートルとする。 三 亀裂が一壁面に多数発生している場合にはその状態をスケッチするとともに、壁面に雨漏り等のシミが生じているときは、その形状及び大きさの調査をする。 9 外壁に亀裂等が発生しているときの調査は、次により行うものとする。 一 四方向の立面に生じている亀裂等の数量、形状等をスケッチするとともに、一方向の最大の亀裂から2か所程度を計測する。 二 計測の単位は、幅についてはミリメートルとし、長さについてはセンチメートルとする。 10 屋根（庇、雨樋を含む。）に亀裂又は破損等が発生しているときの調査は、当該建物の屋根状況図を作成し、次により行うものとする。 一 仕上げ材ごとに、その損傷の程度を計測する。 二 計測の単位は、原則として、センチメートルとする。ただし、亀裂等の幅についてはミリメートルとする。 11 水回り（浴槽、台所、洗面所等）に亀裂、破損、漏水等が発生しているときの調査は、次により行うものとする。 一 浴槽、台所、洗面所等の床、腰、壁面のタイル張り等に亀裂、剥離、目地切れ等が生じているときの調査は、全ての損傷について第8項に準じて行う。 二 給水、排水等の配管に緩み、漏水等が生じているときは、その状況等を調査する。 12 外構（テラス、コンクリート叩き、ベランダ、大走り、池、浄化槽、門柱、塙、擁壁等の屋外工物件）に損傷が発生しているときの調査は、前11項に準じて、その状況等の調査を行うものとする。																			
2 石綿含有分析調査	分析による石綿含有建材の調査 分析対象 アモサイト、クリソタイル、クロソドライト、アクチノライト、アンソファイト、トレモライト	① 周辺建築物等調査（地盤変動影響調査算定要領による）	（調査） 第1条 建物等の調査は、事前調査と事後調査に区分して行うものとする。 第2条 事前調査及び事後調査にあたっては、原則として建物等の所有者及び所有権以外の権利を有する者（以下「所有者等」という。）の立会いのうえ行い、地盤変動影響調査等仕様書で定める様式に署名・押印を受けるものとする。 第3条 前項の調査は、情報通信技術その他の先端的な技術を活用して行うことができるものとする。 （事前調査における一般的事項） 第2条 事前調査の実施に当たっては、調査区域内に存する建物等につき、建物等の所有者ごとに次の事項について調査を行うものとする。 一 建物の敷地ごとに建物等（工物件物については主たるもの）の敷地内の位置関係 二 建物等ごとに実測による間取り平面及び立面 三 建物等の所在地及び地番並びに建築年月並びに所有者の氏名及び住所 四 その他第3条の調査書及び図面の作成に必要な事項 第2条 前項第三号の所有者の氏名及び住所が現地調査において確認できないときは、必要に応じて登記事項証明書を請求する等の方法により調査を行うものとする。 （事前調査における損傷調査） 第3条 前条の一般的事項の調査が完了したときは、当該建物等の既存の損傷箇所の調査を行うものとし、当該調査は、原則として、次の部位別に行うものとする。 一 基礎 二 軸部 三 輪部 四 床 五 天井 六 内壁 七 外壁 八 屋根 九 水回り 十 柱 第2条 基礎についての調査は、次により行うものとする。 一 建物の全体又は一部の傾斜若しくは沈下の状況を把握するため、原則として、当該建物基礎の四方向を水準測量で計測する。この場合において、事後調査の基準点とするため、沈下等のおそれのない堅固な物件を定め併せて計測を行う。 二 コンクリート布基礎等に亀裂等が生じているときは、建物の外周について、亀裂等の発生箇所及び状況（最大幅及び長さ）を計測する。 三 基礎のモルタル塗り部分に剥離又は浮き上がりが生じているときは、発生箇所及び状況（大きさ）を計測する。 四 計測の単位は、幅についてはミリメートル、長さについてはセンチメートルとする。 第3条 軸部（柱及び敷居）についての調査は、次により行うものとする。 一 原則として、すべての傾斜の程度を傾斜計で計測する。 二 柱の傾斜の計測位置は、直交する二方向の床（敷居）から1メートルの高さの点とする。 三 敷居の傾斜の計測位置は、柱から1メートル離れた点とする。 四 計測の単位は、ミリメートルとする。 第4条 開口部（建具等）についての調査は、次により行うものとする。 一 原則として、当該建物で建付不良となっている数量調査を行った後、不良箇所すべてを計測する。 二 計測箇所は、柱又は窓枠と建具との隙間との最大値の点とする。 三 建具の開閉が滑らかに行えないもの若しくは不能なもの又は施錠不良が生じているものは、その程度と数量を調査する。 四 計測の単位はミリメートルとする。 第5条 床についての調査は、次により行うものとする。 一 えん甲板張り等の居室（畳敷の居室を除く。）について、気泡水準器で直交する二方向の傾斜を計測する。 二 床仕上げ材に亀裂、縁切れ、剥離又は破損が生じているときは、それらの箇所及び状況（最大幅、長さ又は大きさ）を計測する。 三 床、大引又は根太等床材に緩みが生じているときは、その程度を調査する。 四 計測の単位は、幅についてはミリメートル、長さ及び大きさについてはセンチメートルとする。 6 天井に亀裂、縁切れ、雨漏り等のシミ等が発生しているときの調査は、内壁の調査に準じて行うものとする。 7 内壁にちり切れ（柱及び内材材と壁との分離）が発生しているときの調査は、次により行うものとする。 一 原則として、すべてのちり切れを計測する。 二 計測の単位は、幅についてはミリメートルとする。 8 内壁に亀裂が発生しているときの調査は、次により行うものとする。 一 原則として、全ての亀裂の計測（最大幅、長さ及び傾斜角）をする。 二 計測の単位は、幅についてはミリメートル、長さについてはセンチメートルとする。 三 亀裂が一壁面に多数発生している場合にはその状態をスケッチするとともに、壁面に雨漏り等のシミが生じているときは、その形状及び大きさの調査をする。 9 外壁に亀裂等が発生しているときの調査は、次により行うものとする。 一 四方向の立面に生じている亀裂等の数量、形状等をスケッチするとともに、一方向の最大の亀裂から2か所程度を計測する。 二 計測の単位は、幅についてはミリメートルとし、長さについてはセンチメートルとする。 10 屋根（庇、雨樋を含む。）に亀裂又は破損等が発生しているときの調査は、当該建物の屋根状況図を作成し、次により行うものとする。 一 仕上げ材ごとに、その損傷の程度を計測する。 二 計測の単位は、原則として、センチメートルとする。ただし、亀裂等の幅についてはミリメートルとする。 11 水回り（浴槽、台所、洗面所等）に亀裂、破損、漏水等が発生しているときの調査は、次により行うものとする。 一 浴槽、台所、洗面所等の床、腰、壁面のタイル張り等に亀裂、剥離、目地切れ等が生じているときの調査は、全ての損傷について第8項に準じて行う。 二 給水、排水等の配管に緩み、漏水等が生じているときは、その状況等を調査する。 12 外構（テラス、コンクリート叩き、ベランダ、大走り、池、浄化槽、門柱、塙、擁壁等の屋外工物件）に損傷が発生しているときの調査は、前11項に準じて、その状況等の調査を行うものとする。																			
③ 石綿粉じん濃度測定	測定時期、場所及び測定点 適用 測定名称 測定時期 測定場所 測定点 （処理作業区ごと） ※ ※ ※ 測定1 ※ ※ ※ 測定2 ※ ※ ※ 測定3 ※ ※ ※ 測定4 ※ ※ ※ 測定5 ※ ※ ※ 測定6 ※ ※ ※ 測定7 ※ ※ ※ 測定8 ※ ※ ※ 測定9 ※ ※ ※ 測定10 新産市内で測定を行う場合は市条例を遵守して実施すること。 測定方法 測定5以外は下表による	① 周辺建築物等調査（地盤変動影響調査算定要領による）	（調査） 第1条 建物等の調査は、事前調査と事後調査に区分して行うものとする。 第2条 事前調査及び事後調査にあたっては、原則として建物等の所有者及び所有権以外の権利を有する者（以下「所有者等」という。）の立会いのうえ行い、地盤変動影響調査等仕様書で定める様式に署名・押印を受けるものとする。 第3条 前項の調査は、情報通信技術その他の先端的な技術を活用して行うことができるものとする。 （事前調査における一般的事項） 第2条 事前調査の実施に当たっては、調査区域内に存する建物等につき、建物等の所有者ごとに次の事項について調査を行うものとする。 一 建物の敷地ごとに建物等（工物件物については主たるもの）の敷地内の位置関係 二 建物等ごとに実測による間取り平面及び立面 三 建物等の所在地及び地番並びに建築年月並びに所有者の氏名及び住所 四 その他第3条の調査書及び図面の作成に必要な事項 第2条 前項第三号の所有者の氏名及び住所が現地調査において確認できないときは、必要に応じて登記事項証明書を請求する等の方法により調査を行うものとする。 （事前調査における損傷調査） 第3条 前条の一般的事項の調査が完了したときは、当該建物等の既存の損傷箇所の調査を行うものとし、当該調査は、原則として、次の部位別に行うものとする。 一 基礎 二 軸部 三 輪部 四 床 五 天井 六 内壁 七 外壁 八 屋根 九 水回り 十 柱 第2条 基礎についての調査は、次により行うものとする。 一 建物の全体又は一部の傾斜若しくは沈下の状況を把握するため、原則として、当該建物基礎の四方向を水準測量で計測する。この場合において、事後調査の基準点とするため、沈下等のおそれのない堅固な物件を定め併せて計測を行う。 二 コンクリート布基礎等に亀裂等が生じているときは、建物の外周について、亀裂等の発生箇所及び状況（最大幅及び長さ）を計測する。 三 基礎のモルタル塗り部分に剥離又は浮き上がりが生じているときは、発生箇所及び状況（大きさ）を計測する。 四 計測の単位は、幅についてはミリメートル、長さについてはセンチメートルとする。 第3条 軸部（柱及び敷居）についての調査は、次により行うものとする。 一 原則として、すべての傾斜の程度を傾斜計で計測する。 二 柱の傾斜の計測位置は、直交する二方向の床（敷居）から1メートルの高さの点とする。 三 敷居の傾斜の計測位置は、柱から1メートル離れた点とする。 四 計測の単位は、ミリメートルとする。 第4条 開口部（建具等）についての調査は、次により行うものとする。 一 原則として、当該建物で建付不良となっている数量調査を行った後、不良箇所すべてを計測する。 二 計測箇所は、柱又は窓枠と建具との隙間との最大値の点とする。 三 建具の開閉が滑らかに行えないもの若しくは不能なもの又は施錠不良が生じているものは、その程度と数量を調査する。 四 計測の単位はミリメートルとする。 第5条 床についての調査は、次により行うものとする。 一 えん甲板張り等の居室（畳敷の居室を除く。）について、気泡水準器で直交する二方向の傾斜を計測する。 二 床仕上げ材に亀裂、縁切れ、剥離又は破損が生じているときは、それらの箇所及び状況（最大幅、長さ又は大きさ）を計測する。 三 床、大引又は根太等床材に緩みが生じているときは、その程度を調査する。 四 計測の単位は、幅についてはミリメートル、長さ及び大きさについてはセンチメートルとする。 6 天井に亀裂、縁切れ、雨漏り等のシミ等が発生しているときの調査は、内壁の調査に準じて行うものとする。 7 内壁にちり切れ（柱及び内材材と壁との分離）が発生しているときの調査は、次により行うものとする。 一 原則として、すべてのちり切れを計測する。 二 計測の単位は、幅についてはミリメートルとする。 8 内壁に亀裂が発生しているときの調査は、次により行うものとする。 一 原則として、全ての亀裂の計測（最大幅、長さ及び傾斜角）をする。 二 計測の単位は、幅についてはミリメートル、長さについてはセンチメートルとする。 三 亀裂が一壁面に多数発生している場合にはその状態をスケッチするとともに、壁面に雨漏り等のシミが生じているときは、その形状及び大きさの調査をする。 9 外壁に亀裂等が発生しているときの調査は、次により行うものとする。 一 四方向の立面に生じている亀裂等の数量、形状等をスケッチするとともに、一方向の最大の亀裂から2か所程度を計測する。 二 計測の単位は、幅についてはミリメートルとし、長さについてはセンチメートルとする。 10 屋根（庇、雨樋を含む。）に亀裂又は破損等が発生しているときの調査は、当該建物の屋根状況図を作成し、次により行うものとする。 一 仕上げ材ごとに、その損傷の程度を計測する。 二 計測の単位は、原則として、センチメートルとする。ただし、亀裂等の幅についてはミリメートルとする。 11 水回り（浴槽、台所、洗面所等）に亀裂、破損、漏水等が発生しているときの調査は、次により行うものとする。 一 浴槽、台所、洗面所等の床、腰、壁面のタイル張り等に亀裂、剥離、目地切れ等が生じているときの調査は、全ての損傷について第8項に準じて行う。 二 給水、排水等の配管に緩み、漏水等が生じているときは、その状況等を調査する。 12 外構（テラス、コンクリート叩き、ベランダ、大走り、池、浄化槽、門柱、塙、擁壁等の屋外工物件）に損傷が発生しているときの調査は、前11項に準じて、その状況等の調査を行うものとする。																			
4 石綿含有吹付け材の除去（レベル1）	除去対象範囲 図示 除去の方法 ※[9.1.3]による 除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止 ※密封処理 ※湿潤化 ※セメント固化 除去した石綿含有吹付け材等の処分 ・ 埋立処分（管理型最終処分場） ・ 中間処理（溶融施設または無害化処理施設）	② 回収及び処分	分析調査を行う特殊な建設副産物の種類	採取する部位・箇所数	備 考	② 調査対象範囲	対象エリア及び建物リスト等 ※図示による（ ） ・ 共同住宅の内部調査については、各戸調査を行う ※「外部」の調査は、足場等を設置せず、地上からの目視により行う。	② 製品リスト	2年間長期外部倉庫保管（30坪程度） ・ ピアノ ・ 演習 ・ セフティマット ・ ポートボール台（体育館用） ・ セストボールゴール ・ ひな壇セット ・ 得点板（体育館用） ・ バレーボール支柱（外置きタイプ） ・ ロンボーマット ・ 脱臼箱 ・ ソフトドッジボール ・ バスケットボール ・ ソフトバレーボール ・ サッカーボール ・ ドッジボール ・ ロイター板 ・ 踏切板 ・ マット ・ ハードル ・ 外用マット ・ 高跳びスタンド ・ ポートボール台（外用） ・ Tボール台・ベース・バット ・ 玉入れのかご（使用しない2色） ※外部倉庫保管の工事区分 既存体育館より外部倉庫への移設及び解体工事期間中の保管分とする。													
⑤ 石綿含有保温材等の除去（レベル2）	除去の方法 ※[9.1.4](2)～(5)による（原形のまま、手ばらしが可能な場合） 除去対象範囲 図示 ※[9.1.3]による（損傷、劣化等で石綿粉塵を発生するおそれがある場合） 除去対象範囲 図示 除去した石綿含有保温材等の飛散防止 ※密封処理 ※湿潤化 ※セメント固化 除去した石綿含有保温材の処分 ○埋立処分（管理型最終処分場） ・ 中間処理（溶融施設または無害化処理施設）	② 回収及び処分	分析調査を行う特殊な建設副産物の種類	採取する部位・箇所数	備 考	② 調査対象範囲	対象エリア及び建物リスト等 ※図示による（ ） ・ 共同住宅の内部調査については、各戸調査を行う ※「外部」の調査は、足場等を設置せず、地上からの目視により行う。	② 製品リスト	2年間長期外部倉庫保管（30坪程度） ・ ピアノ ・ 演習 ・ セフティマット ・ ポートボール台（体育館用） ・ セストボールゴール ・ ひな壇セット ・ 得点板（体育館用） ・ バレーボール支柱（外置きタイプ） ・ ロンボーマット ・ 脱臼箱 ・ ソフトドッジボール ・ バスケットボール ・ ソフトバレーボール ・ サッカーボール ・ ドッジボール ・ ロイター板 ・ 踏切板 ・ マット ・ ハードル ・ 外用マット ・ 高跳びスタンド ・ ポートボール台（外用） ・ Tボール台・ベース・バット ・ 玉入れのかご（使用しない2色） ※外部倉庫保管の工事区分 既存体育館より外部倉庫への移設及び解体工事期間中の保管分とする。													
⑥ 石綿含有成形板等の除去（レベル3）	除去対象範囲 図示 除去した石綿含有成形板の処分 ・ 石綿含有せっこうボード ※埋立処分（管理型最終処分場） ・ 石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板 ○埋立処分（安定型最終処分場） ・ 中間処理（溶融施設または無害化処理施設）	② 回収及び処分	分析調査を行う特殊な建設副産物の種類	採取する部位・箇所数	備 考	② 調査対象範囲	対象エリア及び建物リスト等 ※図示による（ ） ・ 共同住宅の内部調査については、各戸調査を行う ※「外部」の調査は、足場等を設置せず、地上からの目視により行う。	② 製品リスト	2年間長期外部倉庫保管（30坪程度） ・ ピアノ ・ 演習 ・ セフティマット ・ ポートボール台（体育館用） ・ セストボールゴール ・ ひな壇セット ・ 得点板（体育館用） ・ バレーボール支柱（外置きタイプ） ・ ロンボーマット ・ 脱臼箱 ・ ソフトドッジボール ・ バスケットボール ・ ソフトバレーボール ・ サッカーボール ・ ドッジボール ・ ロイター板 ・ 踏切板 ・ マット ・ ハードル ・ 外用マット ・ 高跳びスタンド ・ ポートボール台（外用） ・ Tボール台・ベース・バット ・ 玉入れのかご（使用しない2色） ※外部倉庫保管の工事区分 既存体育館より外部倉庫への移設及び解体工事期間中の保管分とする。													
⑦ 石綿含有建築用仕上塗材等の除去（レベル3）	除去対象範囲 図示 着工前の試験施工 行う 行わない 除去工法 除去した石綿含有建築用仕上塗材等の飛散防止 ※密封処理 ※湿潤化 ※セメント固化 除去した石綿含有建築用仕上塗材等の処分 ○埋立処分（管理型最終処分場） ・ 中間処理（溶融施設または無害化処理施設）	② 回収及び処分	分析調査を行う特殊な建設副産物の種類	採取する部位・箇所数	備 考	② 調査対象範囲	対象エリア及び建物リスト等 ※図示による（ ） ・ 共同住宅の内部調査については、各戸調査を行う ※「外部」の調査は、足場等を設置せず、地上からの目視により行う。	② 製品リスト	2年間長期外部倉庫保管（30坪程度） ・ ピアノ ・ 演習 ・ セフティマット ・ ポートボール台（体育館用） ・ セストボールゴール ・ ひな壇セット ・ 得点板（体育館用） ・ バレーボール支柱（外置きタイプ） ・ ロンボーマット ・ 脱臼箱 ・ ソフトドッジボール ・ バスケットボール ・ ソフトバレーボール ・ サッカーボール ・ ドッジボール ・ ロイター板 ・ 踏切板 ・ マット ・ ハードル ・ 外用マット ・ 高跳びスタンド ・ ポートボール台（外用） ・ Tボール台・ベース・バット ・ 玉入れのかご（使用しない2色） ※外部倉庫保管の工事区分 既存体育館より外部倉庫への移設及び解体工事期間中の保管分とする。													

整理番号	注記	設計年月	工事名称	図面名称	縮尺
		2025.12	新座市立大和田小学校屋内運動場解体工事	一般図 特記仕様書2(解体)	A1= NON A3= NON

KA-02

特記事項

【アスベスト含有仕上塗材・下地調整材除去工事】

- (1) 令和３年３月 厚生労働省労働基準局安全衛生部化学物質対策課/環境省水・大気環境局大気環境課「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」（以下マニュアル）により、下記工法の併用工法とする。
- 〔一般部〕 (7) 集塵装置付き超高压水洗工法(100MPa以上)・同時吸引式 ※㈱マルホウ「ウォータークリーン工法」（参考）
- 〔狭あい部〕 (4) (湿式) 集塵装置付きディスクグラインダーケレン工法・同時吸引式
- (7) (湿式) 集塵装置併用手工具ケレン工法または剥離剤併用手工具ケレン工法
- (2) 石綿除去処理工事に際しては、通常の工事と異なる側面があるため、工事の特殊性を十分確認した上で、専門業者で行うこと。ここでいう専門業者とは、建設技術審査証明（（財）日本建築センター）により確立された、「石綿含有建築用仕上塗材からの石綿粉じん飛散防止処理技術」を取得している業者のことを指す。
- (3) 本施工は以下の項目を遵守して行うこと。

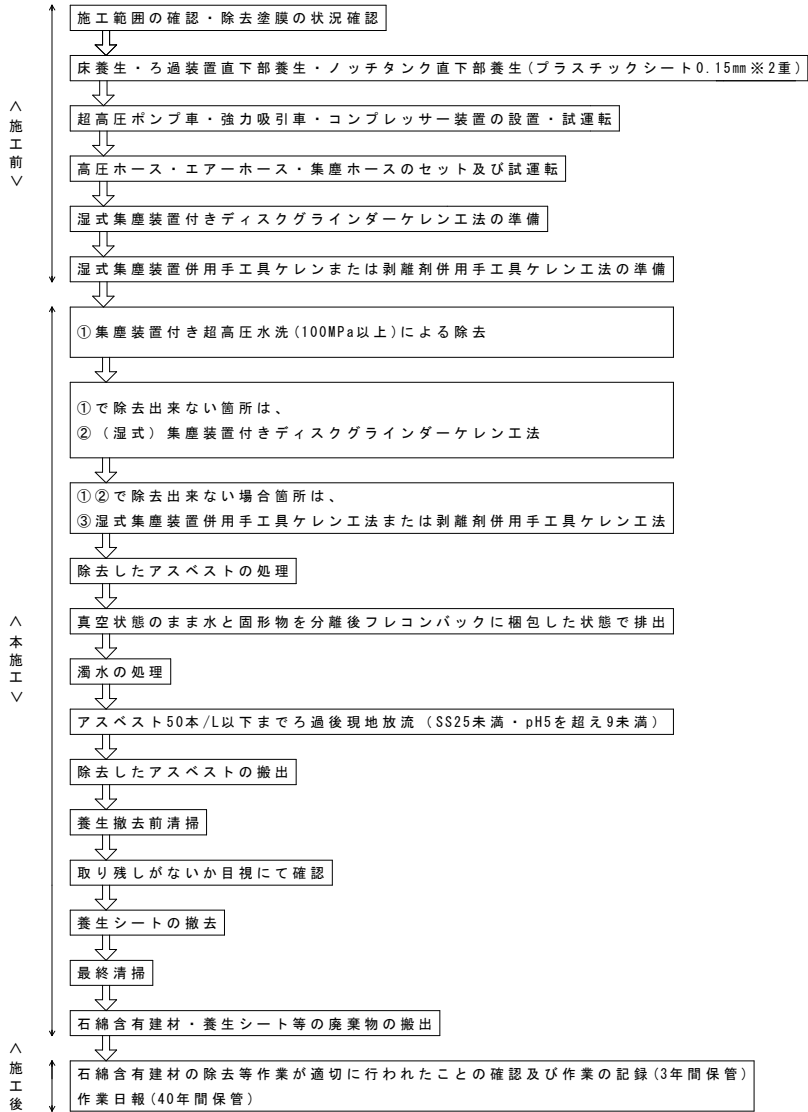
項目	特記仕様	管理方法															
工事計画	「特定石綿含有建材調査者」の参画を前提とする。																
吸引機の圧力と風量	吸引圧力/真空圧 -60～-90kPa 風量 30～40m³/分	撮影 臨機に仕様書提出															
吸引時の排気濾過	ジェットスクラバ方式及びHEPAフィルター	撮影															
水処理（濁水処理内容）	上澄み水は最終0.2μmフィルターを透過させ以下の値を遵守する。 ・アスベスト含有量 50本/L以下(検出限界値) ・pH pH5を超え9未満 ・浮遊物質質量（SS） 25mg/L未満	第三者機関にて測定															
アスベスト粉じん濃度測定	速報値で管理値（10本/L以下）を満たしていることを確認する。																
本施工時	<table><tr><th>測定時期</th><th>測定箇所</th><th>測定時間</th></tr><tr><td>作業前</td><td>敷地境界 4方向各1点 計4点</td><td>240分</td></tr><tr><td>作業中</td><td>敷地境界 4方向各1点 プラント設置付近 1点 除去作業付近 1点 計6点</td><td>240分 120分 120分</td></tr><tr><td>作業後</td><td>敷地境界 4方向各1点 計4点</td><td>240分</td></tr><tr><td colspan="3">合計14点</td></tr></table>	測定時期	測定箇所	測定時間	作業前	敷地境界 4方向各1点 計4点	240分	作業中	敷地境界 4方向各1点 プラント設置付近 1点 除去作業付近 1点 計6点	240分 120分 120分	作業後	敷地境界 4方向各1点 計4点	240分	合計14点			第三者機関にて測定
測定時期	測定箇所	測定時間															
作業前	敷地境界 4方向各1点 計4点	240分															
作業中	敷地境界 4方向各1点 プラント設置付近 1点 除去作業付近 1点 計6点	240分 120分 120分															
作業後	敷地境界 4方向各1点 計4点	240分															
合計14点																	
廃材処理	(1) 強力吸引車を使用した同時吸引式工法により撤去した塗膜と廃水を外気に触れることなく密閉状態で安全に集積・分別をする。 (2) 分別した塗膜はフレコンバックに集めたのちプラスチック袋（0.15mm以上）で2重梱包する。	撮影															
除去したアスベスト等の保管、運搬、処分等	(1) 除去したアスベスト含有材等を搬出するまでの間現場に保管する場合は、石綿含有産業廃棄物として一定の保管場所を定め、他の建設副産物等と分別して保管する。 (2) 一時保管場所はシートで覆うなどの飛散対策を講じ、アスベスト含有材等の保管場所であることを掲示する。 (3) アスベスト含有材等の運搬車及び運搬容器は、アスベスト含有材等が飛散及び流出するおそれのないものとする。 (4) 運搬車の荷台には覆いをかけるなど飛散防止措置を講じる。 (5) 除去したアスベスト含有材の処分はマニュアル基準にて適正に最終処分場の一定の場所で埋め立て処分する。	撮影															

(4) 特記仕様に記載された以下の項目は施工完了後報告書として提出すること。

項目	特記仕様	報告方法
吸引時の圧力と風量	吸引圧力/真空圧 -60～-90kPa 風量 30～40m³/分	写真 臨機に仕様書提出
吸引時の排気濾過	ジェットスクラバ方式及びHEPAフィルター	写真
水処理（濁水処理内容）	アスベスト含有量 50本/L以下 pH pH5を超え9未満 浮遊物質質量（SS） 25mg/L未満	第三者機関の報告書 写真および第三者機関の報告書
アスベスト粉じん濃度測定	管理値（10本/L）以下	写真および第三者機関の報告書
廃材処理	(1) 飛散防止状況 (2) 二重梱包状況	第三者機関の報告書 写真 写真
除去したアスベスト等の保管、運搬、処分等	(1) 一時保管庫での保管状況 (2) 一時保管庫および看板設置状況 (3) 石綿含有産業廃棄物搬出状況 (4) 石綿含有産業廃棄物シート掛け状況 (5) 石綿含有産業廃棄物最終処分場	写真 写真 写真 写真 写真

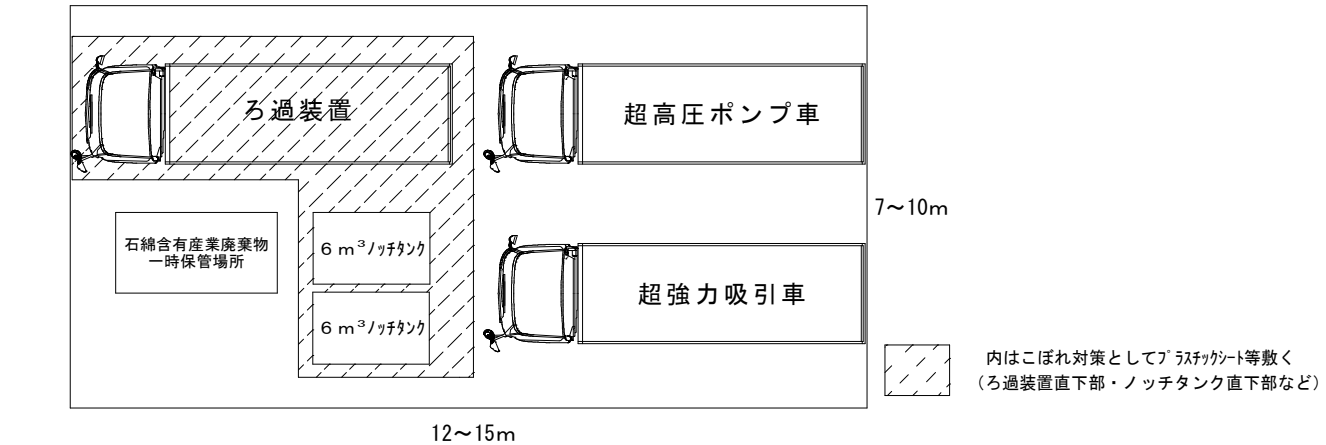
- (5) 石綿含有建材の除去等作業が適切に行われたことの確認及び作業の記録
- 石綿の取り残しがないこと等の確認・記録の手順として、マニュアルの4.15(p.226)に従って行う。
- ・4.15.1 作業が適切に行われたことの確認の流れ
 - ・4.15.2 作業の記録、確認及び記録の保存
 - ・4.15.3 石綿の取り残しがないこと等の確認方法
 - ・4.15.5 発注者への報告

【アスベスト含有仕上塗材除去工事フロー図】



【同時吸引式プラント設置例（平面図）】

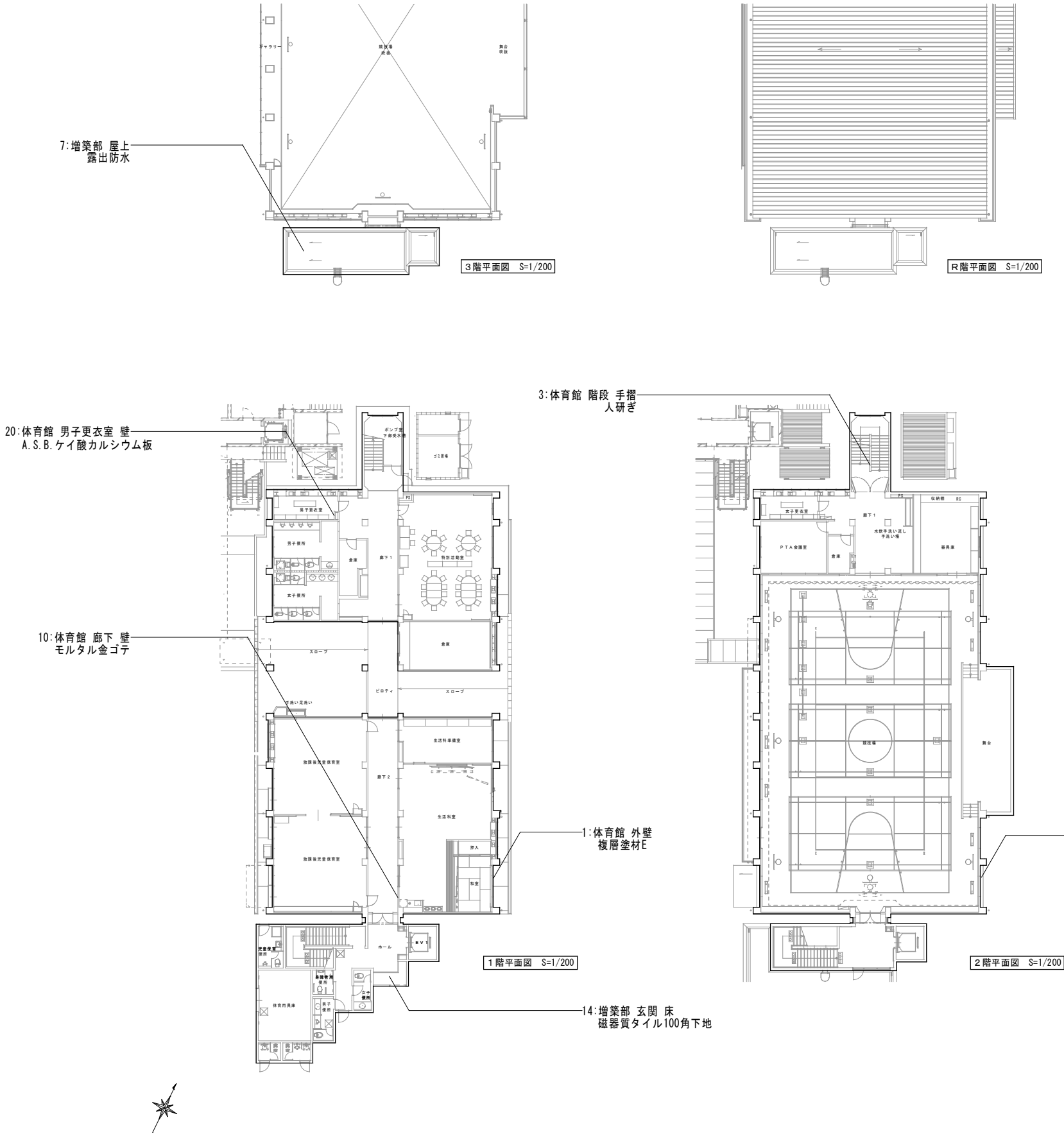
- (1) 機材設置場所から除去面の最長距離は100m程度。
- (2) 機材設置位置は縦に1列縦列も可能。



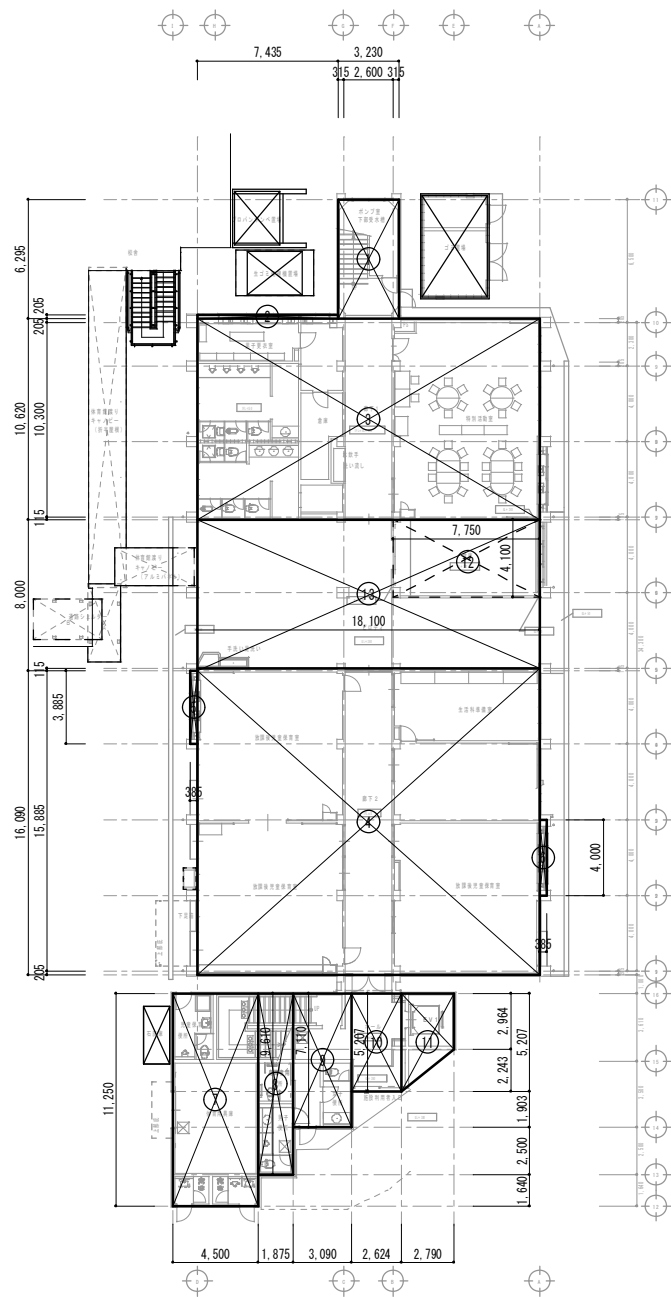
整理番号	注記		設計年月	2025.12	工事名称			KA-03
					新座市立大和田小学校屋内運動場解体工事			
					図面名称	縮尺		
					一般図 特記仕様書3(アスベスト)	A1= NON A3= NON		

■石綿分析結果一覧表

資料採取日	No.	試料名	採取箇所	判定	分析結果(含有率%)	
2024年8月20日	1	複層塗材E	体育館 外壁	【含有】	クリソタイル	0.1%-5%
	2	吹付リシン	体育館 軒天	【含有】	クリソタイル	0.1%-5%
	3	人研ぎ	体育館 階段 手摺	【含有】	クリソタイル トモライト	0.1%-5% 0.1%-5%
	4	複層塗材E	増築部 外壁	無		
	5	岩綿吸音板	増築部 軒天	無		
	6	耐火ボード	増築部 軒天 下地	無		
	7	露出防水	増築部 屋上	【含有】	アケチ/ライト	0.1%-5%
	8	ビニル床シート	体育館 廊下 床	無		
	9	ビニル巾木	体育館 廊下 巾木	無		
	10	モルタル金ゴテ	体育館 廊下 壁	【含有】	クリソタイル	0.1%-5%
	11	耐水石膏ボード	体育館 男子便所 壁	無		
	12	化粧石膏ボード	体育館 器具庫 天井	無		
	13	抗菌性長尺ビニル床シート	増築部 身障者用便所 床	無		
	14	磁器質タイル100角下地	増築部 玄関 床	【含有】	クリソタイル	0.1%-5%
	15	陶器質タイル100角下地	増築部 外部女子便所 壁	無		
	16	木毛セメント板	体育館 ピロティ 天井	無		
	17	耐水石膏ボード	増築部 児童保育用便所 天井	無		
	18	ビニル巾木	増築部 廊下 巾木	無		
	19	モルタル刷毛引き	体育館 ポンプ室(倉庫) 壁	無		
	20	A.S.B. ケイ酸カルシウム板	体育館 男子更衣室 壁	【含有】	クリソタイル	0.1%-5%
	21	モルタル金ゴテ	増築部 児童保育用便所 壁	無		

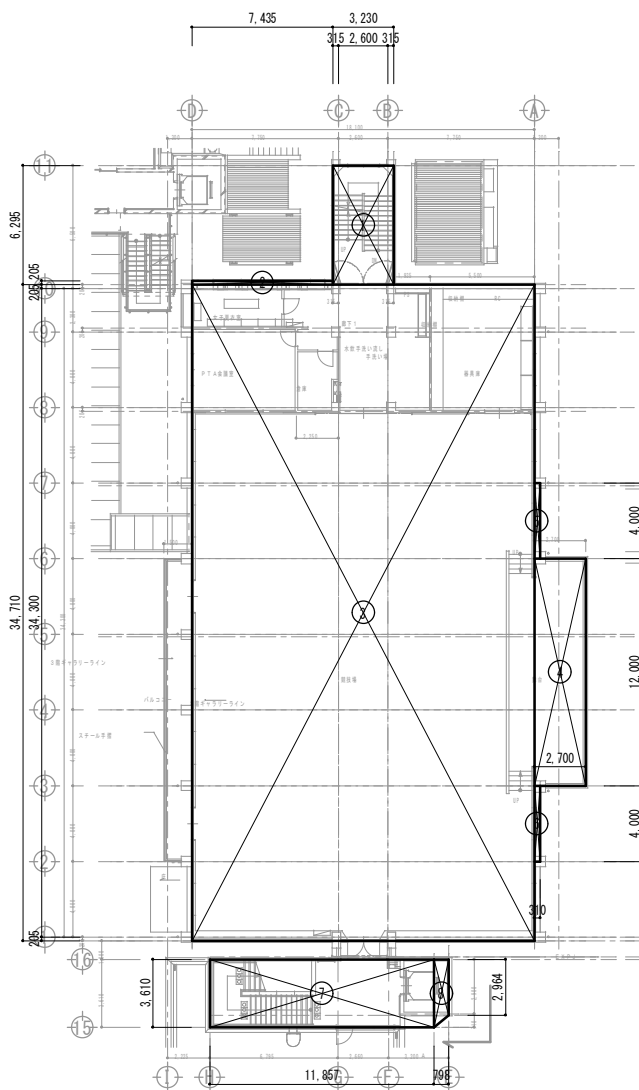


屋內運動場 1階床面積



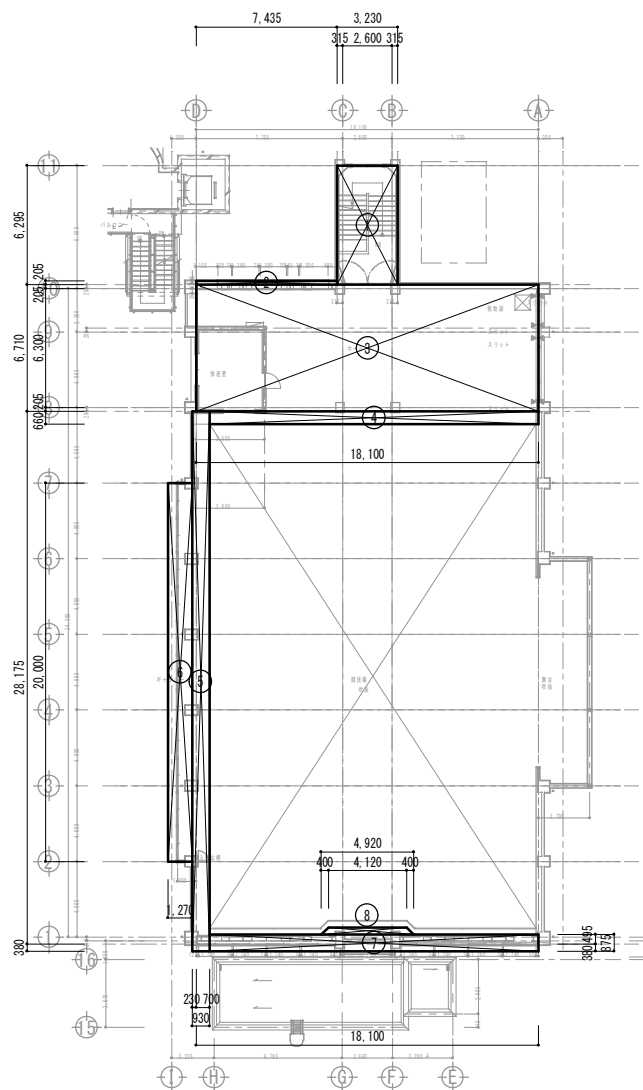
①	3.230	×	6.295	=	20.332850
②	7.435	×	0.205	=	1.524175
③	18.100	×	10.620	=	192.222000
④	18.100	×	16.090	=	291.229000
⑤	0.385	×	3.885	=	1.495725
⑥	0.385	×	4.000	=	1.540000
⑦	4.500	×	11.250	=	50.625000
⑧	1.850	×	9.610	=	17.778500
⑨	3.090	×	7.110	=	21.969900
⑩	2.624	×	5.207	=	13.663168
⑪	2.790	×	(2.964+5.207)÷2	=	11.398545
⑫	7.750	×	4.100	=	31.775000
				合計	655.553863
				既存体育館1階床面積（小数点3以下切上げ）	655.554㎡
⑬	18.100	×	8.000	=	144.800000
ピロティ	⑬	-	⑫		113.025㎡

屋內運動場 2階床面積

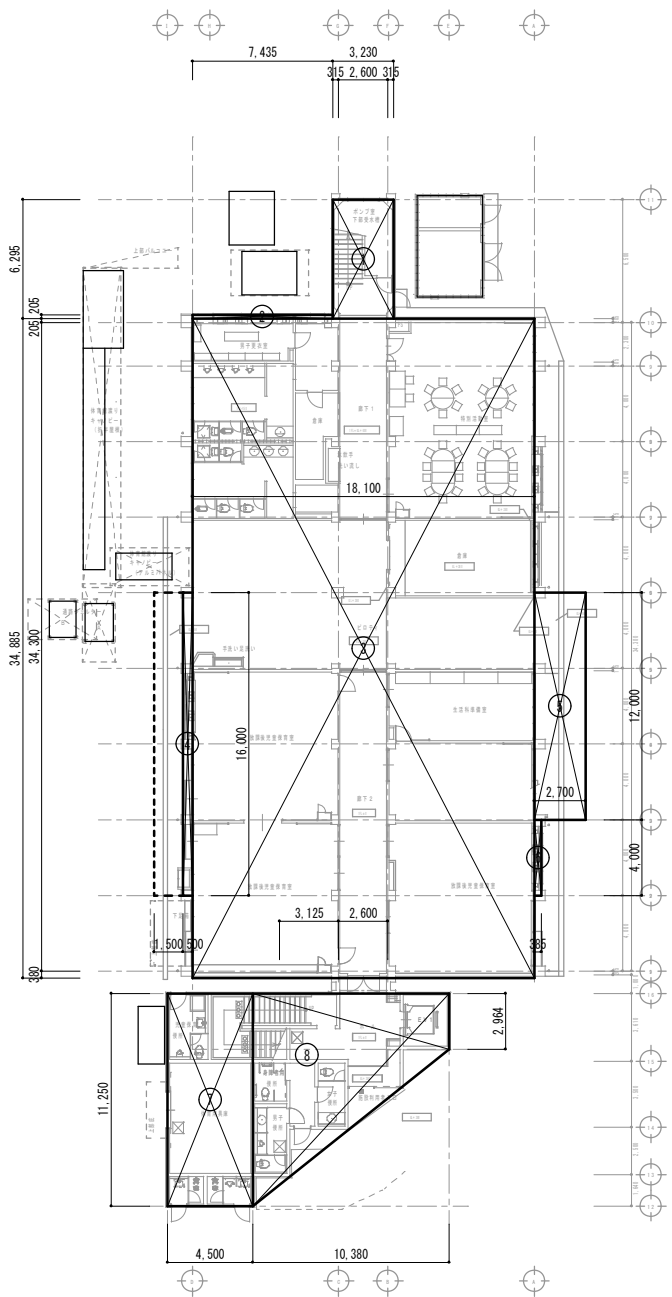


(1)		3.230	x	6.295	=	20.332850
(2)		7.435	x	0.205	=	1.524175
(3)		18.100	x	34.710	=	628.251
(4)		2.700	x	12.000	=	32.400000
(5)		0.310	x	4.000	=	1.240000
(6)		0.310	x	4.000	=	1.240000
(7)		11.857	x	3.610	=	42.803770
(8)		0.798	x	(2.964+3.610) ÷ 2	=	2.623026
					合計	730.414821
					既存体育館2階床面積（小数点3以下切上げ）	730.414㎡

屋內運動場 3階床面積

[illegible]

屋內運動場	建築面積
-------	------



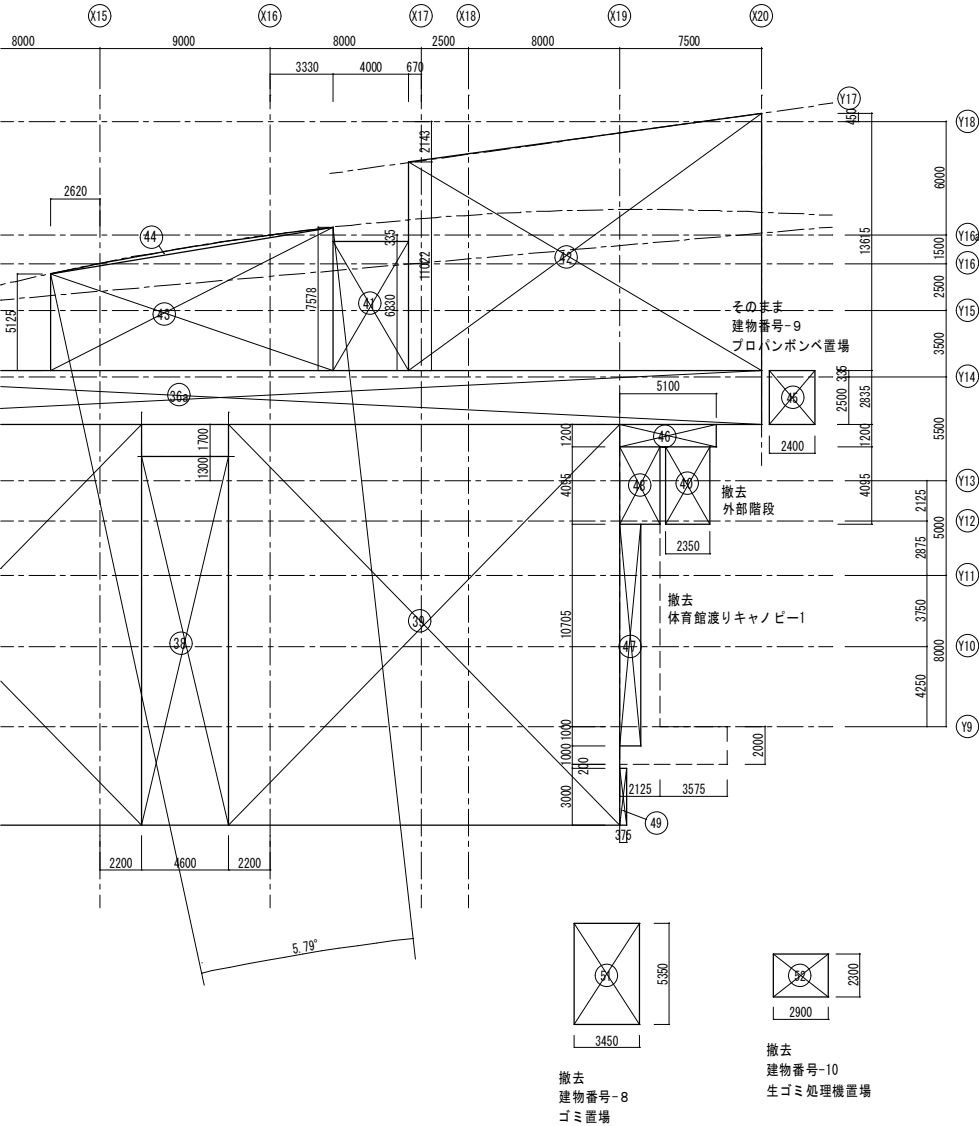
(1)	3.230	x	6.295	=		20.332850
(2)	7.435	x	0.205	=		1.524175
(3)	18.100	x	34.885	=		631.418500
(4)	0.500	x	16.000	=		8.000000
(5)	2.700	x	12.000	=		32.400000
(6)	0.385	x	4.000	=		1.540000
(7)	4.500	x	11.250	=		50.625000
(8)	10.380	$\times(2.964+11.250) \div 2$		=		73.770660
					合計	819.611185
					既存体育館建築面積（小数点3以下切上げ）	819.612㎡

■ 解体 延床面積集計表

屋内運動場	
1階延べ床面積	655.554 m ²
2階延べ床面積	730.414 m ²
3階延べ床面積	223.427 m ²
合計	1,609.395 m ²
	1,609.40 m ²

整理番号	注記		設計年月			工事名称			KA-05
			2025.12			新座市立大和田小学校屋内運動場解体工事			
						図面名称		縮尺	
						一般図 解体建築物 面積表・求積図1		A1= 1/200 A3= 1/400	

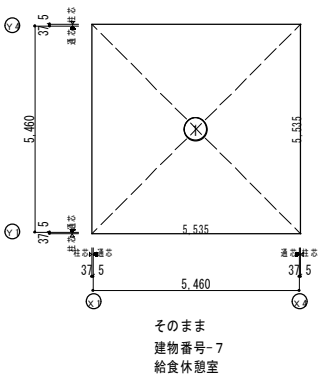
校舎 面積表・求積図より
校舎東側 S=1/200



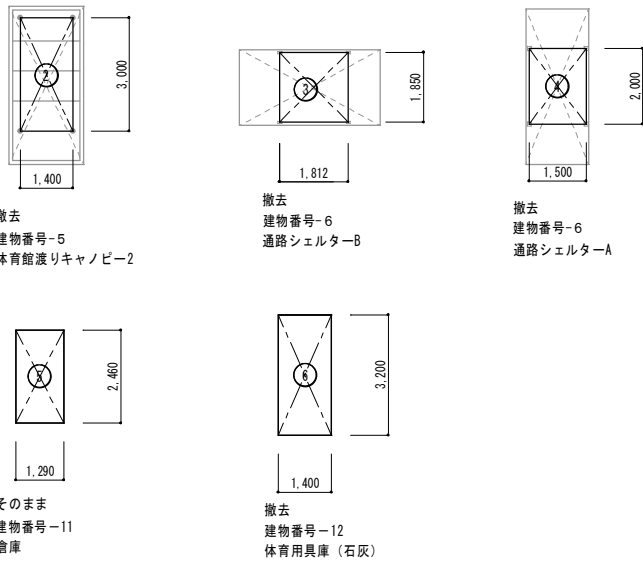
校舎 面積表・求積図より

解体前校舎 建築面積 (増築棟除く)		3673.29029413829
		3.673.30
40	2.35 × 4.095	9.62325
校舎鉄骨外部階段 建築面積		9.63
3673.29029413829 - 9.62325		3.663.667044
解体後校舎 建築面積		3.663.67
45	2.4 × 2.835	6.804
プロパンボンベ置場 建築面積		6.81
51	3.450 × 5.350	18.4575
ゴミ置場 建築面積		18.46
52	2.9 × 2.3	6.67
生ゴミ処理機置場 建築面積		6.67
47	1.125 × 11.705	13.168125
48	2.125 × 4.095	8.701875
		21.870000
体育館渡りキャノピー1 建築面積		21.87

給食増築棟 延床面積求積図・建築面積求積図より
S=1/75



延床面積求積図・建築面積求積図
S=1/75



延床・建築面積求積表

1	5.46 × 5.46	29.811600
給食休憩室 建築面積		29.82
2	1.40 × 3.00	4.200000
体育館渡りキャノピー2 建築面積		4.20
3	1.82 × 1.85	3.367000
通路シェルターB 建築面積		3.37
4	1.50 × 2.00	3.000000
通路シェルターA 建築面積		3.00
5	1.29 × 2.46	3.173400
倉庫 建築面積		3.18
6	1.40 × 3.20	4.480000
体育用具庫 (石灰) 建築面積		4.48

■解体 延床面積集計表

屋内運動場	
1階延べ床面積	655.554 m ²
2階延べ床面積	730.414 m ²
3階延べ床面積	223.427 m ²
合計	1,609.40 m ²

ゴミ置場	
ゴミ置場	18.46 m ²
生ゴミ処理機置場	
生ゴミ処理機置場	6.67 m ²
外部階段	
校舎鉄骨外部階段	- m ²
体育用具庫	
石灰庫	4.48 m ²

渡り廊下	
体育館渡りキャノピー1	- m ²
渡り廊下	
体育館渡りキャノピー2	- m ²
渡り廊下	
通路シェルターA	- m ²
渡り廊下	
通路シェルターB	- m ²

解体 延床面積合計 1,639.01m²

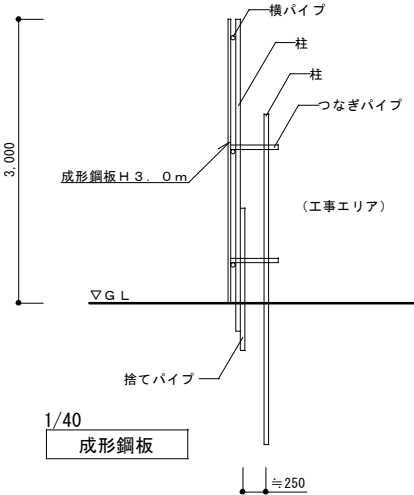
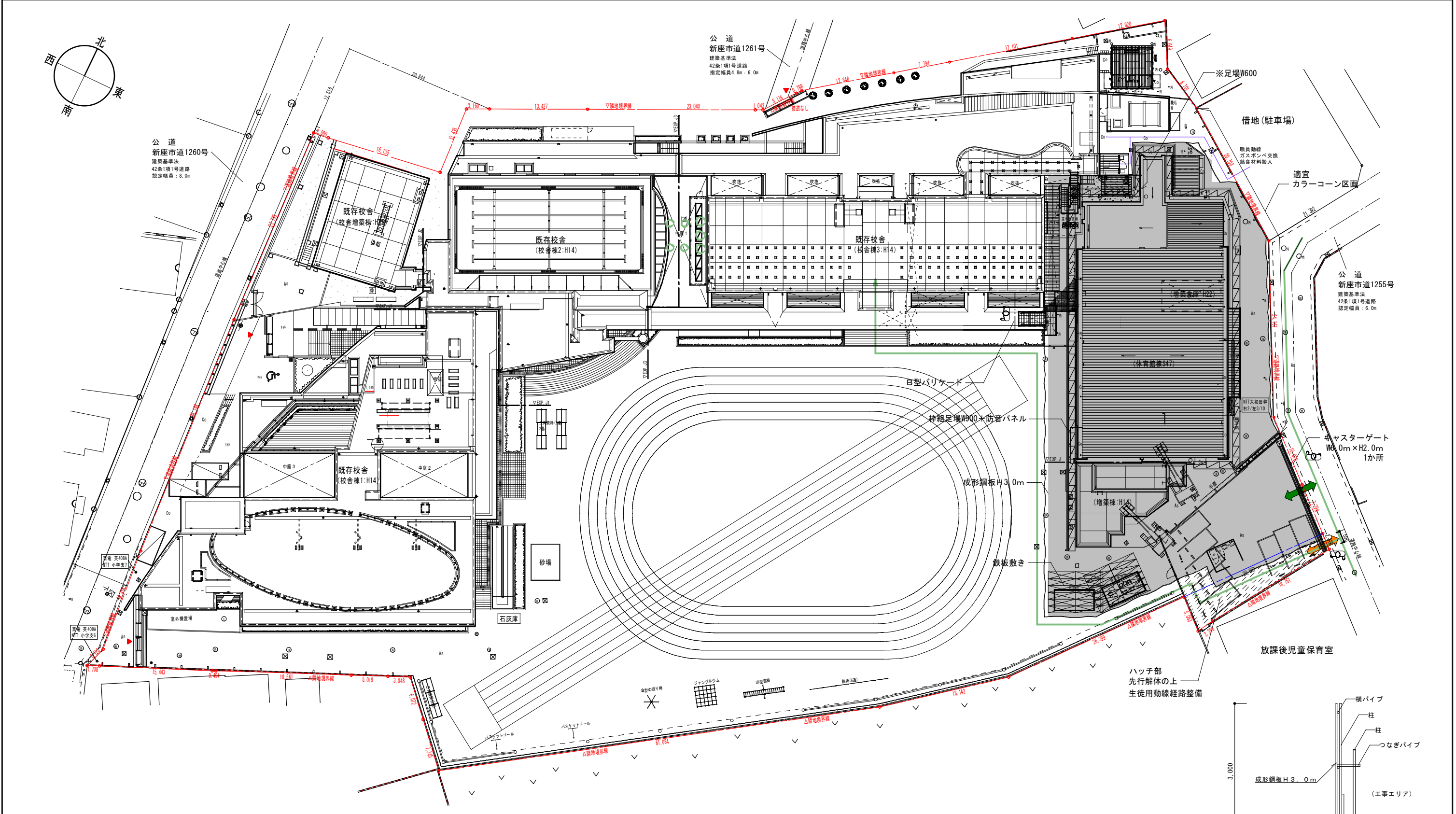
■解体 建築面積集計表

屋内運動場	
屋内運動場	819.62 m ²
ゴミ置場	
ゴミ置場	18.46 m ²
生ゴミ処理機置場	
生ゴミ処理機置場	6.67 m ²
校舎鉄骨外部階段	
校舎鉄骨外部階段	9.63 m ²

体育用具庫	
石灰庫	4.48 m ²

渡り廊下	
体育館渡りキャノピー1	21.87 m ²
渡り廊下	
体育館渡りキャノピー2	4.20 m ²
渡り廊下	
通路シェルターA	3.00 m ²
渡り廊下	
通路シェルターB	2.71 m ²

解体 建築面積合計 890.64m²



解体工事		学校1.2学期使用期間中 5月から12月中旬	
	工事動線		手掘先行枠組足場W900+防音パネル
			手掘先行枠組足場W900+防音パネル(防災1期)
	利用者(生徒/職員)動線		鉄板敷き(参考:1.5m×6.0m)
			交通誘導員
	工期中、工事関係者専有エリア		オレンジネットH1.0m
			コーン・コーンバー程度
			外部仮囲い 成形成鋼板H3.0m
			内外部仮囲い B型バリアード H1.8m
			キャスターゲート W6.0m×H2.0m
			オレンジネットH1.0m
			コーン・コーンバー程度

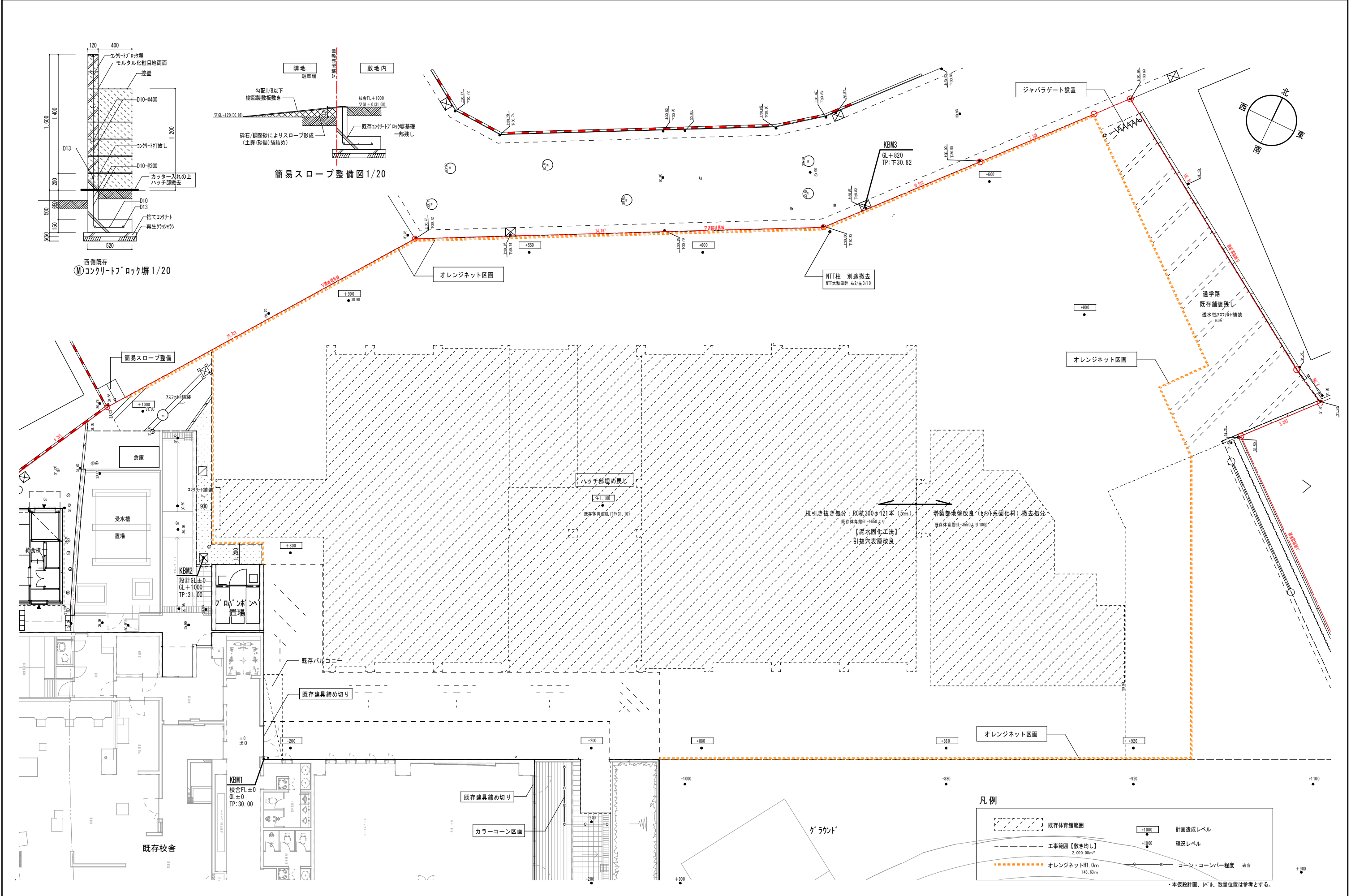
施工条件

- ・今回解体工事期間中、校舎及び校庭は利用しているものとし、東門からの児童登下校動線に配慮すること。学校活動に影響の出る解体、切り回し工事や建物内部仮設設置は、休校日の施工を原則とする。
- ・作業員には工事関係者を示す簡章等の着用を徹底する。
- ・工事範囲外の切り回し/設備工事や解体工事においては、適宜交通誘導員の配置及びカラーコーンにて区画を行う。
- ・交通誘導員を適宜配置の上、東側道路からの工事車両出入りを原則とする。
- ・工事車両はAM8時半以降の出入りを原則とし、学校周囲での待機車両は禁止とする。

※本図は参考とし、請負者は受注後、施工手順等がわかるようマスター工程とともに「各工程仮設計画図」を速やかに作成し、監督員及び学校責任者の了承を得ること。

・本仮設計画、数量位置は参考とする。

整理番号	注記	設計年月	工事名称	図面名称	縮尺	KA-07
		2025.12	新座市立大和田小学校屋内運動場解体工事	一般図 仮設計画図1(参考)	A1= 1/250 A3= 1/500	

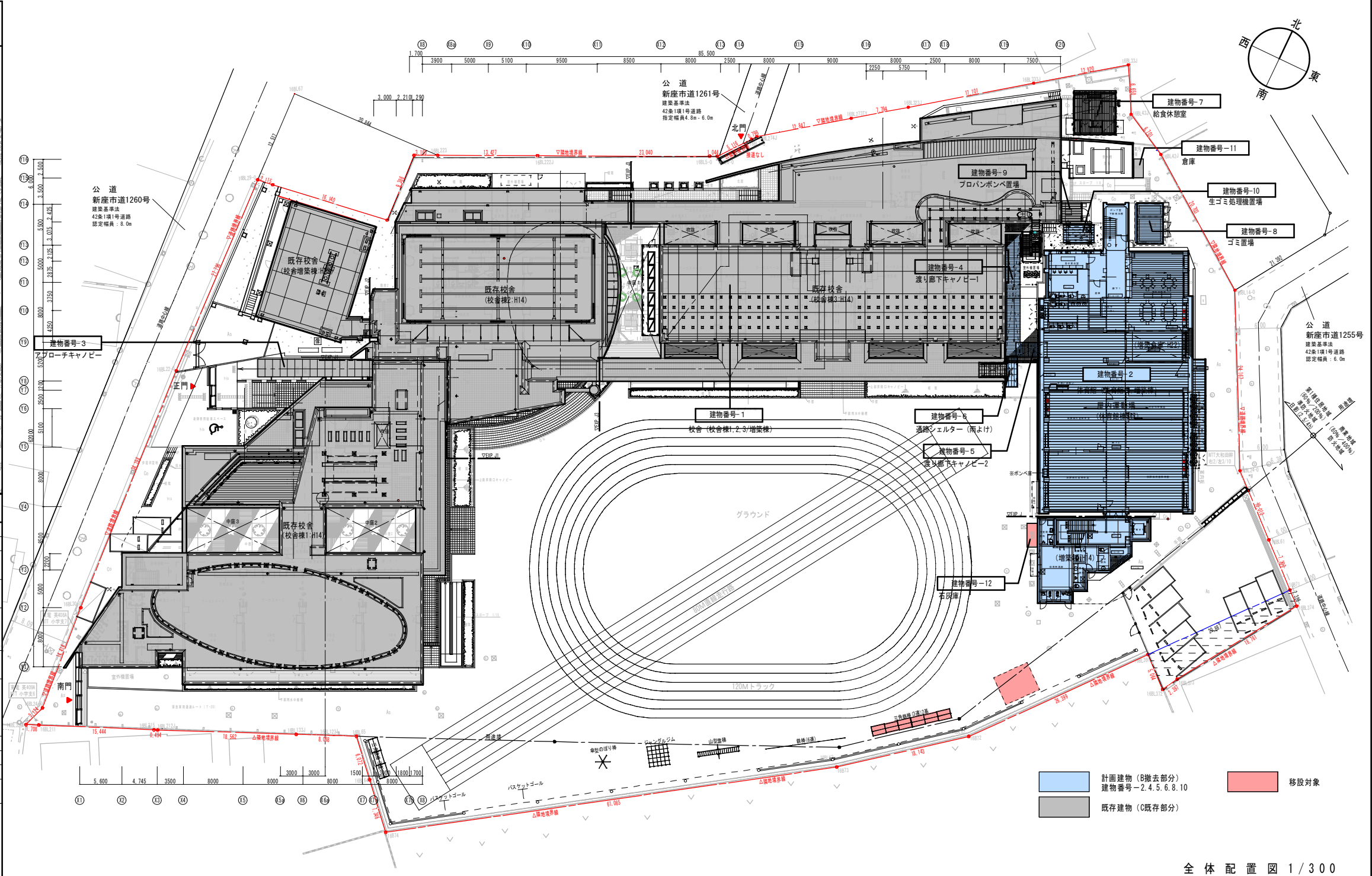


整理番号	注記	設計年月 2025. 12	工事名称 新設市立大和田小学校屋内運動場解体工事	図面名称 一般図 仮設計画図2(解体後平面図) (参考)	KA-08



敷地概要	
地名地番	埼玉県新産市大和田一丁目360番1 他7番
住居表示	埼玉県新産市大和田1-30
用途地域 (日影規制種別、 建築物高さ最高限度)	第1種住居地域【過半】(60%・200%) (日影(一)、高さ制限25m) 商業地域(80%・400%) (日影(二)、高さ制限25m)
防火地域等	防火地域等 第1種住居地域:準防火地域 / 商業地域:防火地域 その他の地域等:高度地区指定なし
敷地面積	11,930.72㎡ 第1種住居地域:10,915.88㎡ 商業地域:1,014.84㎡
前面道路	東側:新産市道1255号【法第42条第1項第1号道路】 指定幅員6.0m 接道長さ41.476m 北側:新産市道1261号【法第42条第1項第1号道路】 指定幅員4.8m 接道なし 西側:新産市道1260号【法第42条第1項第1号道路】 指定幅員8.0m 接道長さ92.046m
道路斜線等	道路斜線:勾配1.25、隣地斜線:高さ20m+勾配1.25 北側斜線:高さ10m+勾配1.25 道路斜線:勾配1.25、隣地斜線:高さ20m+勾配1.25
許容建築面積	61.70% ※按分 60×0.915 + 80×0.085 ∴建築率 61.70% 10,915.88 × 60% = 6,549.52 1,014.84 × 80% = 811.87 6,549.52 + 811.87 = 7,361.39 7,361.39 ÷ 11,930.72 = 0.61701
許容容積対象面積	217.00% ※按分 200×0.915 + 400×0.085 ∴容積率 217.01% 10,915.88 × 200% = 21,831.76 1,014.84 × 400% = 4,059.36 21,831.76 + 4,059.36 = 25,891.12 25,891.12 ÷ 11,930.72 = 2.1701
日影規制	高さが10mを超える建築物:受影面4.0m・4時間/2.5時間(第1種住居地域)

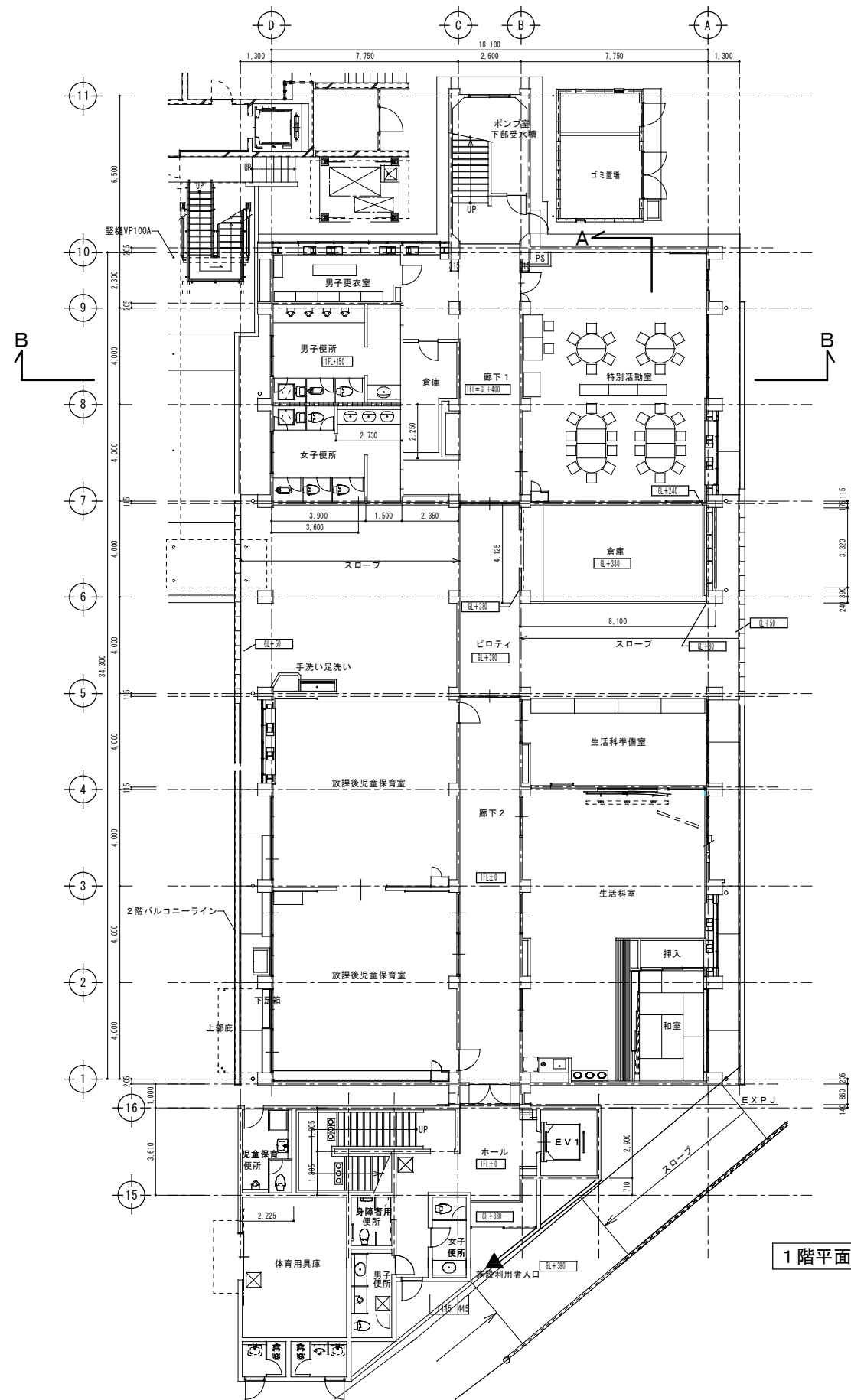
計画概要	
■大和田小学校既存体育館他、建築物撤去工事	・敷地内建築物(7棟:既存体育館、ゴミ置場、物置他)解体・撤去処分(アスベスト除去工事/高低差処理工事含む) ・解体建物に関する電気・機械設備の撤去及び埋設物(配管/配線/桁等)の撤去
■外構撤去工事	・解体建物周囲の工作物(擁壁/階段/塀/フェンス/字溝/車止め等)及び舗装撤去 ・遊具【砂場】の移設(改築に向けた工事エリア確保のため)



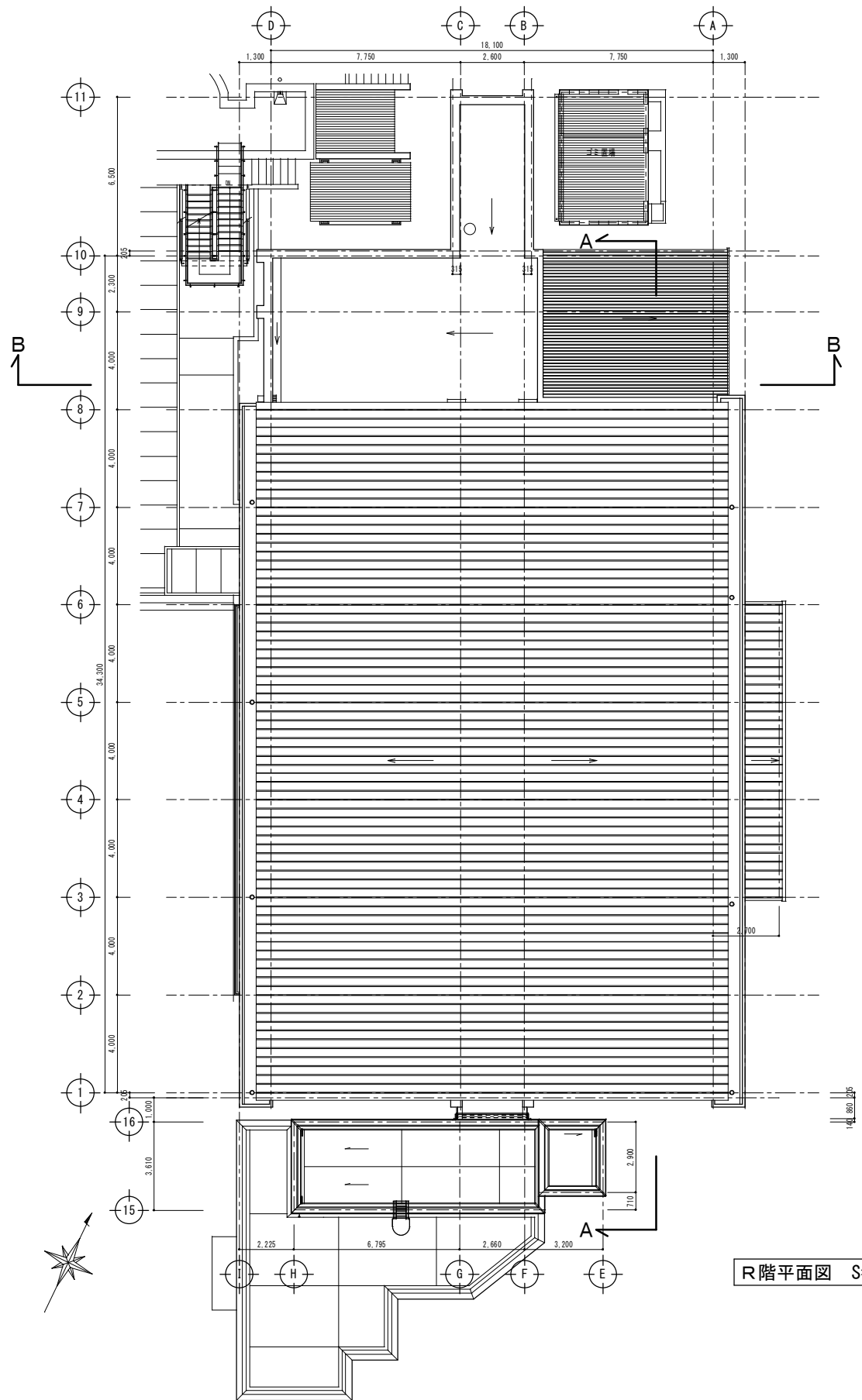
全体配置図 1/300

棟 別 建 物 概 要																					
	今回撤去(B) 計	撤去前 面積合計 (B) + (C)	撤去後 面積合計 (C)	建物番号	建物番号-1	建物番号-2		建物番号-3	建物番号-4	建物番号-5	建物番号-6A	建物番号-6B (校舎下)	建物番号-7	建物番号-8	建物番号-9	建物番号-10	建物番号-11	建物番号-12	解体前 容積率 建築率		
				種 別	既存(C)	撤去(B)	撤去(B)	既存(C)	撤去(B)	撤去(B)	撤去(B)	撤去(B)	撤去(B)	撤去(B)	既存(C)	撤去(B)	既存(C)	撤去(B)		既存(C)	移設(C)
				建物名称	校舎		外部階段(東側)	体育館	7フローチャン/ビ	体育館2キヤノ/ビ	体育館2キヤノ/ビ	通路2キヤノ/ビ	通路2キヤノ/ビ	給食休憩室	ゴミ置場	プロパンボン/建機	生ゴミ処理機置場	倉庫		石灰庫	
	1,639.010	10,081.246	8,442.236	延床面積(㎡)	8,011.02	390.596	-	1,609.40	-	-	-	-	30.64	18.46	6.81	6.67	3.17	4.48	10,081.246 84.50%		
	891.292	4,826.162	3,934.870	建築面積(㎡)	3,663.67	211.138	9.63	819.612	19.442	21.870	4.200	3.000	3.370	30.64	18.46	6.81	6.67	3.17	4.48	4,826.162 40.45%	
				主要用途	小学校 (校舎H14)	小学校 (校舎増築H28)	小学校 (校舎H14)	小学校 (児童遊園地47増築H4)	小学校 (渡り廊下)	小学校 (渡り廊下)	小学校 (渡り廊下)	小学校 (渡り廊下)	小学校 (給食棟増築H28)	小学校 (物置)	小学校 (物置)	小学校 (物置)	小学校 (物置)	小学校 (物置)	小学校 (物置)	解体後 容積率 建築率	
				耐火性能	-	耐火建築物	-	耐火建築物	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他		
				構 造	RC造	S造	S造	RC造一部S造	S造	S造	S造	7M造	7M造	S造	RC造、一部S造	RC造一部S造	S造	軽量鉄骨造	軽量鉄骨造		
				規 模	地上3階建	地上2階建	-	地上3階建	平屋	平屋	平屋	平屋	平屋	平屋	平屋	平屋	平屋	平屋	平屋		
				最高建物高さ(㎡)	9.98	9.98	13.88	2.98	2.780	2.725	2.516	2.925	3.885	2.345	2.345	3.28	2.08	2.08	2.08		
				最高軒高さ(㎡)	9.465	9.465	11.37	2.95	2.375	2.722	2.300	2.257	3.345	2.76	2.045	3.09	1.98	1.98	1.98		
				備 考	法第6条第1項1号 3673.30-9.63 1階: 2933.00㎡ 3階: 2085.09㎡ 2階: 2951.42㎡ 3階: 41.48㎡		法第6条第1項3号 法第6条第6号 附属建築物 開放性あり		法第6条第1項4号 法第6条第6号 附属建築物 開放性あり	法第6条第1項4号 法第6条第6号 附属建築物 開放性あり	法第6条第1項4号 法第6条第6号 附属建築物 開放性あり	法第6条第1項4号 法第6条第6号 附属建築物 開放性あり	法第6条第1項4号 法第6条第6号 附属建築物 開放性あり	法第6条第1項4号 法第6条第6号 附属建築物 開放性あり	法第6条第1項4号 法第6条第6号 附属建築物 開放性あり	法第6条第1項4号 法第6条第6号 附属建築物 開放性あり	法第6条第1項4号 法第6条第6号 附属建築物 開放性あり	法第6条第1項4号 法第6条第6号 附属建築物 開放性あり	法第6条第1項4号 法第6条第6号 附属建築物 開放性あり		

整理番号	注記	設計年月	2025.12	工事名称	新産市立大和田小学校屋内運動場解体工事	縮尺	A1= 1/300 A3= 1/600	KA-09
		図面名称	現況図 案内図・配置図					

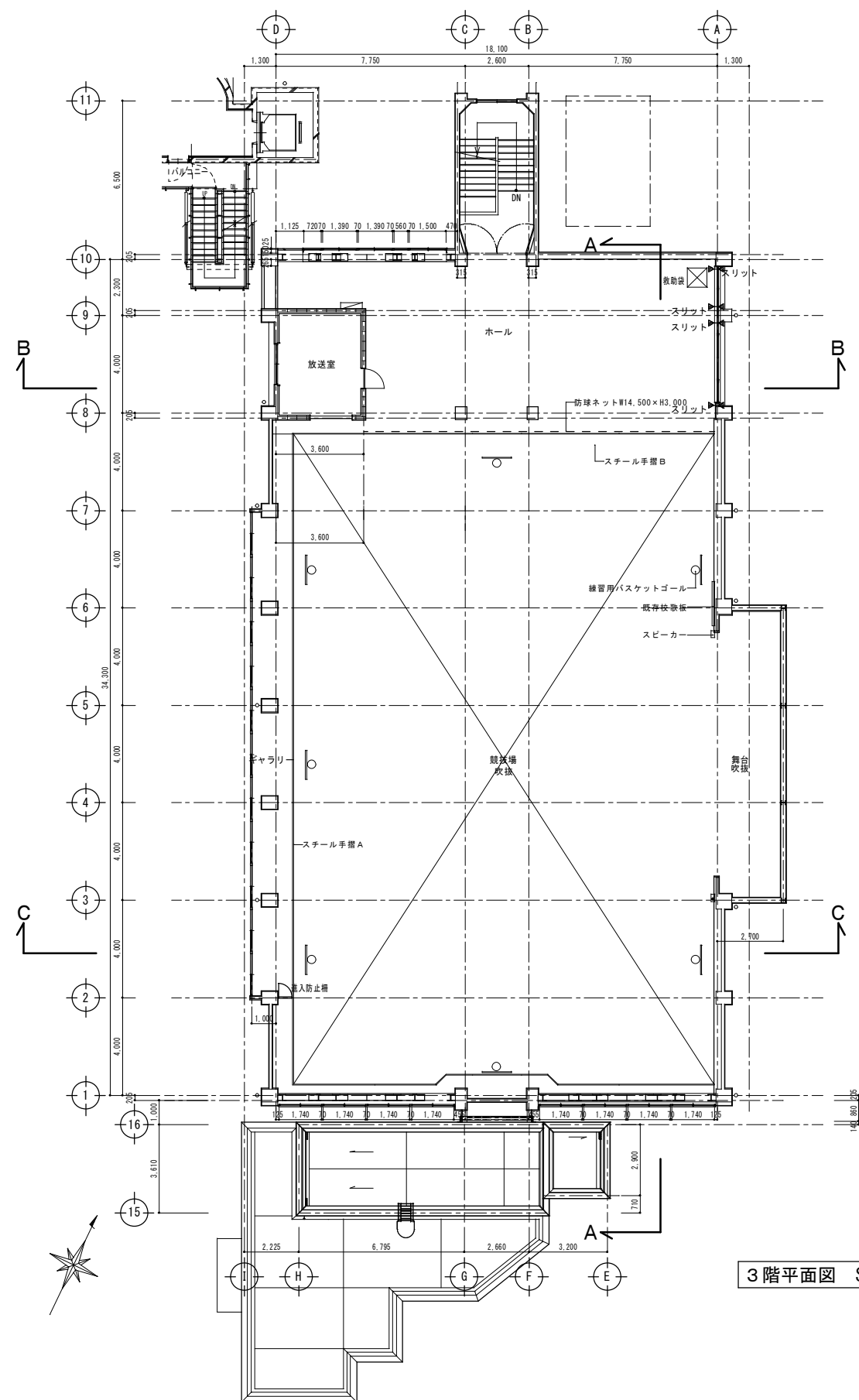
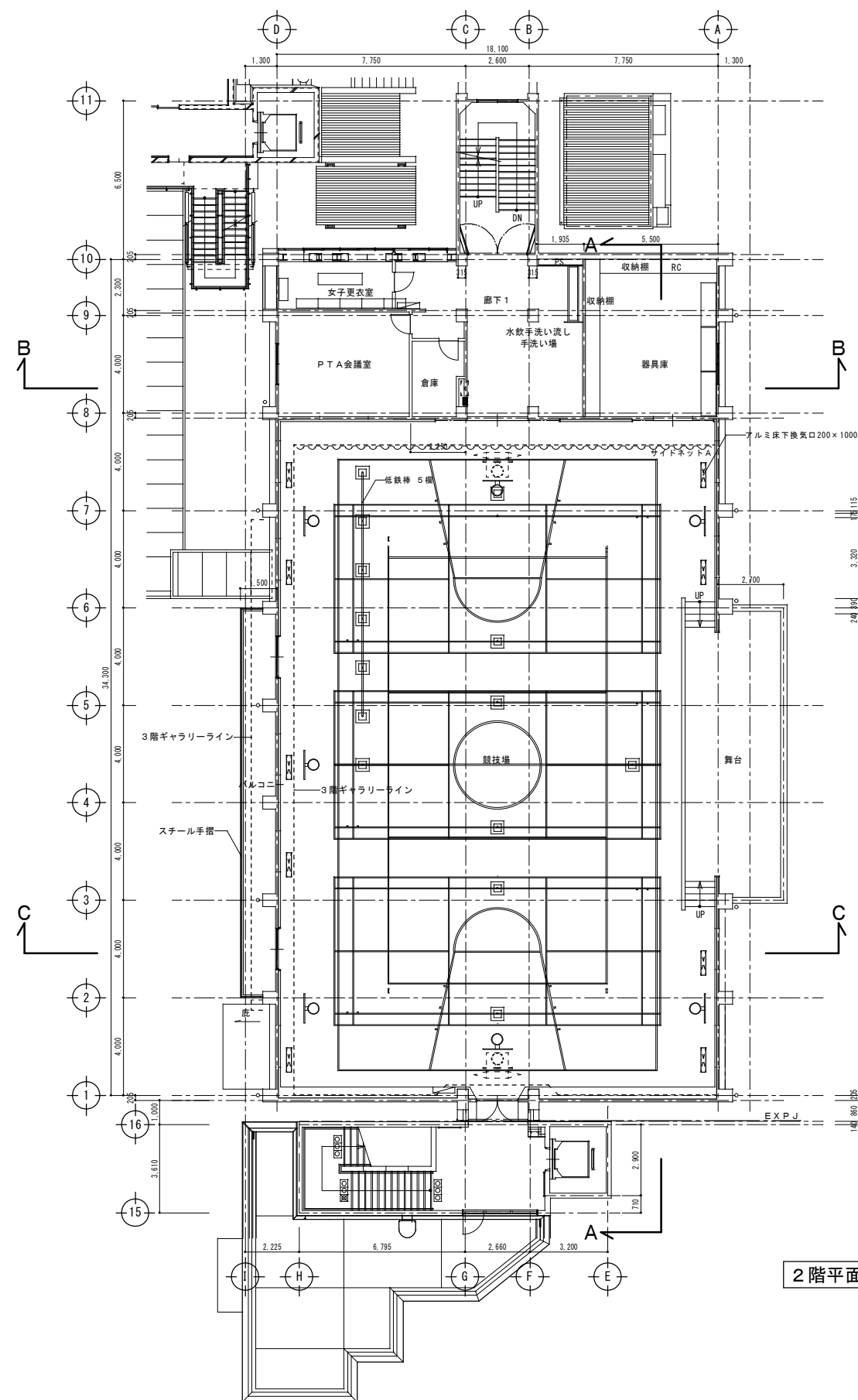


1階平面図 S=1/120

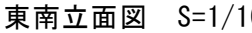
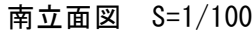


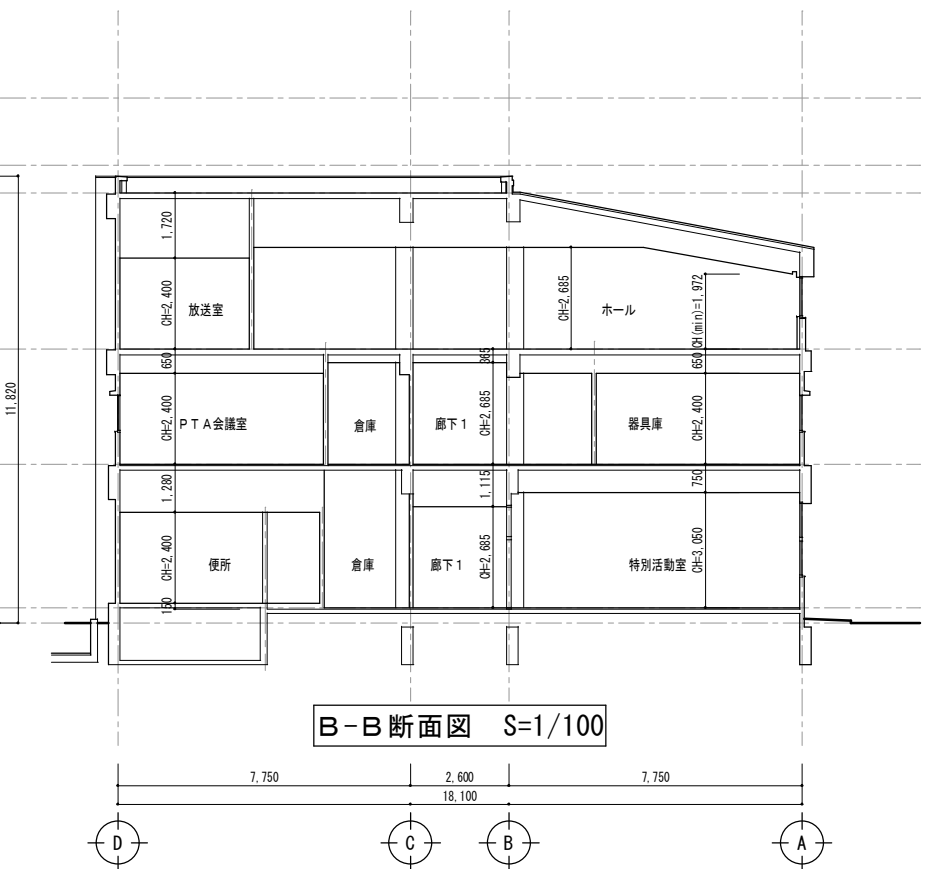
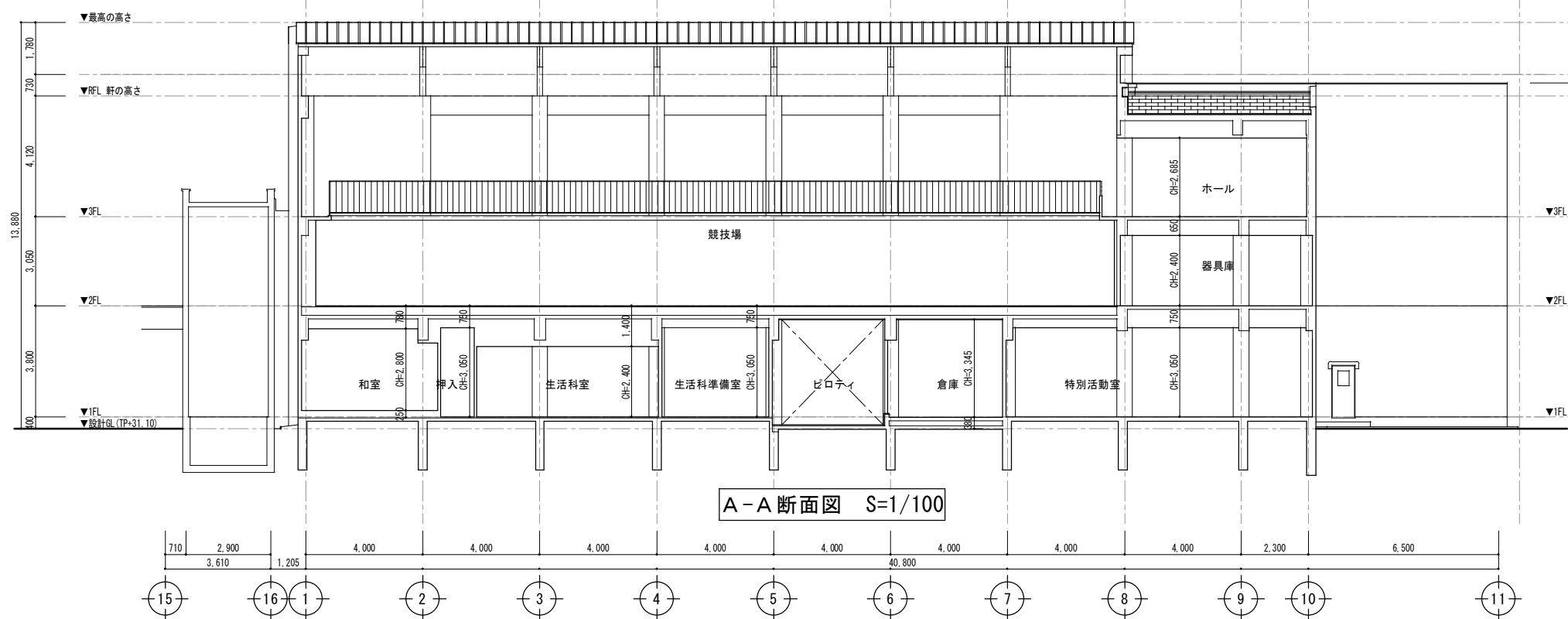
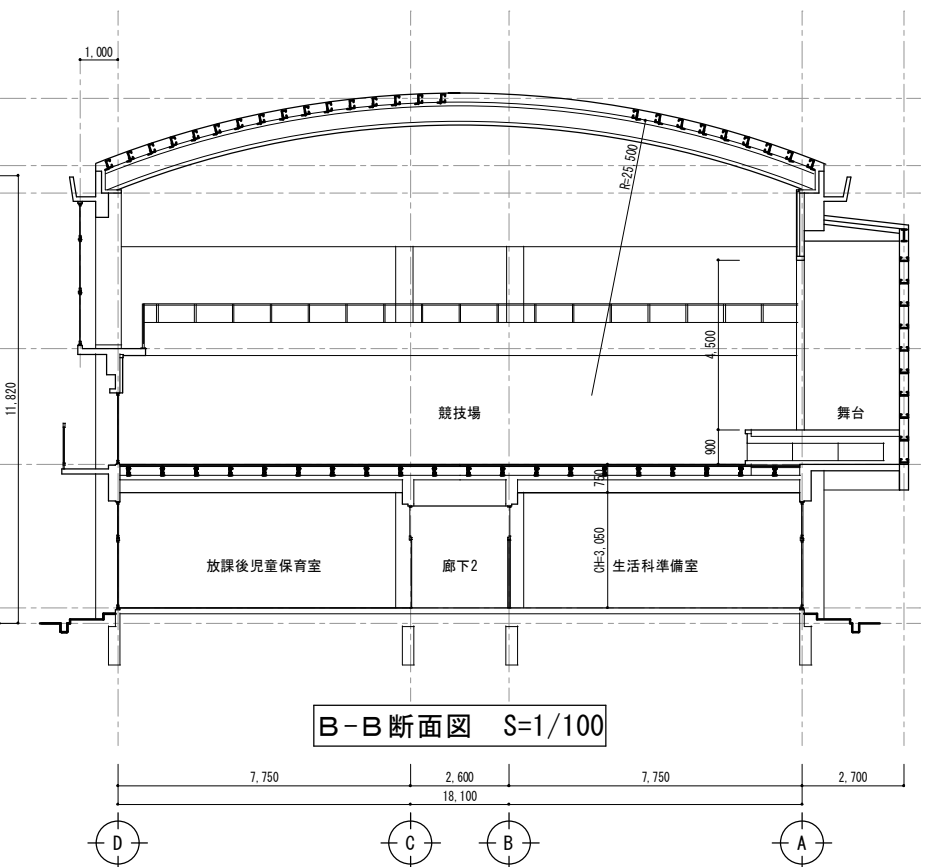
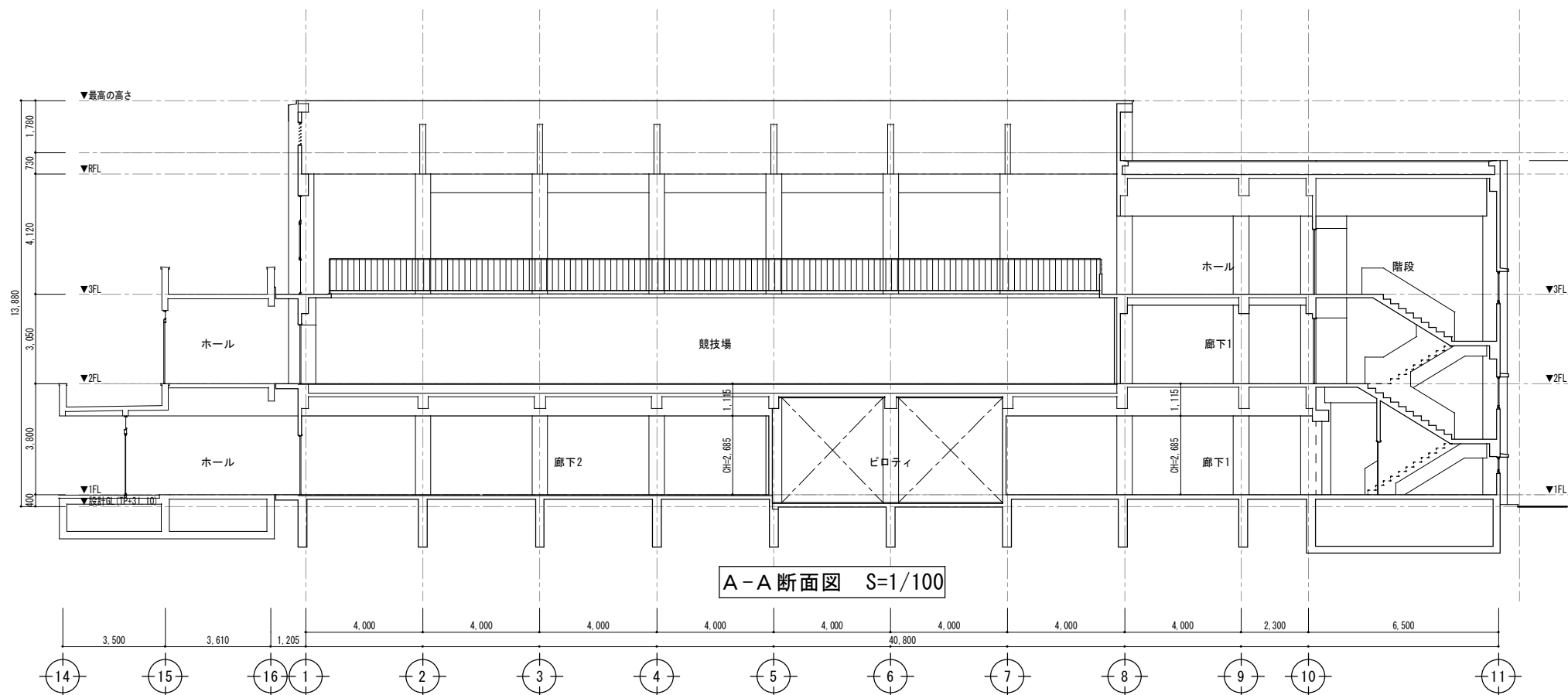
R階平面図 S=1/120

整理番号	注記		設計年月	2025.12	工事名称	新座市立大和田小学校屋内運動場解体工事	縮尺	A1= 1/120 A3= 1/240	KA-10
						図面名称			
						現況図 既存屋内運動場 1階・R階平面図			



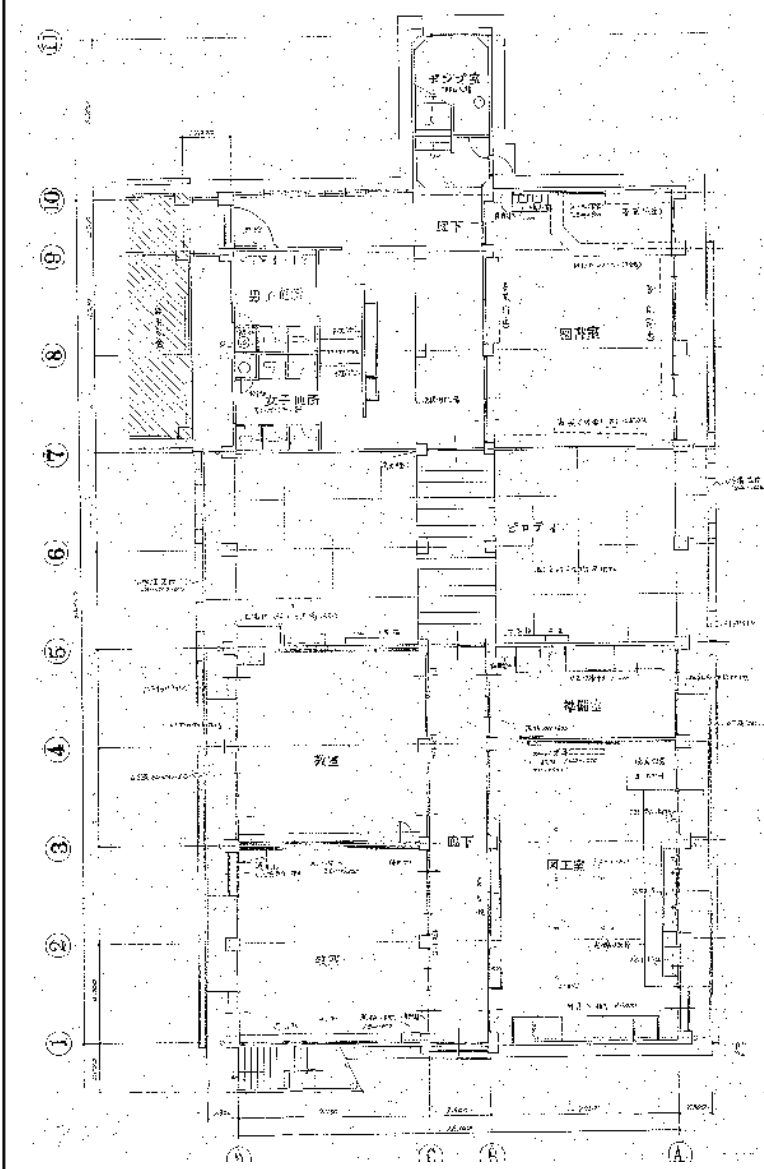
整理番号	注記		設計年月 2025.12	工事名称 新座市立大和田小学校屋内運動場解体工事 図面名称 現況図 既存屋内運動場 2階・3階平面図 縮尺 A1= 1/120 A3= 1/240	KA-11

KA-12

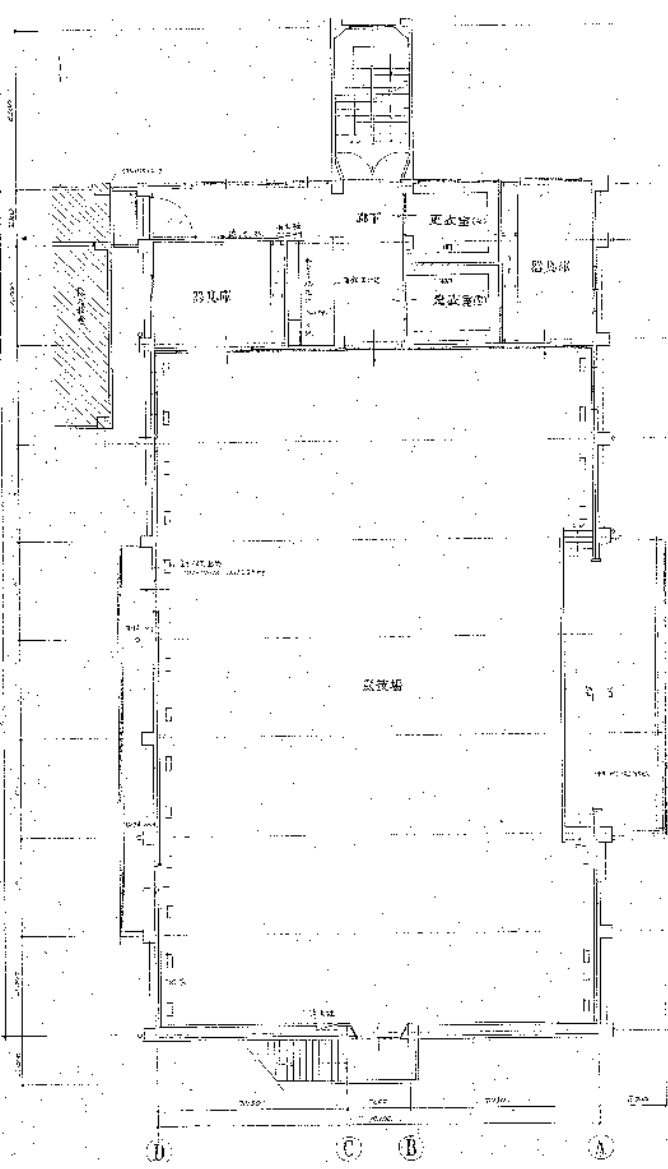


整理番号	注記		設計年月	2025.12	工事名称	新座市立大和田小学校屋内運動場解体工事			縮尺	A1= 1/100 A3= 1/200	KA-13
								現況図 既存屋内運動場 断面図			

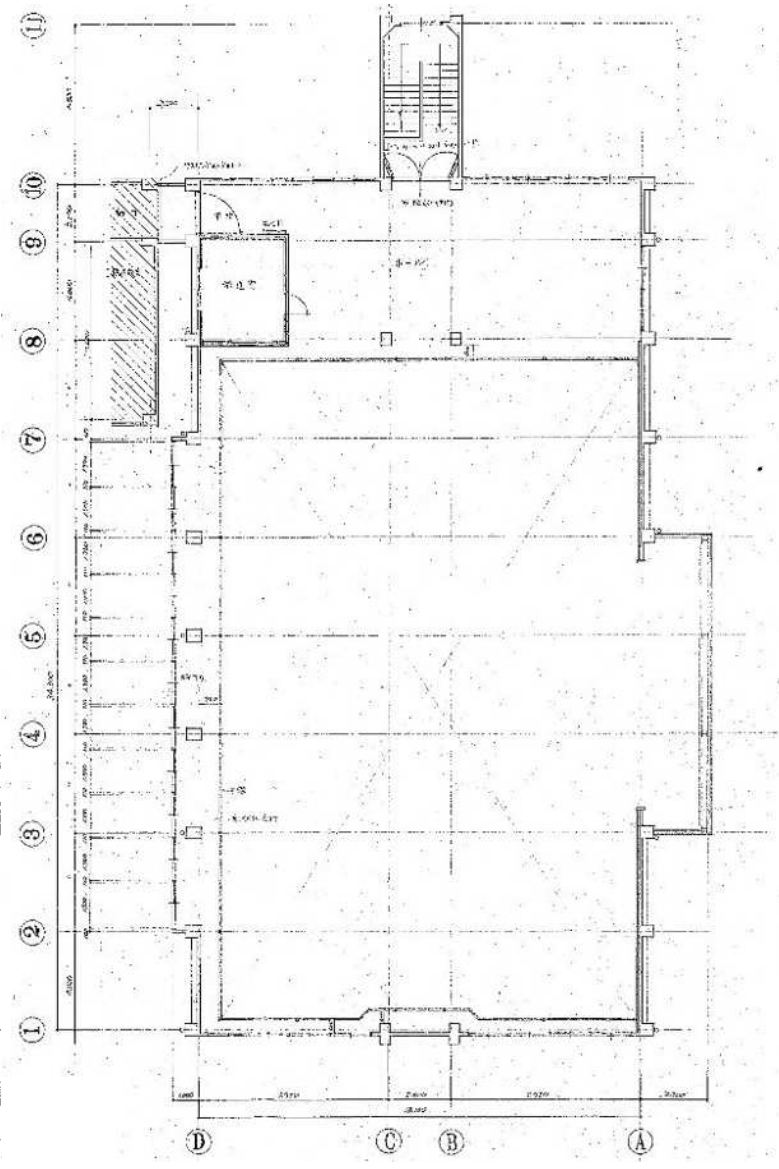
整理番号	注記		設計年月			工事名称			KA-14
			2025.12			新座市立大和田小学校屋内運動場解体工事			
						図面名称		縮尺	
			新築工事時 仕上表 (S48)			A1= NON A3= NON			



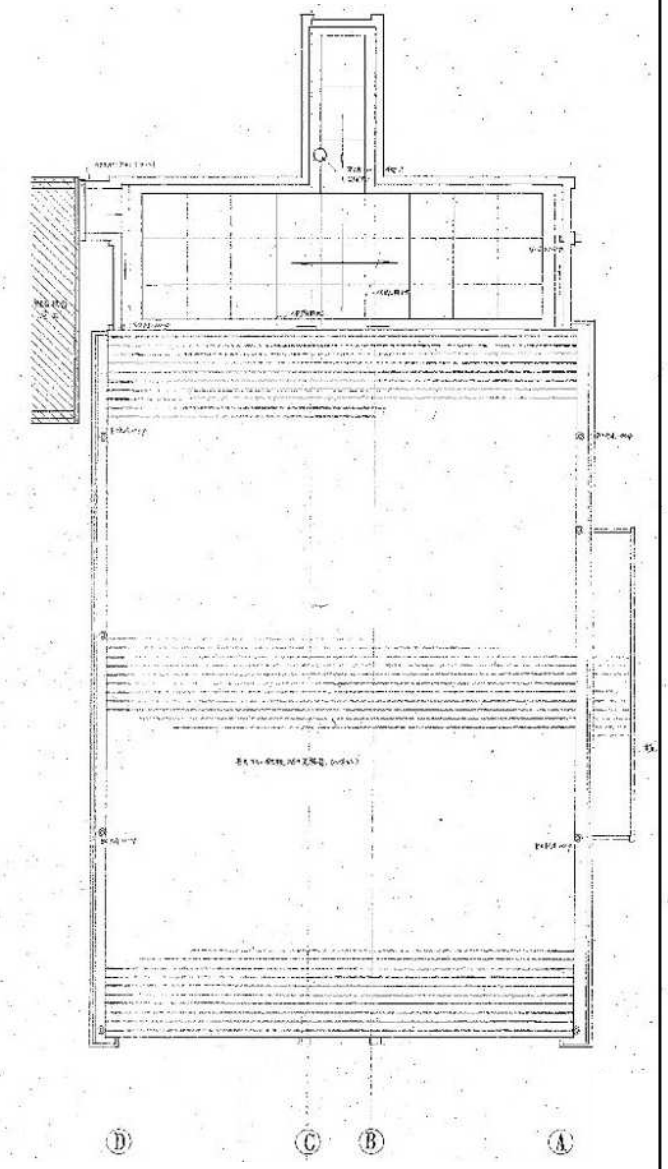
1 階平面図 S=1/150



2 階平面図 S=1/150

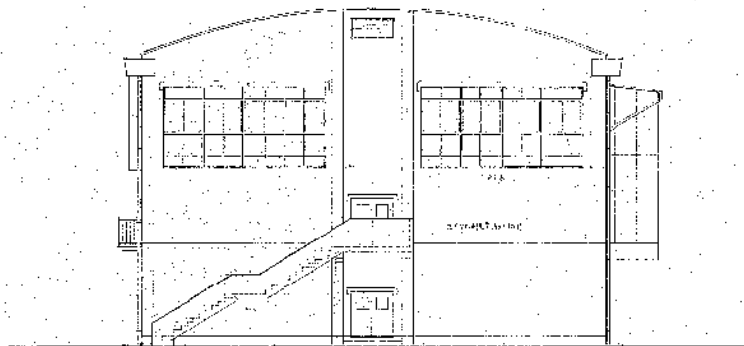


3 階平面図 S=1/150

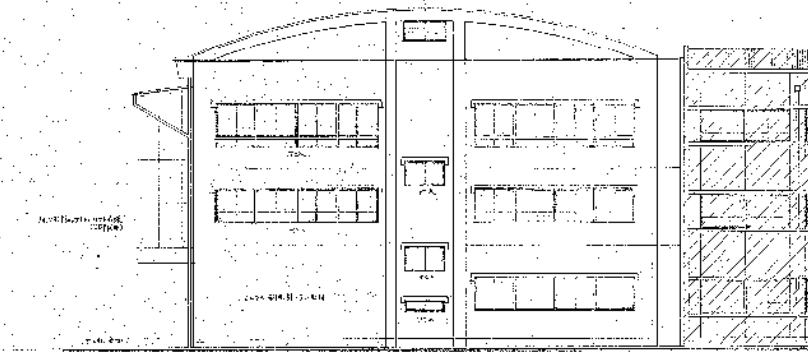


R 階平面図 S=1/150

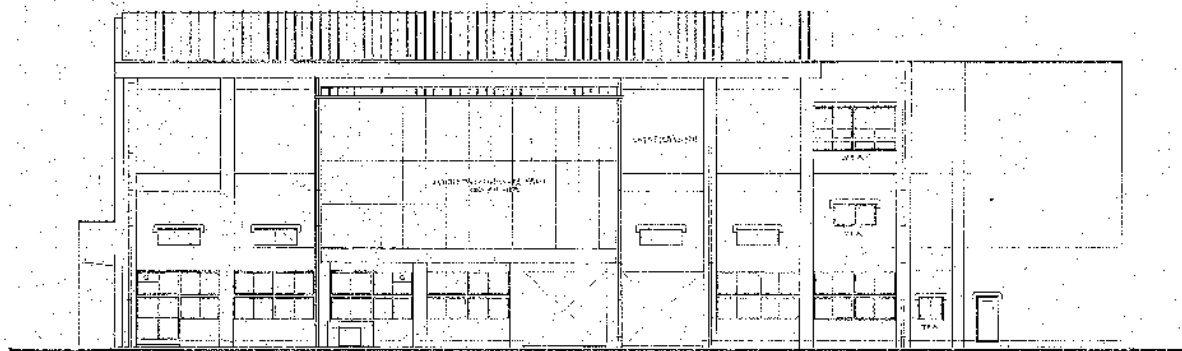
整理番号	注記			設計年月	工事名称			縮尺	KA-15
					2025.12				
					新座市立大和田小学校屋内運動場解体工事				
							図面名称		
							新築工事時 平面図 (S48)	A1= 1/150 A3= 1/300	



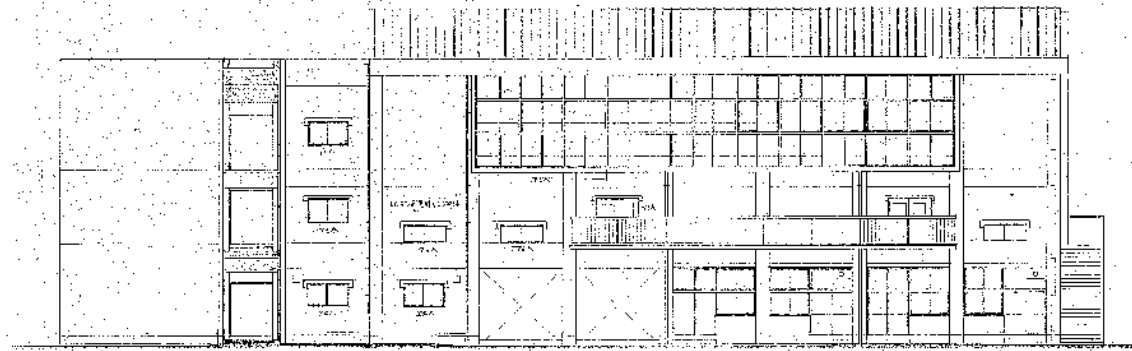
南面 立面図



北面 立面図

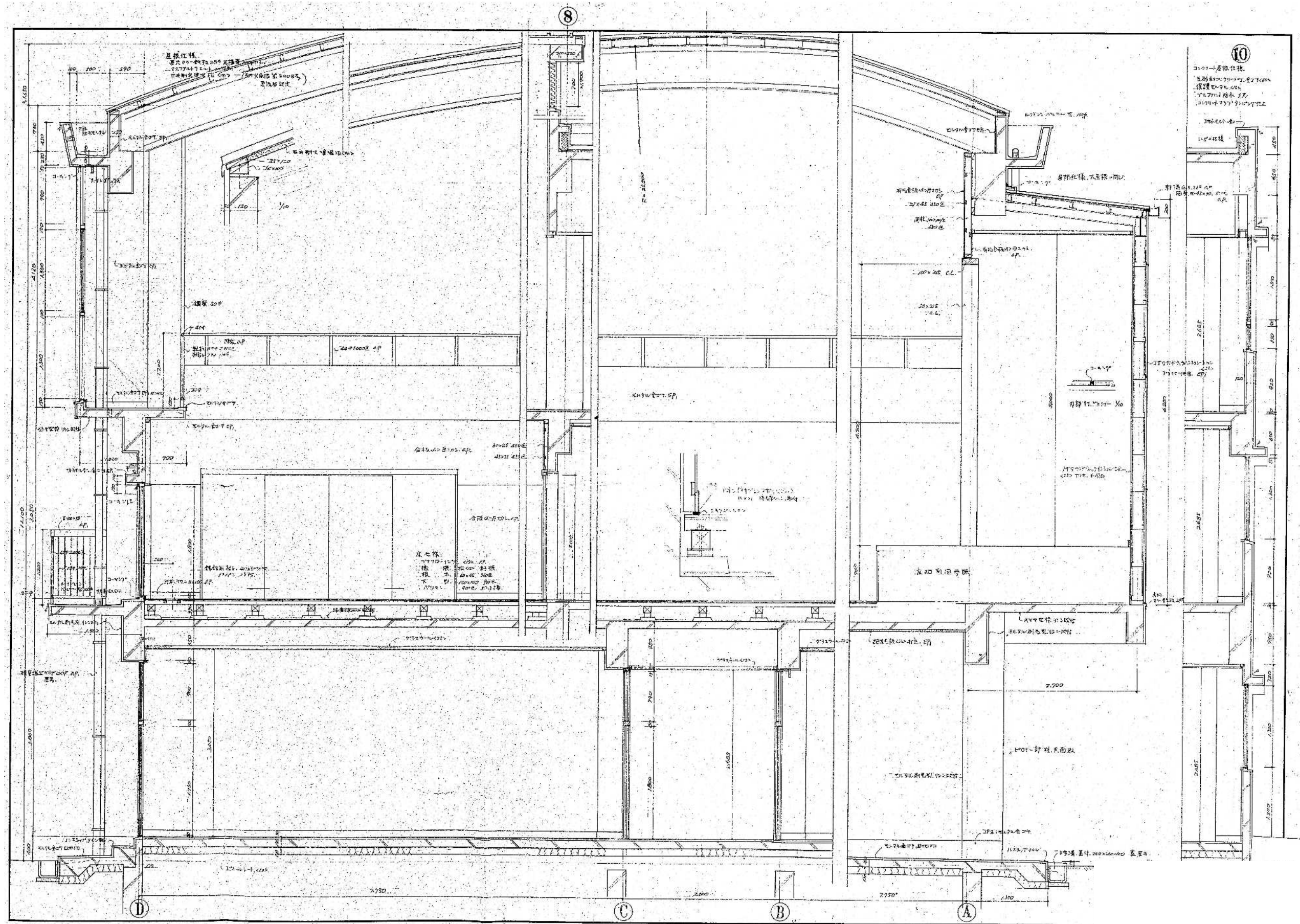


東面 立面図

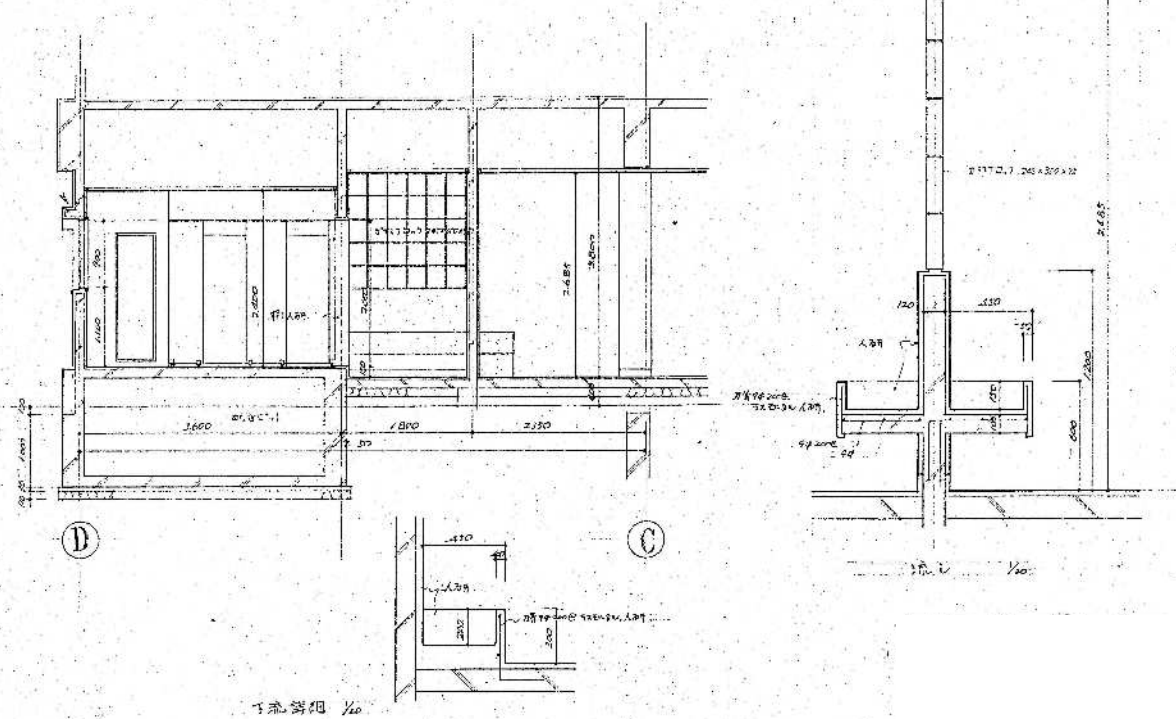
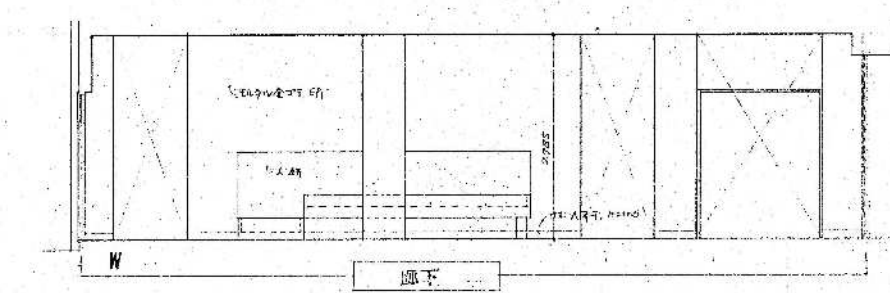
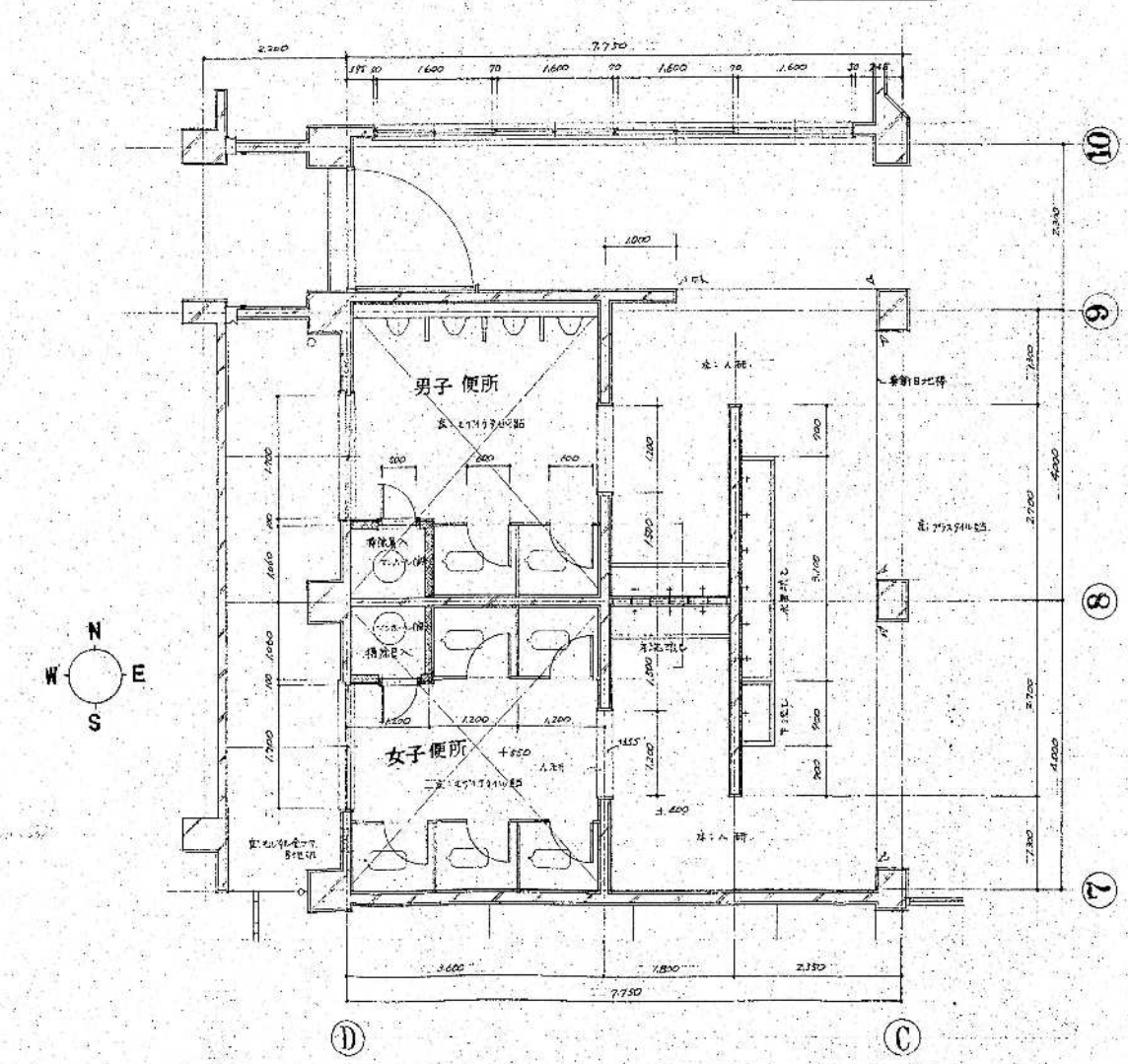
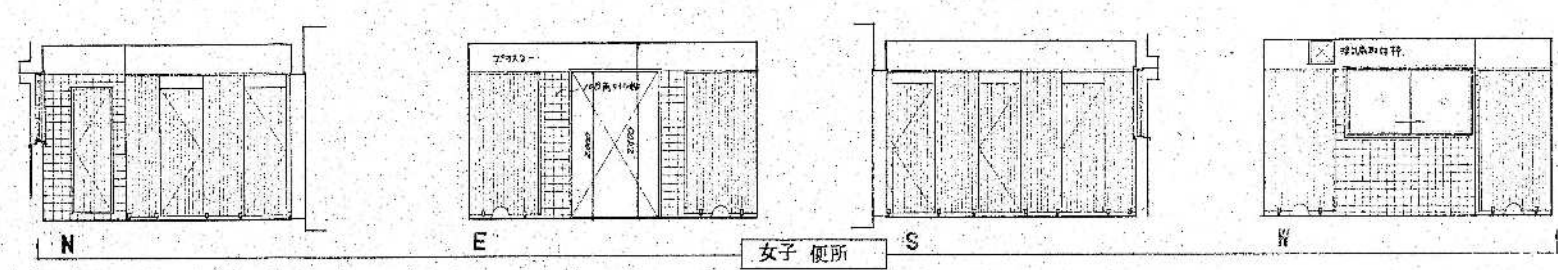
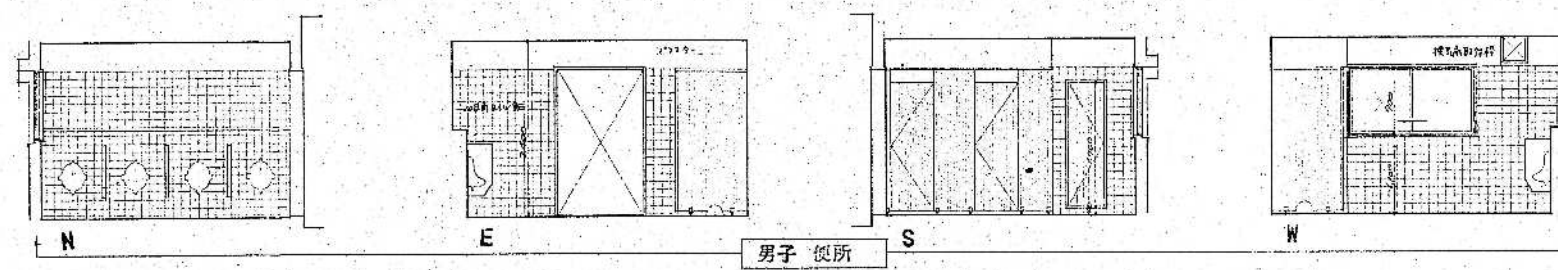


西面 立面図

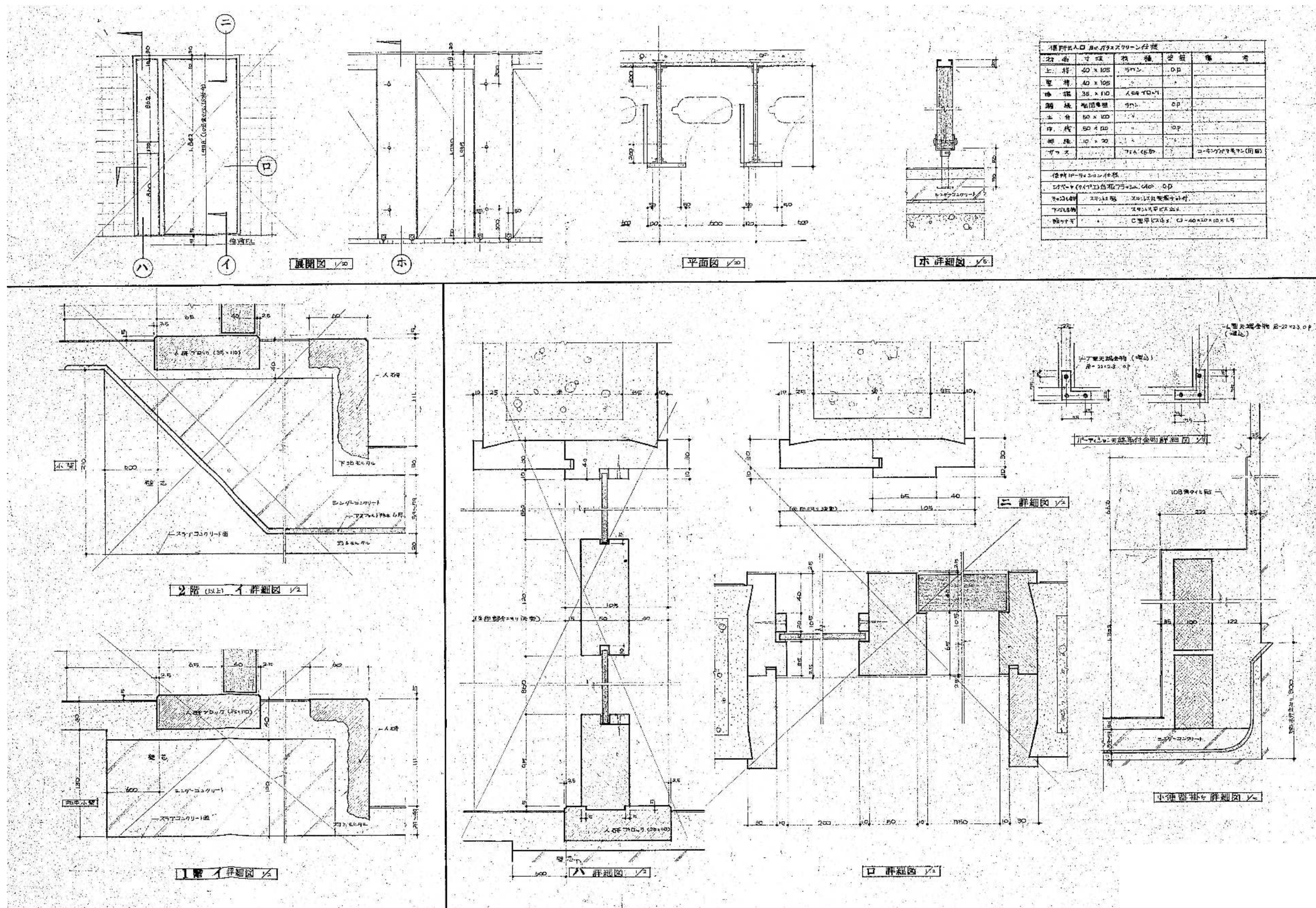
整理番号	注記		設計年月 2025.12	工事名称 新座市立大和田小学校屋内運動場解体工事	縮尺 A1= 1/150 A3= 1/300	KA-16
				図面名称 新築工事時 立面図 (S48)		

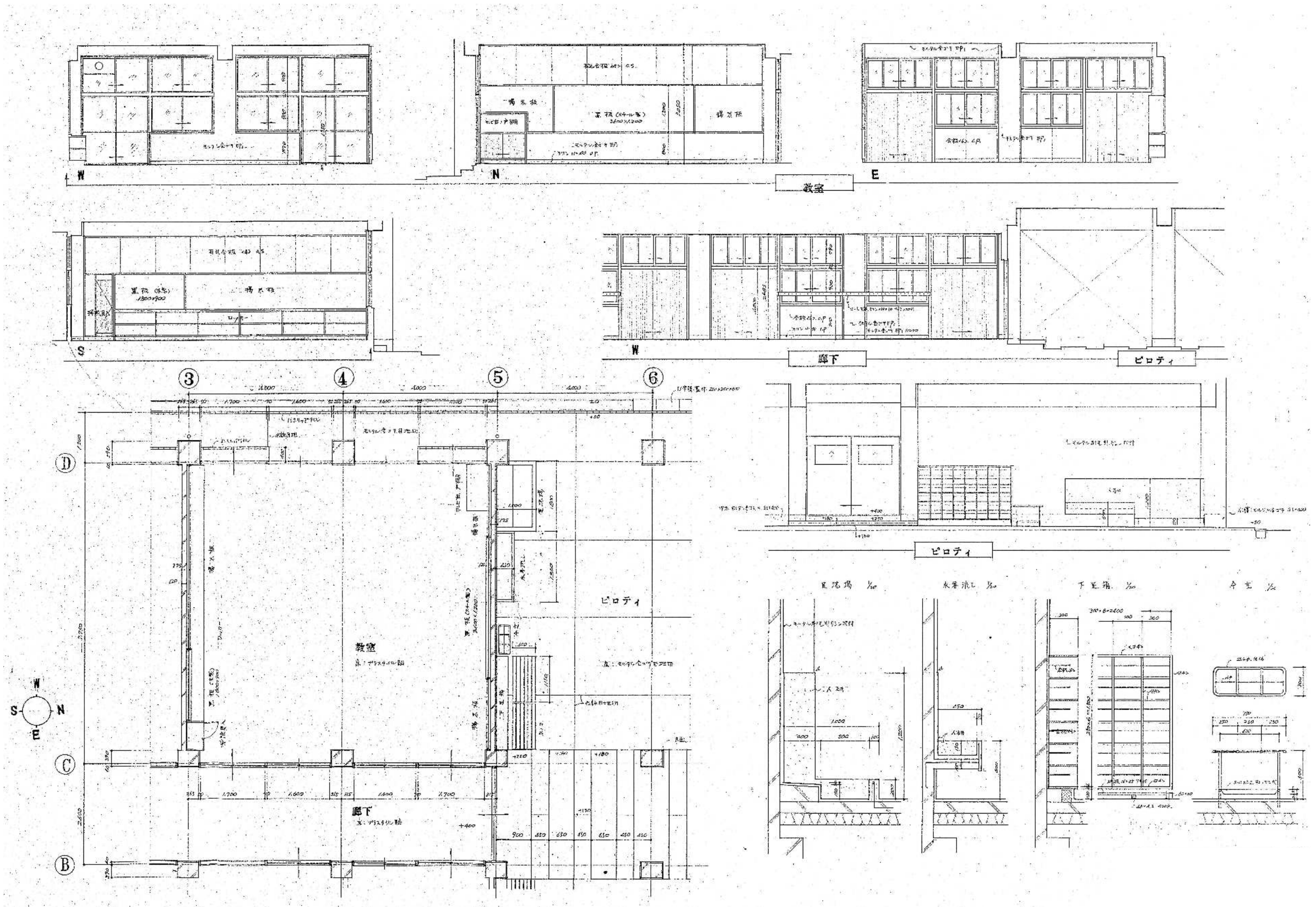


整理番号 	注記 	 	設計年月 2025.12	工事名称 新座市立大和田小学校屋内運動場解体工事 図面名称 新築工事時 矩計詳細図 (S48)	縮尺 A1= 1/30 A3= 1/60 KA-17
--------------	------------	------	-----------------	----------------------------------------------------------	-------------------------------------

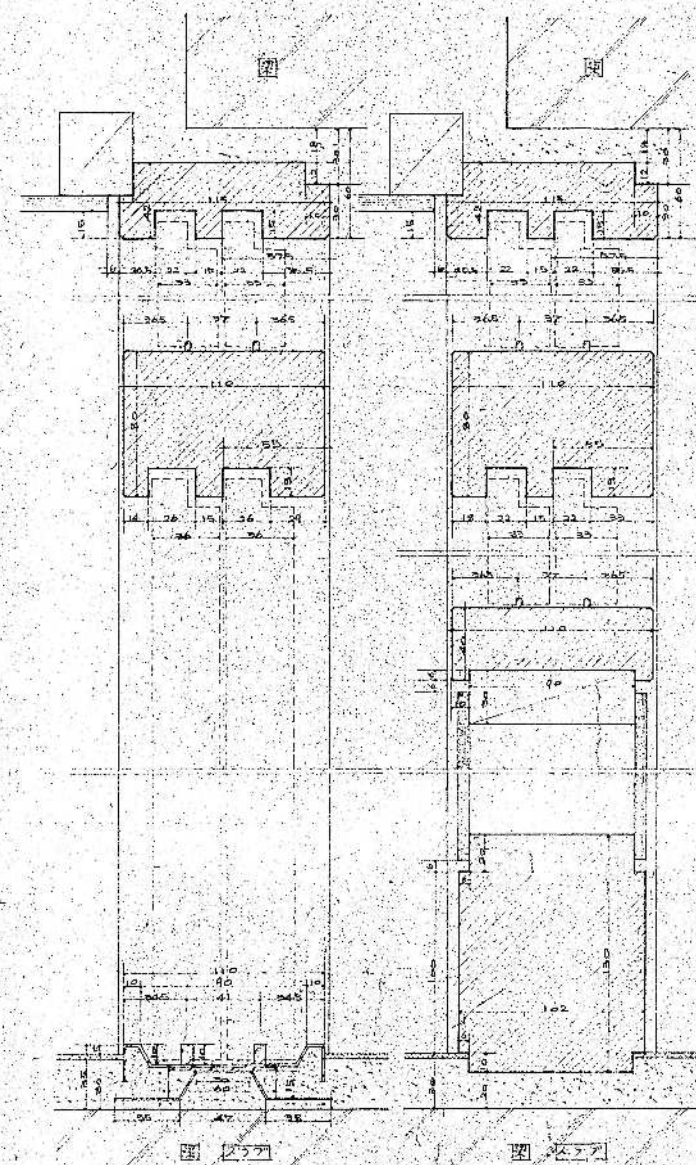
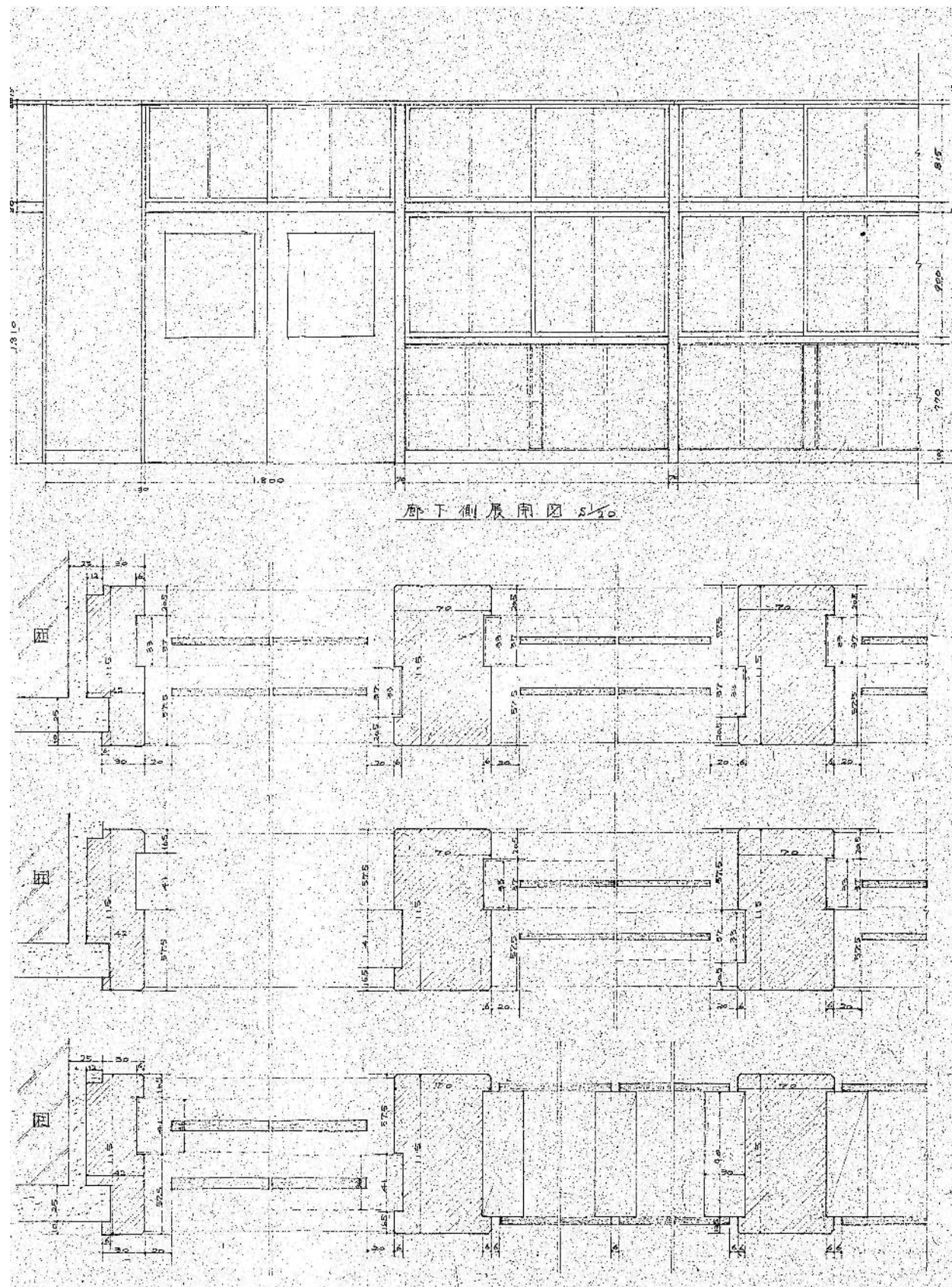


整理番号	注記		設計年月			工事名称			KA-19
			2025.12			新座市立大和田小学校屋内運動場解体工事			
						図面名称		縮尺	
			新築工事時 便所詳細図1 (S48)		A1= 1/50, 1/20 A3= 1/100, 1/40				

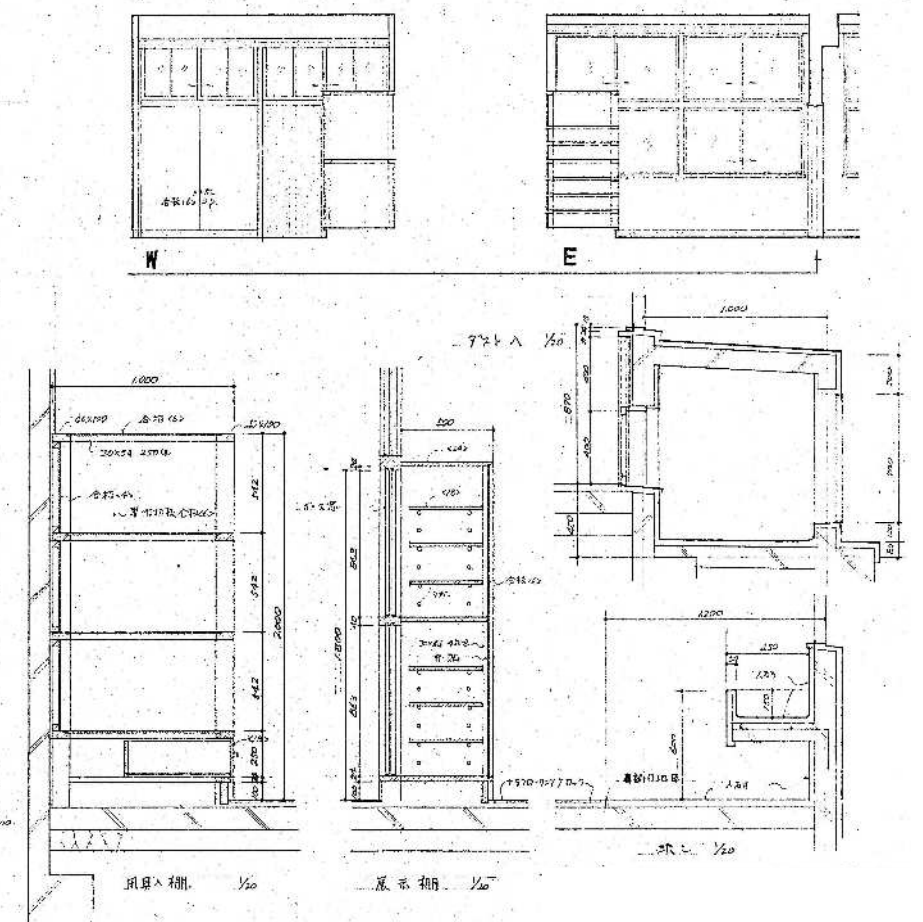
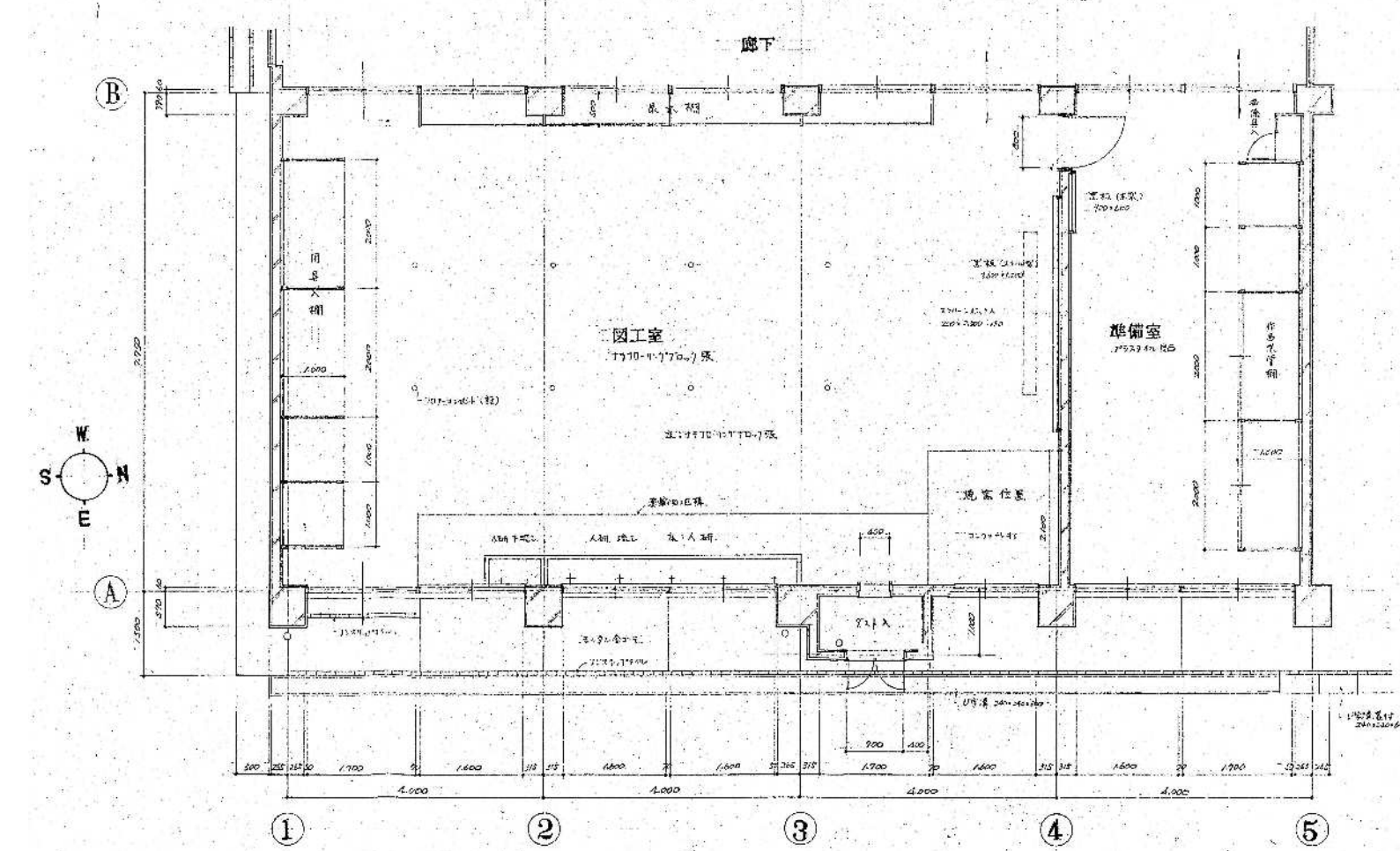
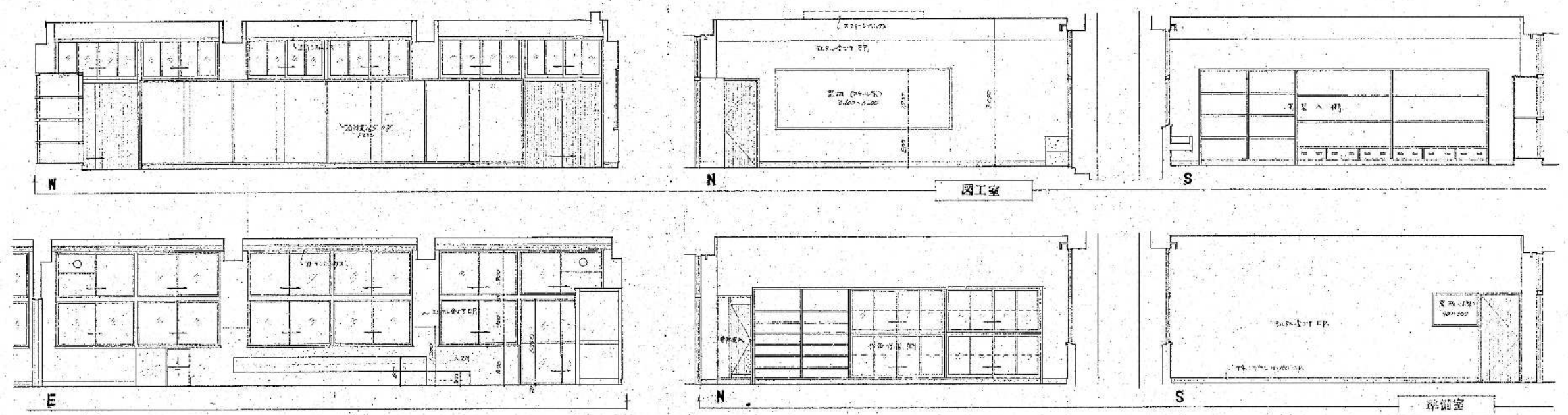




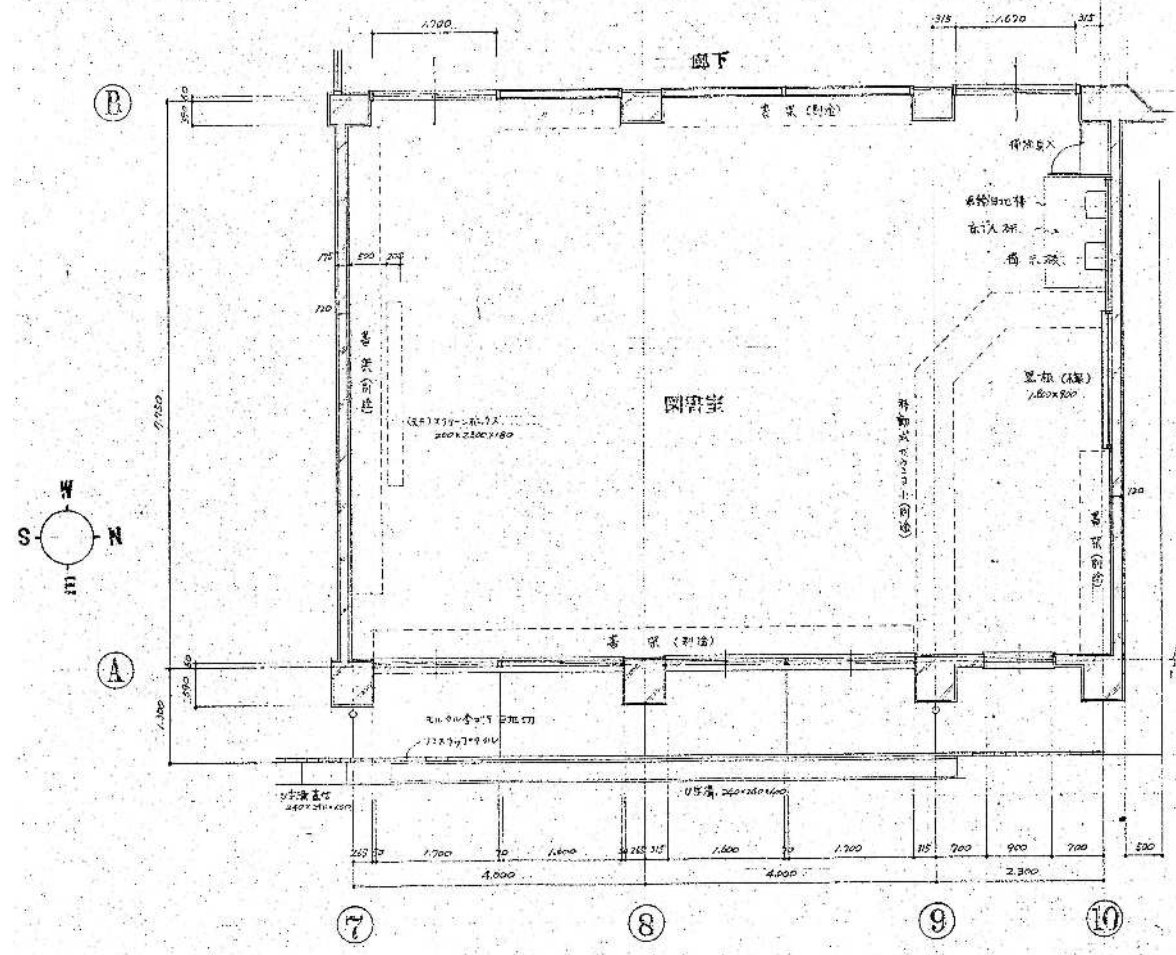
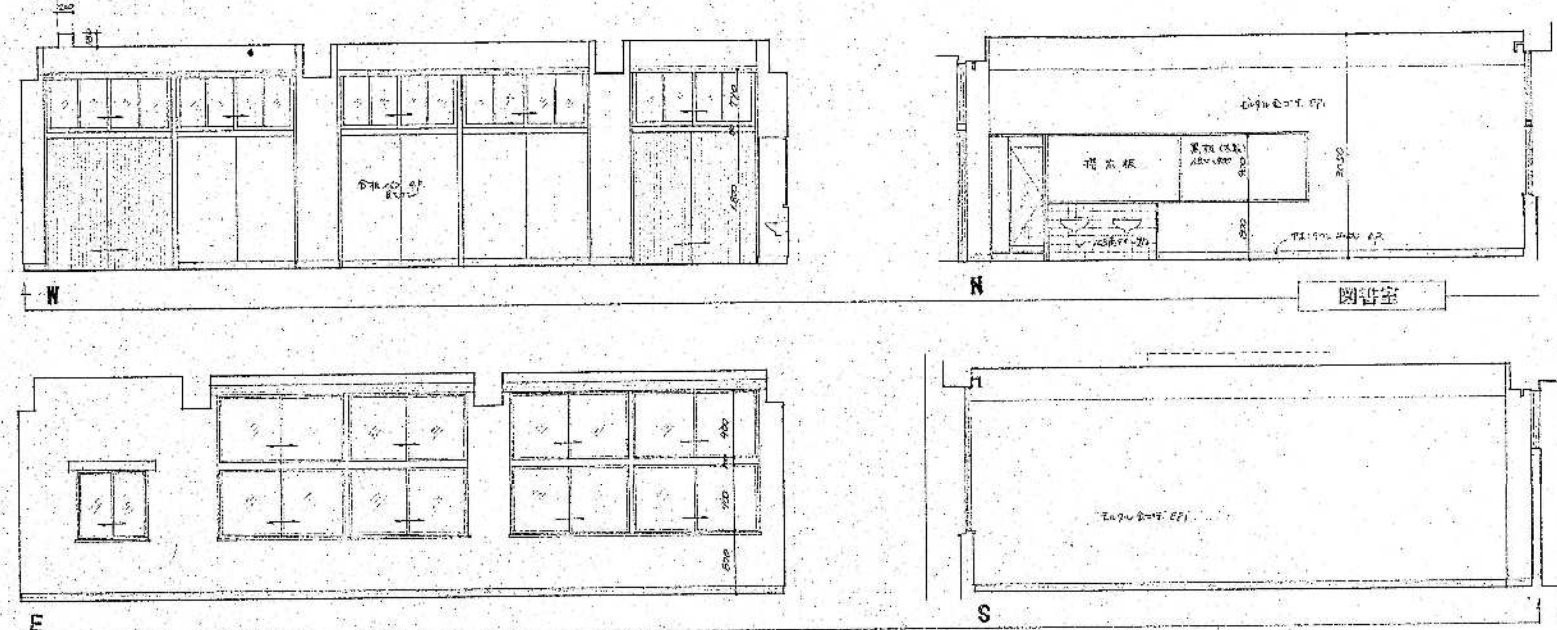
整理番号	<div> <div>注記</div> <div></div> <div></div> <div></div> </div>		設計年月 2025.12	<div> <div>工事名称</div> <div>新座市立大和田小学校屋内運動場解体工事</div> <div>図面名称</div> <div>新築工事時 教室・ピロティ展開図 (S48)</div> </div>	<div> <div>縮尺</div> <div>A1= 1/50, 1/20</div> <div>A3= 1/100, 1/40</div> </div>
------	----------------------------------------------------------------	--	-----------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------



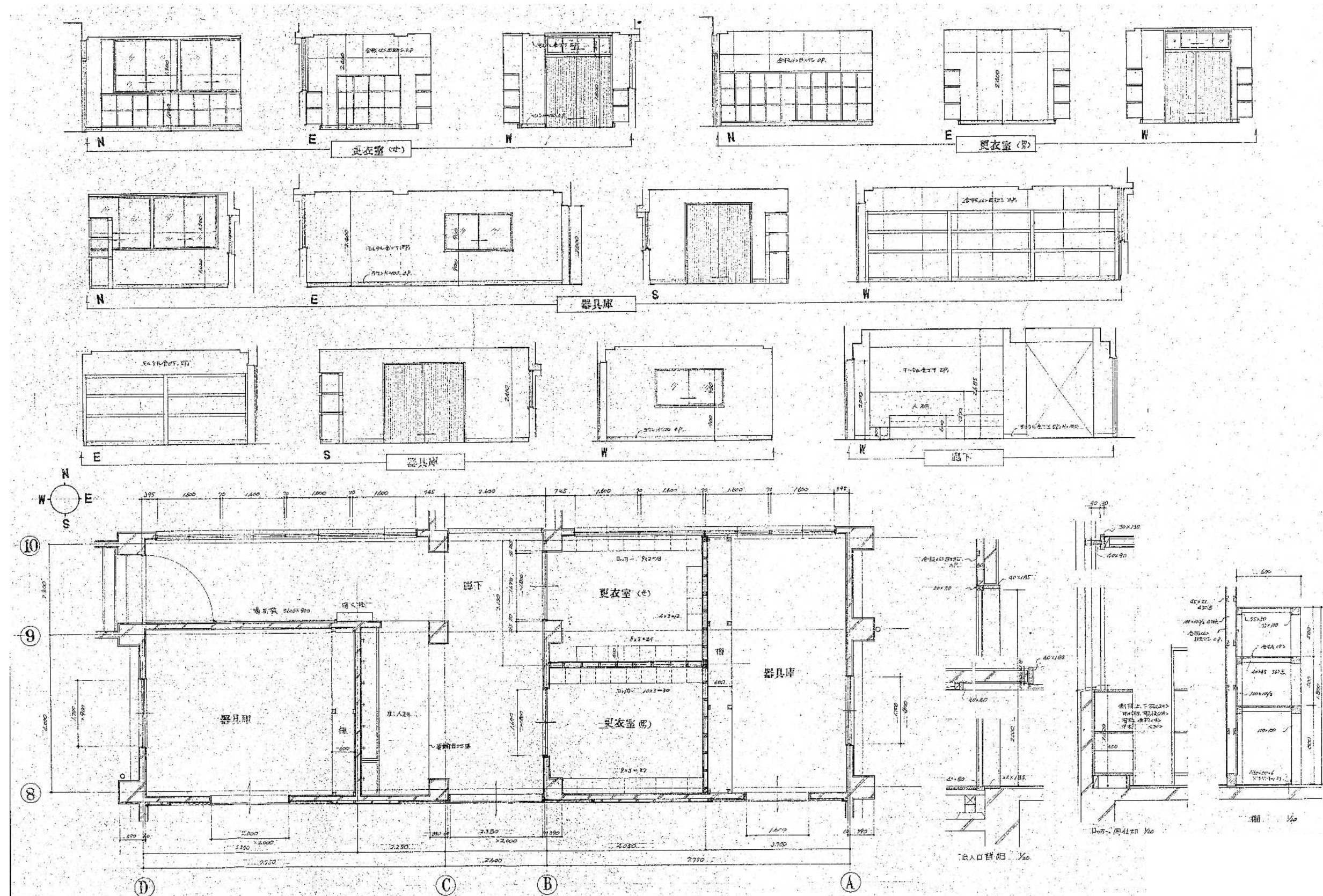
材料仕上寸法表				
材料	仕上	寸法	単位	備考
上	2.7	11.5	4.2	0.2.0.3
中	2.7	11.5	8.0	0.2.0.3
下	2.7	11.5	4.0	0.2.0.3
二	2.7	11.5	1.3	0.2.0.3
三	2.7	11.5	4.2	0.2.0.3
四	2.7	11.5	7.0	0.2.0.3
五	2.7	11.5	7.0	0.2.0.3
六	2.7	11.5	7.0	0.2.0.3
七	2.7	11.5	7.0	0.2.0.3
八	2.7	11.5	7.0	0.2.0.3
九	2.7	11.5	7.0	0.2.0.3
十	2.7	11.5	7.0	0.2.0.3
十一	2.7	11.5	7.0	0.2.0.3
十二	2.7	11.5	7.0	0.2.0.3
十三	2.7	11.5	7.0	0.2.0.3
十四	2.7	11.5	7.0	0.2.0.3
十五	2.7	11.5	7.0	0.2.0.3
十六	2.7	11.5	7.0	0.2.0.3
十七	2.7	11.5	7.0	0.2.0.3
十八	2.7	11.5	7.0	0.2.0.3
十九	2.7	11.5	7.0	0.2.0.3
二十	2.7	11.5	7.0	0.2.0.3



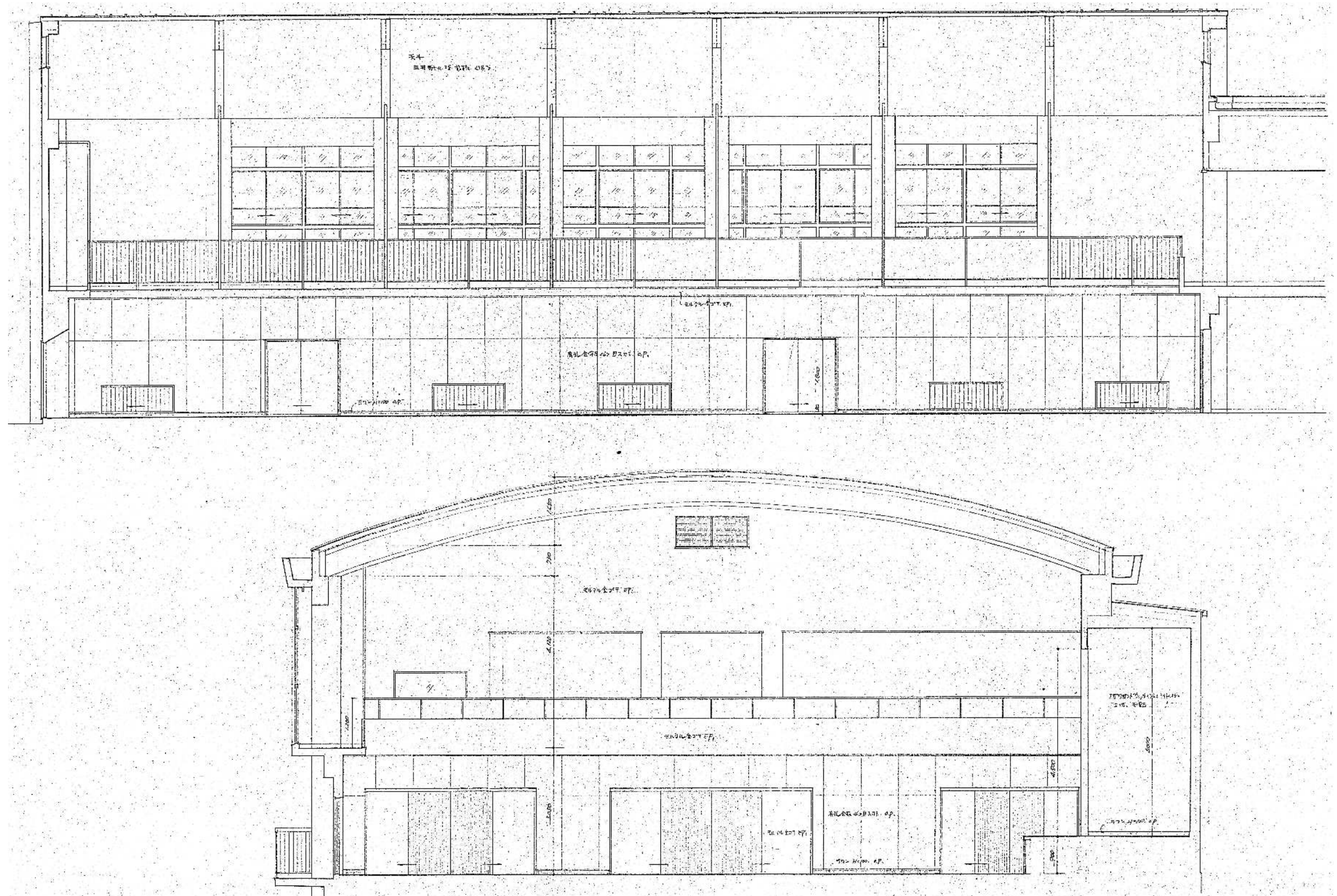
整理番号	注記		設計年月	工事名称	縮尺	KA-24
			2025.12	新座市立大和田小学校屋内運動場解体工事	A1= 1/50, 1/20 A3= 1/100, 1/40	
				新築工事時 図工室展開図 (S48)		



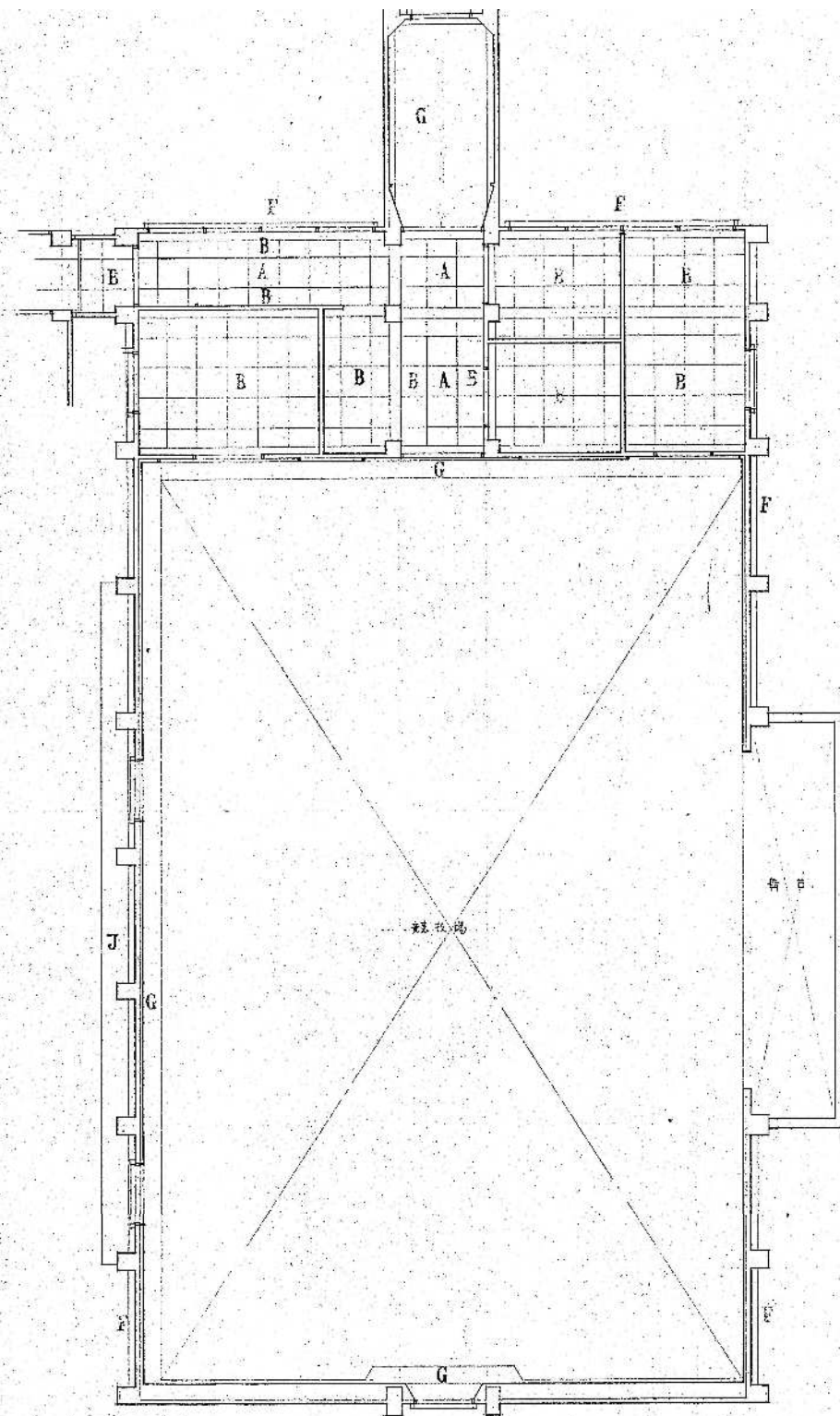
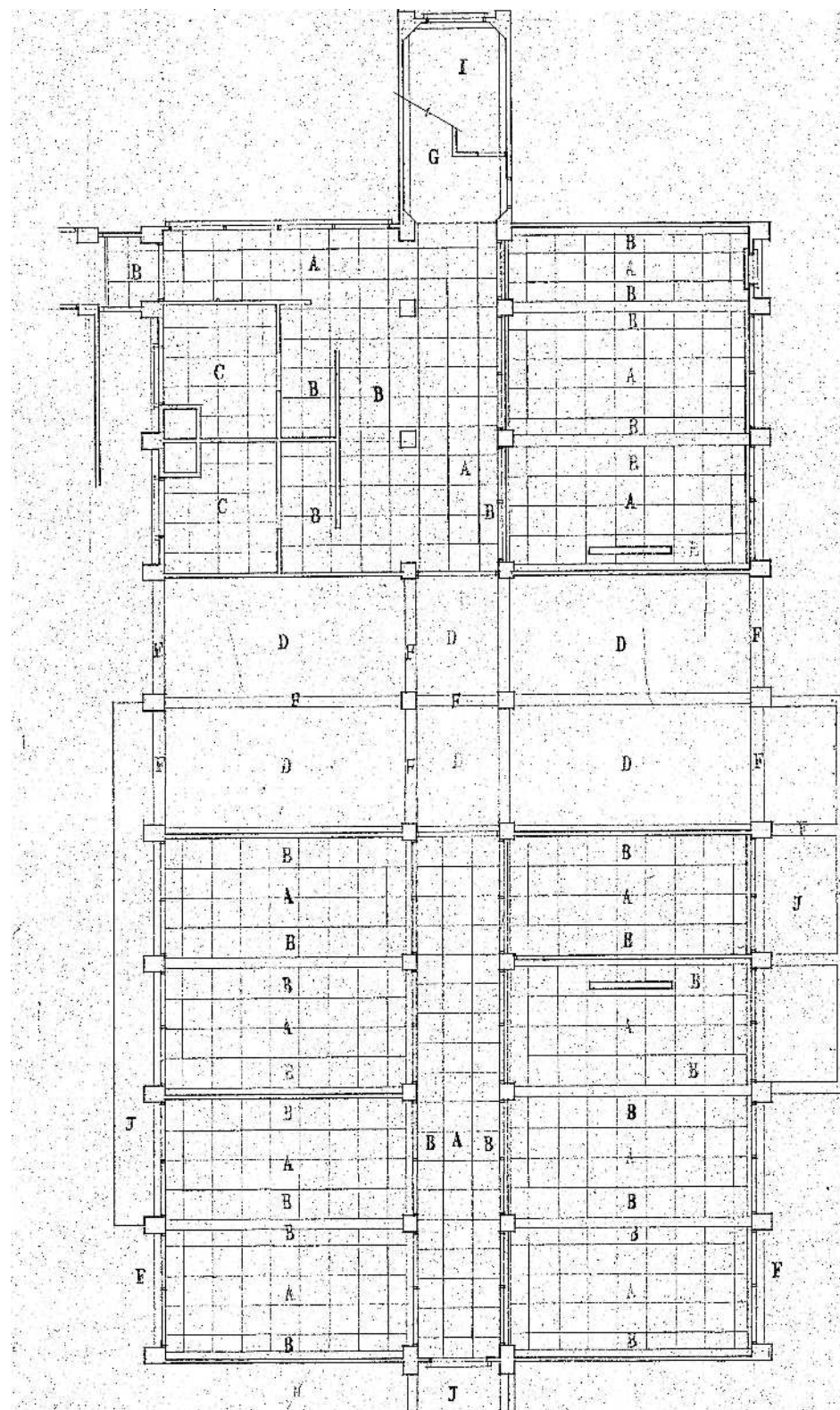
整理番号	注記			設計年月	工事名称			縮尺	KA-25
					2025.12				
					新座市立大和田小学校屋内運動場解体工事				
					図面名称				
							新築工事時 図書室展開図 (S48)		A1= 1/ 50 A3= 1/100



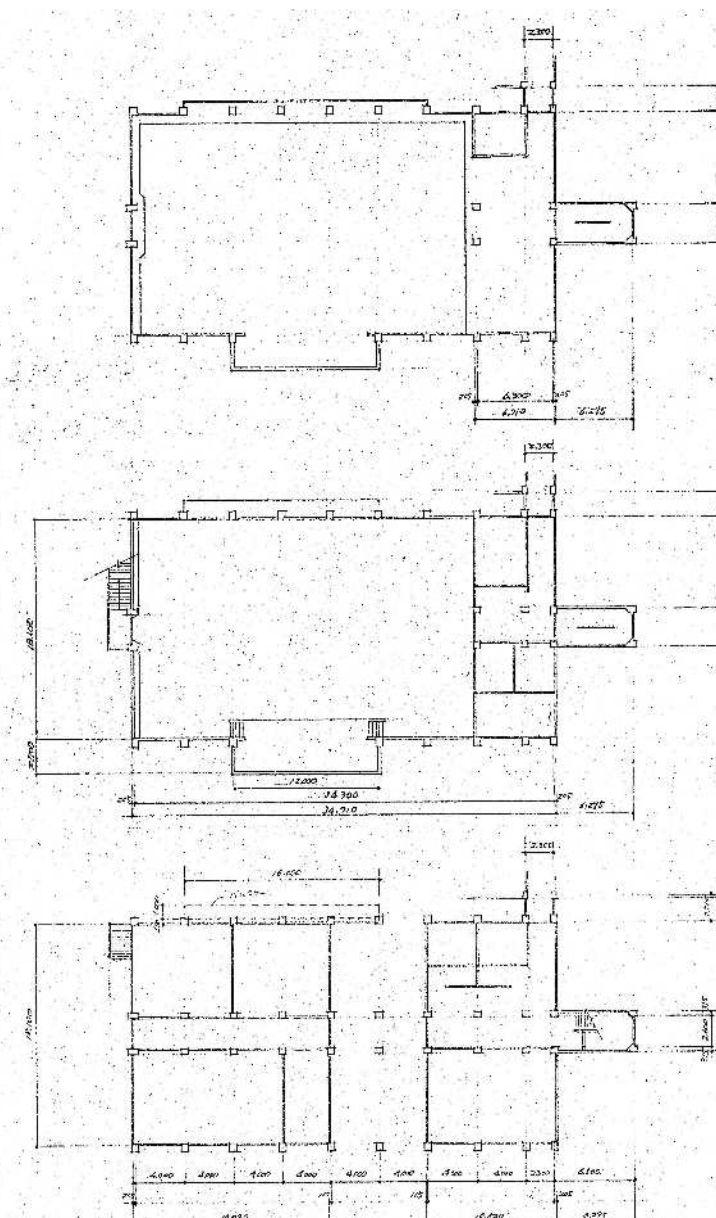
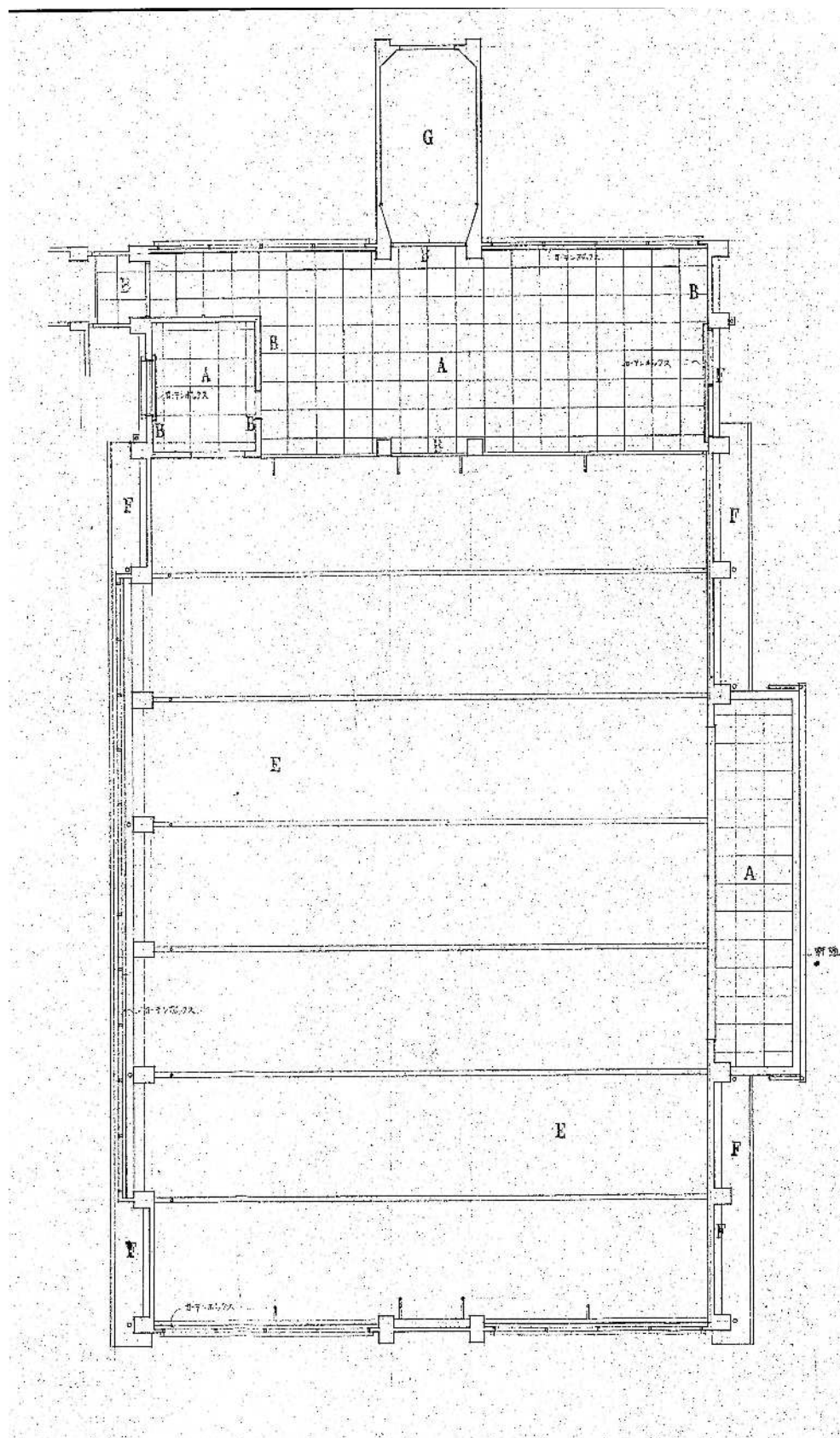
整理番号	<div> <div>注記</div> <div></div> <div></div> <div></div> </div>		設計年月 2025.12	<div> <div>工事名称</div> <div>新座市立大和田小学校屋内運動場解体工事</div> <div>図面名称</div> <div>新築工事時 理科室・器具庫展開図 (S48)</div> </div>	<div> <div>縮尺</div> <div> <div>A1= 1/50, 1/20</div> <div>A3= 1/100, 1/40</div> </div> </div>
------	----------------------------------------------------------------	--	-----------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------



整理番号	注記		設計年月	2025.12		工事名称 新座市立大和田小学校屋内運動場解体工事		縮尺 A1= 1/ 50 A3= 1/100	KA-29
				図面名称 新築工事時 競技場展開図1 (S48)					



A	有孔石膏ボード	1200x2400	1/4
B	石膏ボード	1200x2400	1/4
C	ベニヤ	1200x2400	1/4
D	鉛板	1200x2400	1/4
E	石膏ボード	1200x2400	1/4
F	石膏ボード	1200x2400	1/4
G	石膏ボード	1200x2400	1/4
H	石膏ボード	1200x2400	1/4
I	石膏ボード	1200x2400	1/4
J	石膏ボード	1200x2400	1/4



西	月	日	西	日	西
			$(4.1100 \times 10.000) \times 1.000$	41.100.000	
			6.250×5.000	31.250.000	
			5.000×1.000	5.000.000	
			(3.100×10.000)	(31.000.000)	
			58.700×10.000	587.000.000	
			5.000×7.000	35.000.000	
			2.300×1.000	2.300.000	
			12.000×2.000	24.000.000	
			(7.000×10.000)	(70.000.000)	
			6.250×3.500	21.875.000	
			2.700×1.000	2.700.000	
計					
西曆西元	西曆西元	西曆西元	西曆西元	西曆西元	西曆西元

128	建頁表-2	1100
新加坡 K 構造研究所 電話 17879		樓
一號路渣士松木明地 電話 152399		樓

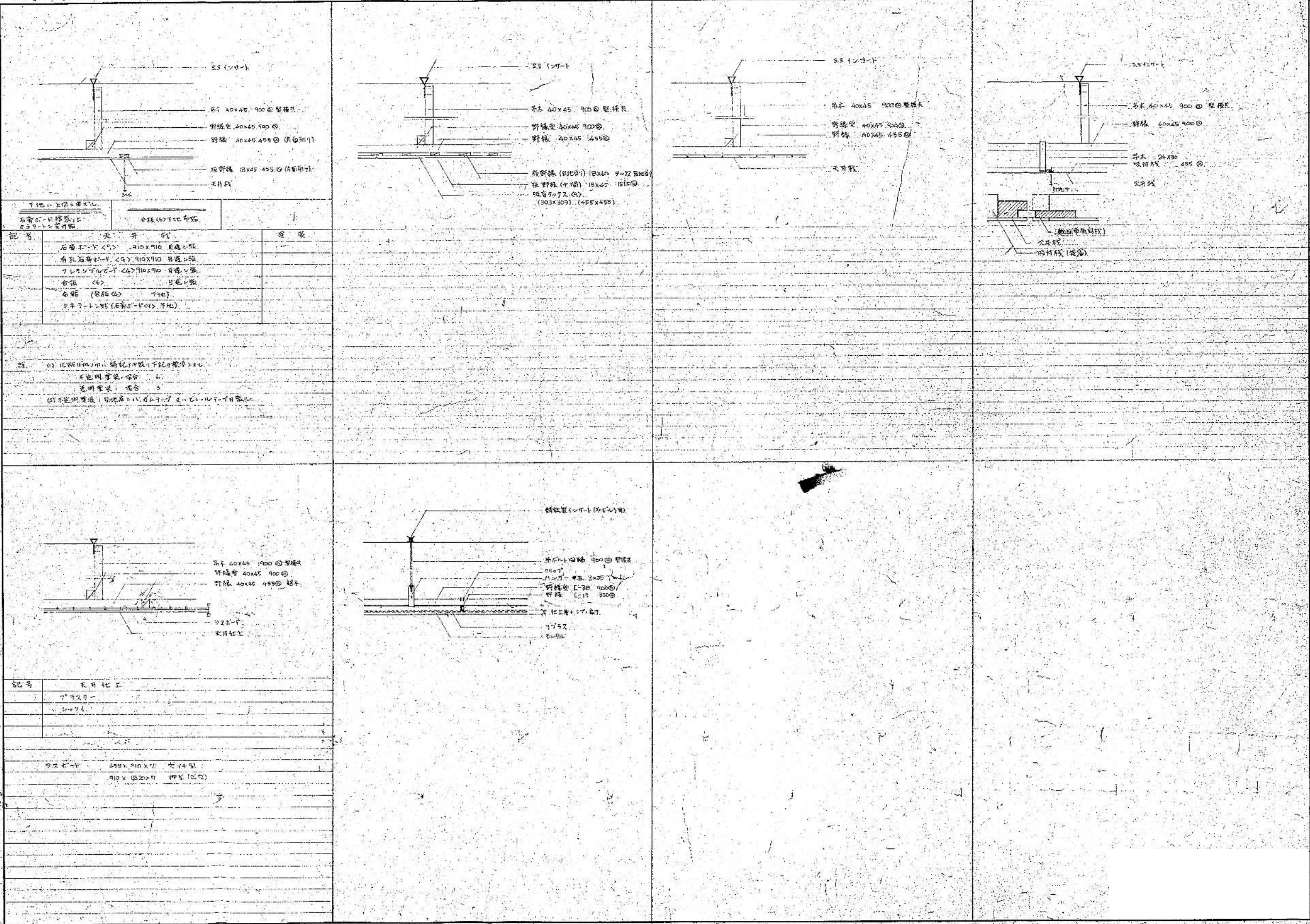
<div>6 SD</div> <div>1階 1</div> <div>2階</div> <div>3階</div> <div>4階</div> <div>5階</div> <div>6階</div> <div>P階</div> <div>計 1</div> <div>材種・見込</div> <div>仕上</div> <div>ガラス</div> <div>金物</div>	<div>7 SD</div> <div>1階 1</div> <div>2階</div> <div>3階</div> <div>4階</div> <div>5階</div> <div>6階</div> <div>P階</div> <div>計 1</div> <div>材種・見込</div> <div>仕上</div> <div>ガラス</div> <div>金物</div>	<div>1 SG</div> <div>1階</div> <div>2階</div> <div>3階 2</div> <div>4階</div> <div>5階</div> <div>6階</div> <div>P階</div> <div>計 2</div> <div>材種・見込</div> <div>仕上</div> <div>ガラス</div> <div>金物</div>	<div>1 SS</div> <div>1階 1</div> <div>2階</div> <div>3階</div> <div>4階</div> <div>5階</div> <div>6階</div> <div>P階</div> <div>計 1</div> <div>材種・見込</div> <div>仕上</div> <div>ガラス</div> <div>金物</div>
<div>1 WDW</div> <div>1階 4</div> <div>2階</div> <div>3階</div> <div>4階</div> <div>5階</div> <div>6階</div> <div>P階</div> <div>計 4</div> <div>材種・見込</div> <div>仕上</div> <div>ガラス</div> <div>金物</div>	<div>2 WDW</div> <div>1階 4</div> <div>2階</div> <div>3階</div> <div>4階</div> <div>5階</div> <div>6階</div> <div>P階</div> <div>計 4</div> <div>材種・見込</div> <div>仕上</div> <div>ガラス</div> <div>金物</div>	<div>3 WDW</div> <div>1階 1</div> <div>2階</div> <div>3階</div> <div>4階</div> <div>5階</div> <div>6階</div> <div>P階</div> <div>計 1</div> <div>材種・見込</div> <div>仕上</div> <div>ガラス</div> <div>金物</div>	
<div>4 WDW</div> <div>1階 2</div> <div>2階</div> <div>3階</div> <div>4階</div> <div>5階</div> <div>6階</div> <div>P階</div> <div>計 2</div> <div>材種・見込</div> <div>仕上</div> <div>ガラス</div> <div>金物</div>	<div>1 WD</div> <div>1階 1</div> <div>2階</div> <div>3階</div> <div>4階</div> <div>5階</div> <div>6階</div> <div>P階</div> <div>計 1</div> <div>材種・見込</div> <div>仕上</div> <div>ガラス</div> <div>金物</div>	<div>2 WD</div> <div>1階 1</div> <div>2階</div> <div>3階</div> <div>4階</div> <div>5階</div> <div>6階</div> <div>P階</div> <div>計 1</div> <div>材種・見込</div> <div>仕上</div> <div>ガラス</div> <div>金物</div>	<div>3 WD</div> <div>1階 1</div> <div>2階</div> <div>3階</div> <div>4階</div> <div>5階</div> <div>6階</div> <div>P階</div> <div>計 1</div> <div>材種・見込</div> <div>仕上</div> <div>ガラス</div> <div>金物</div>
<div>4 WD</div> <div>1階 1</div> <div>2階</div> <div>3階 1</div> <div>4階</div> <div>5階</div> <div>6階</div> <div>P階</div> <div>計 2</div> <div>材種・見込</div> <div>仕上</div> <div>ガラス</div> <div>金物</div>	<div>5 WD</div> <div>1階 7</div> <div>2階</div> <div>3階</div> <div>4階</div> <div>5階</div> <div>6階</div> <div>P階</div> <div>計 7</div> <div>材種・見込</div> <div>仕上</div> <div>ガラス</div> <div>金物</div>	<div>6 WD</div> <div>1階 2</div> <div>2階</div> <div>3階</div> <div>4階</div> <div>5階</div> <div>6階</div> <div>P階</div> <div>計 2</div> <div>材種・見込</div> <div>仕上</div> <div>ガラス</div> <div>金物</div>	<div>1 WW</div> <div>1階 2</div> <div>2階</div> <div>3階</div> <div>4階</div> <div>5階</div> <div>6階</div> <div>P階</div> <div>計 2</div> <div>材種・見込</div> <div>仕上</div> <div>ガラス</div> <div>金物</div>

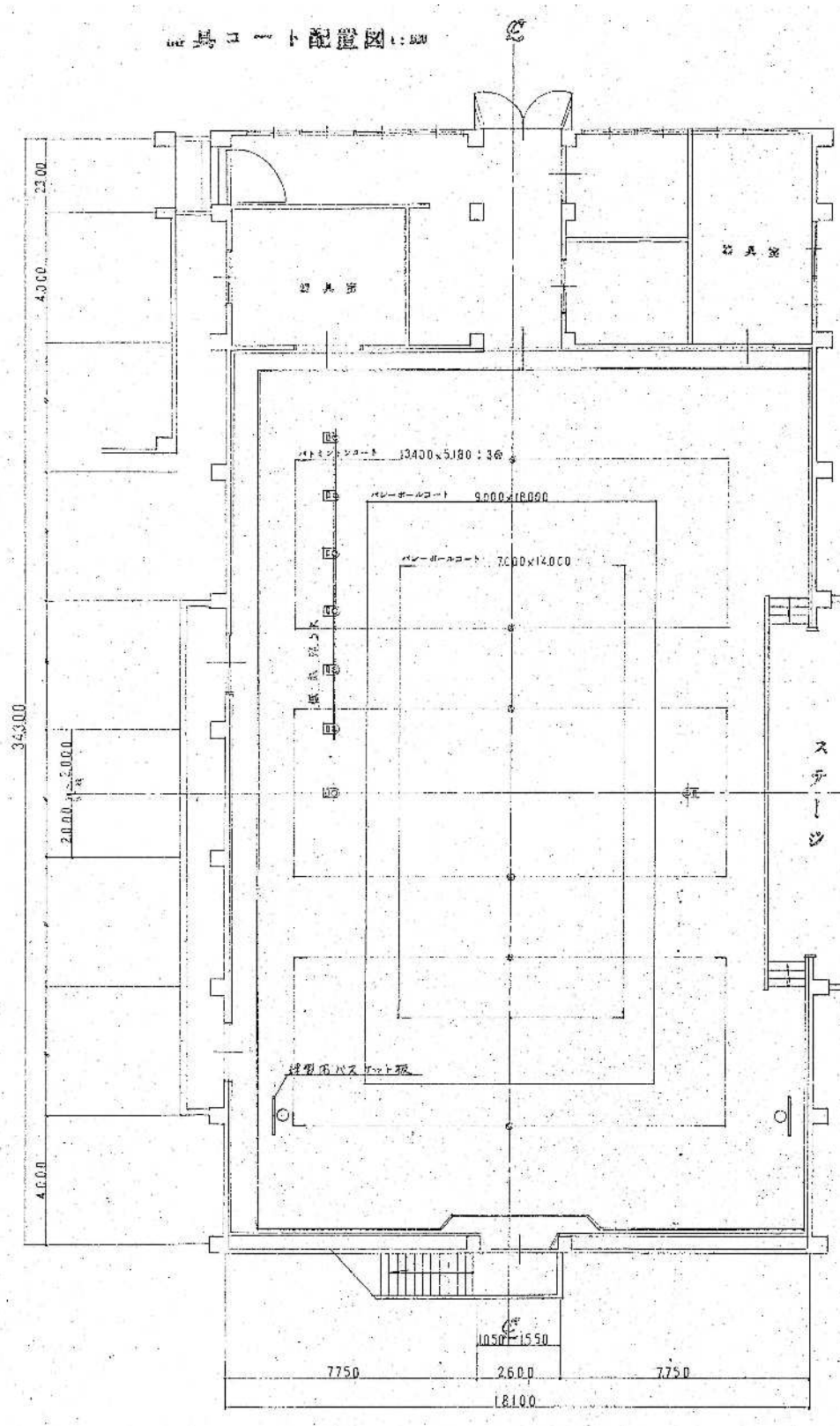
凡例 (1) 建具表示記号

(2) 建具番号表示記号

(3) ガラス表示記号 (○印はガラス種別記号)

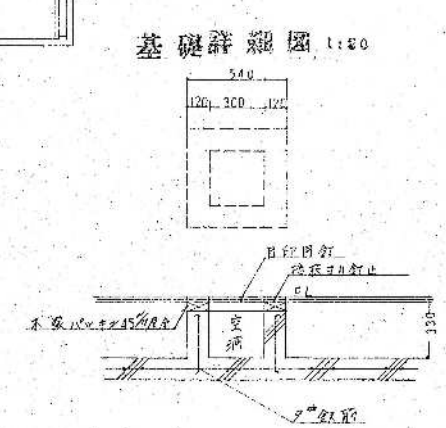
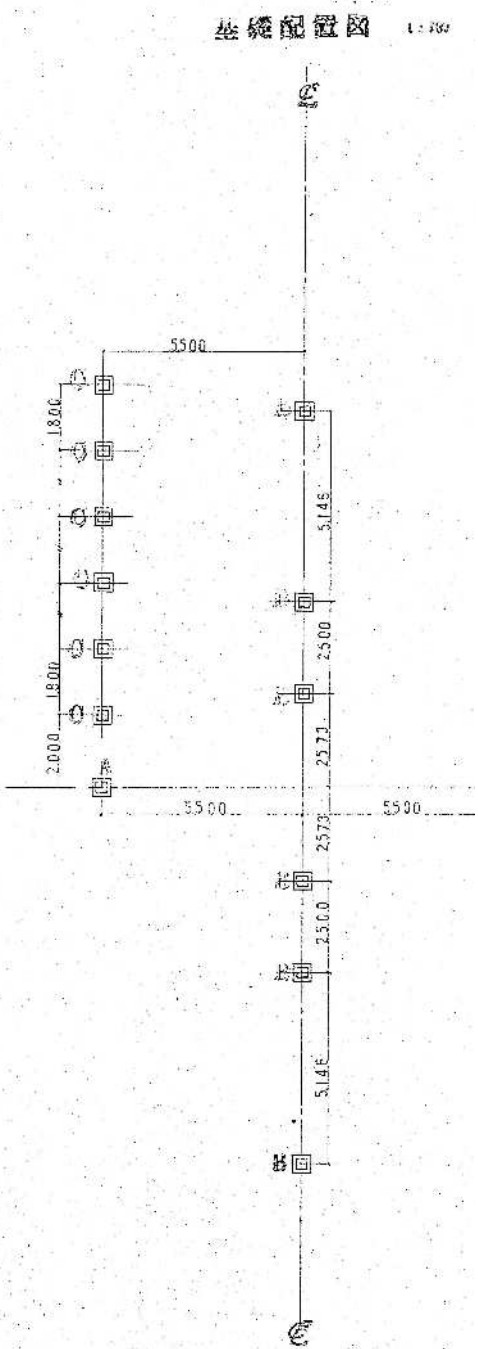
備考 (1) (2) (3) (4) (5) (6)

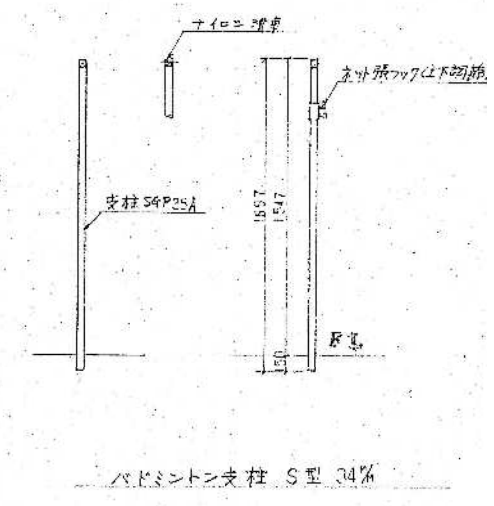
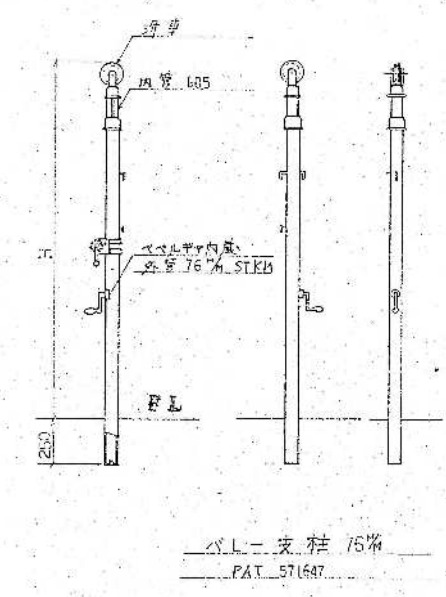
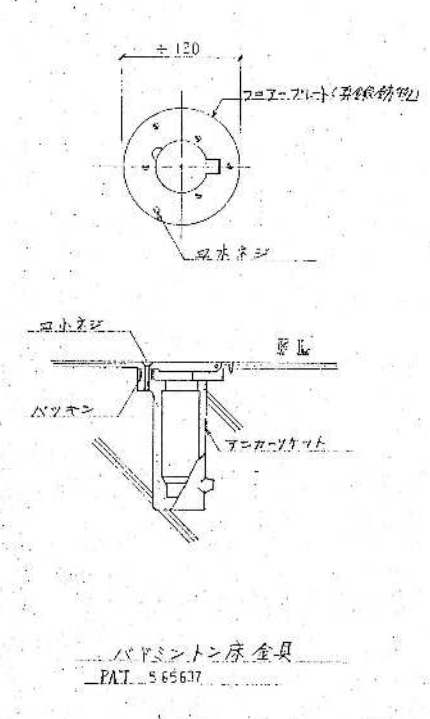
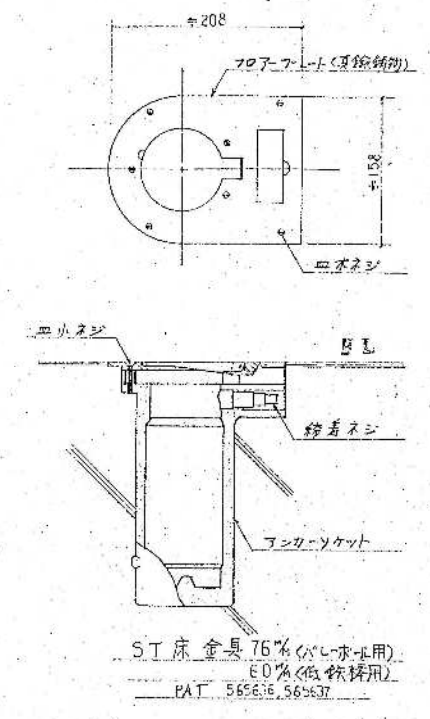
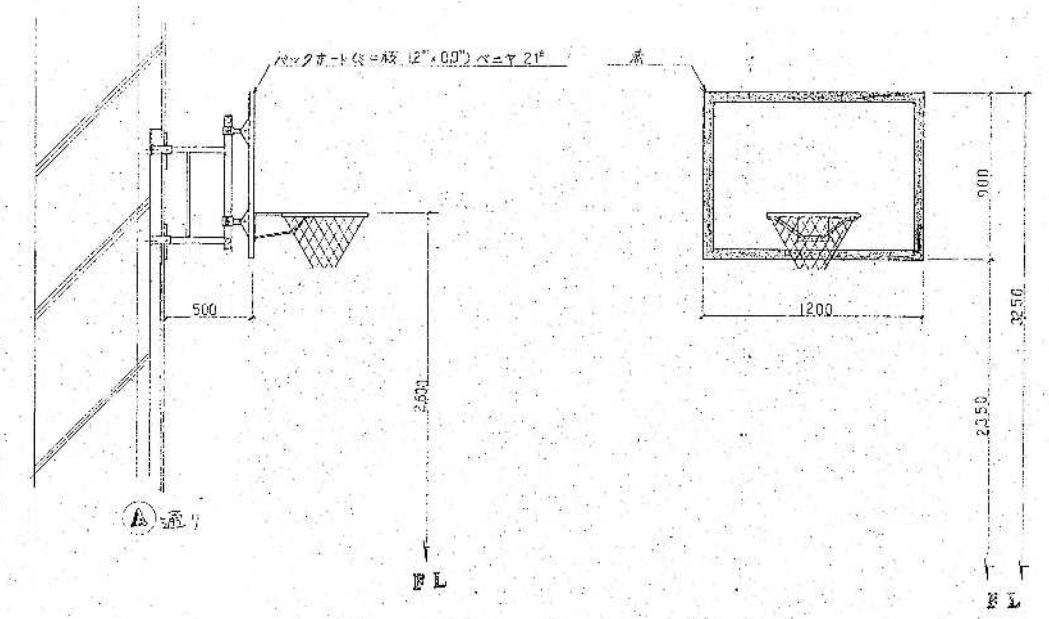
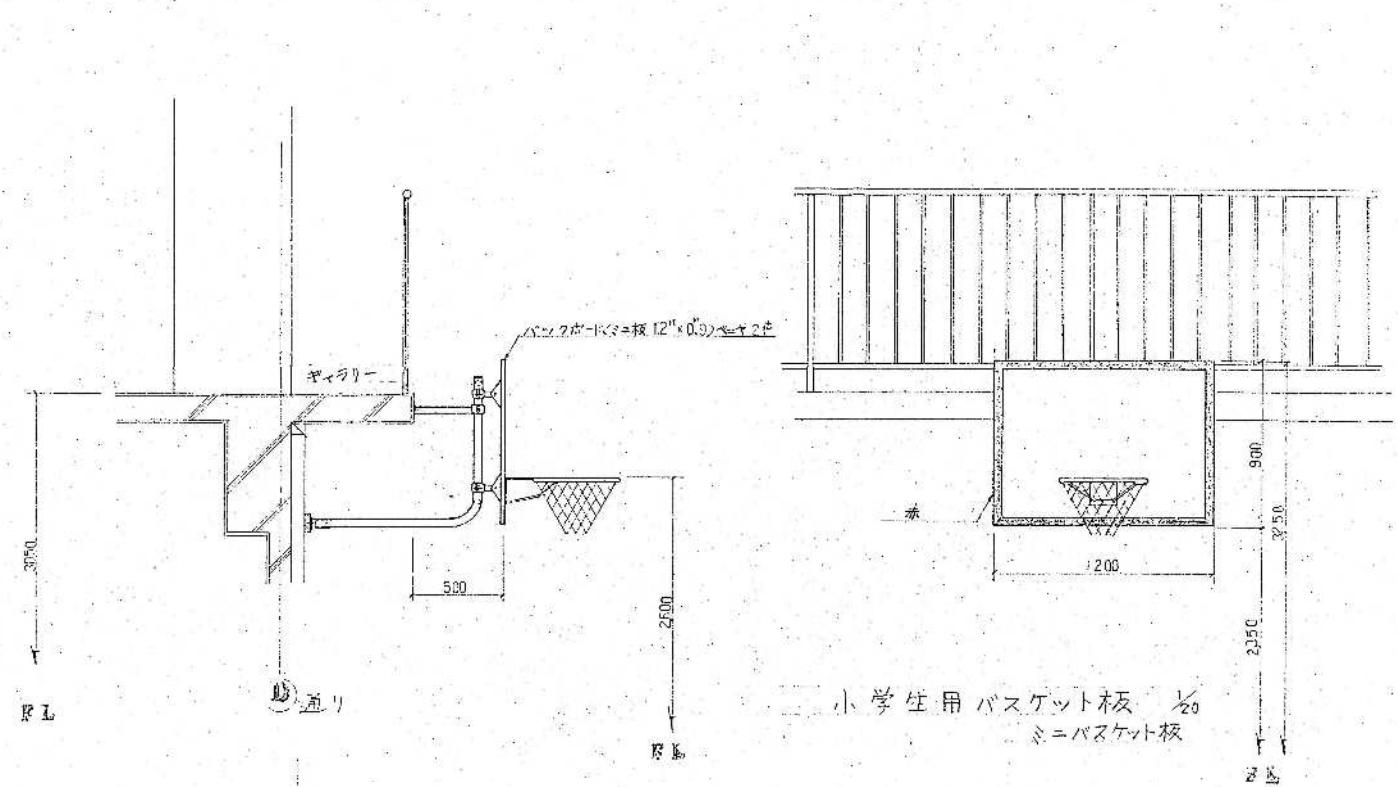




基礎内訳表

記号	種別	個数
△	バレーボール用基礎	2
□	バドミントン	6
○	底鉄橋	6
	合計	14

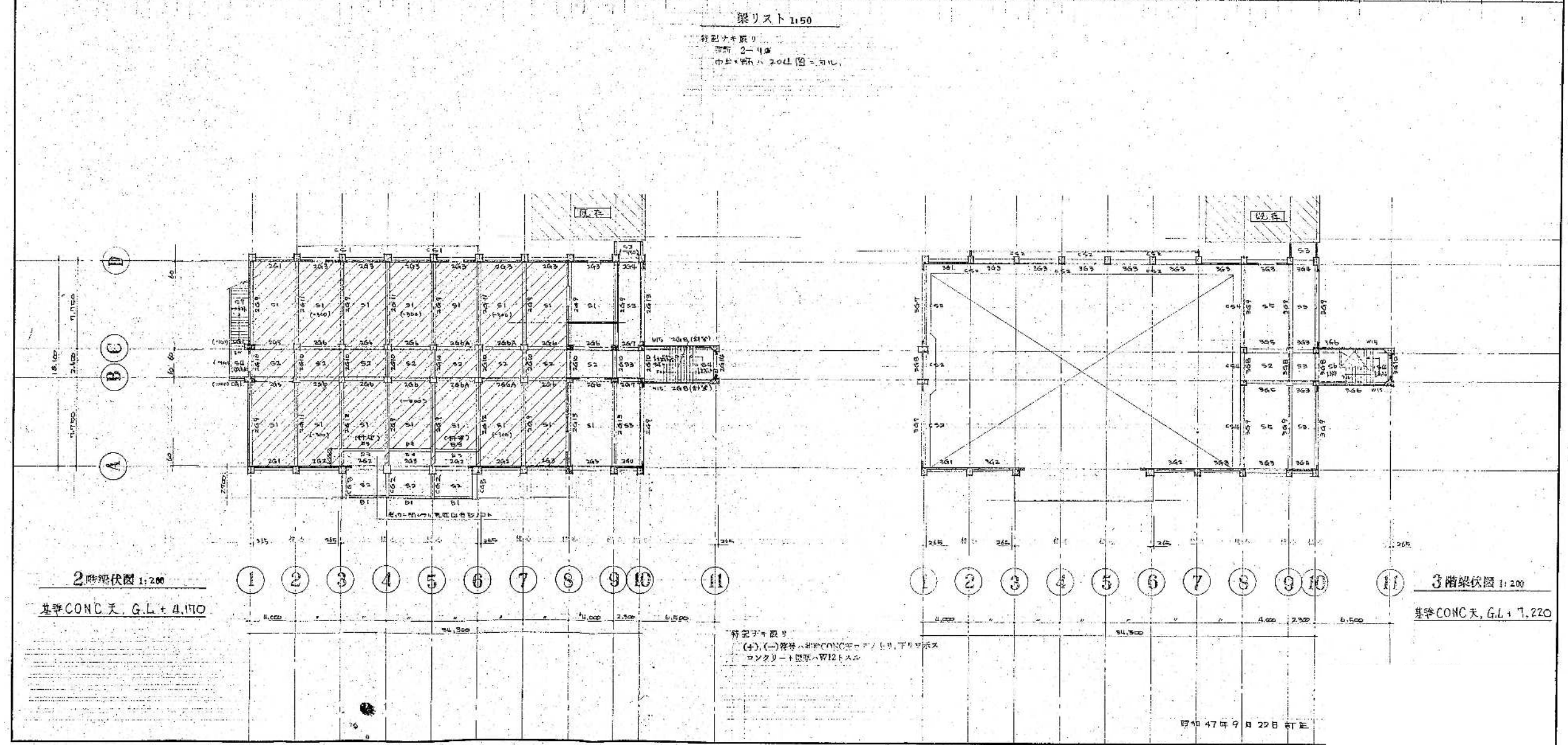




整理番号	注記 		設計年月 2025.12	工事名称 新座市立大和田小学校屋内運動場解体工事 図面名称 新築工事時 体育器具詳細図2 (S48)	縮尺 A1= 1/20 A3= 1/40	KA-38
------	----------------	--	-----------------	-------------------------------------------------------------	----------------------------	-------

	G ₁			G ₂			G ₃			G ₄			G ₅			G _{6, 6A}		G ₇			G ₈		G ₉			G ₁₀		B ₁			B ₃		CG ₁		CG ₂		CG ₃							
	外端	中央	内端	外端	中央	3, 5端	外端	中央	内端	外端	中央	外端	B端	中央	9端	端	中央	外端	中央	内端	全	外端	中央	内端	全	端	中央	全	端	中央	全	端	中央	全	端	中央	全	端	中央	全				
B 2G CG																																												
断面 (b×D)	350 × 650			350 × 650			350 × 650			350 × 650			350 × 650			350 × 650		350 × 650			350 × 650		350 × 650			350 × 650			230 × 650			250 × 420		250 × 600		350 × 650		350 × 650		350 × 650				
上端筋	4-D19	2-D19	4-D19	4-D19	3-D19	7-D19	4-D19	2-D19	4-D19	4-D19	3-D19	6-D19	5-D19	2-D19	4-D19	3-D19	2-D19	4-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19		
下端筋	4-D19	2-D19	3-D19	3-D19	3-D19	7-D19	3-D19	2-D19	4-D19	4-D19	3-D19	6-D19	4-D19	2-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19
スラブ厚	90 150 ⑥			120 100 ⑥			90 150 ⑥			120 100 ⑥			90 150 ⑥			90 200 ⑥		90 150 ⑥			90 150 ⑥		90 150 ⑥			90 150 ⑥			90 200 ⑥			90 200 ⑥		90 200 ⑥		90 150 ⑥		90 150 ⑥		90 150 ⑥				

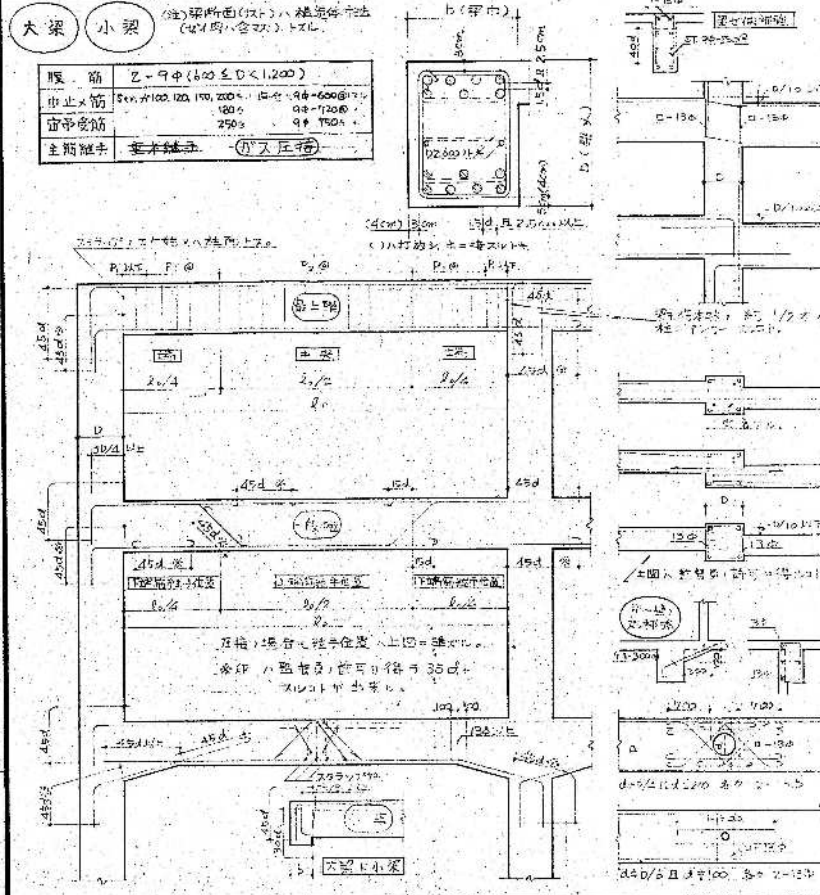
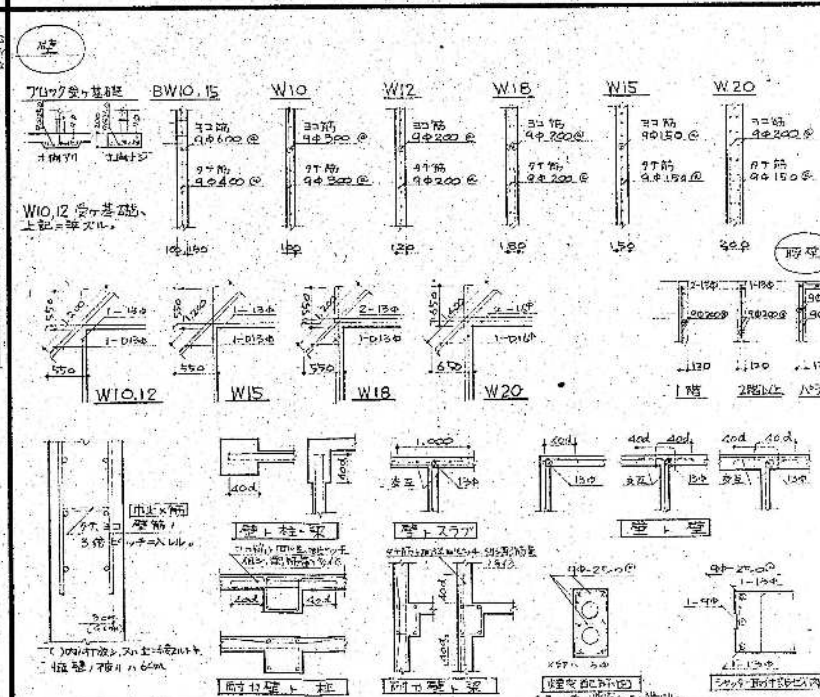
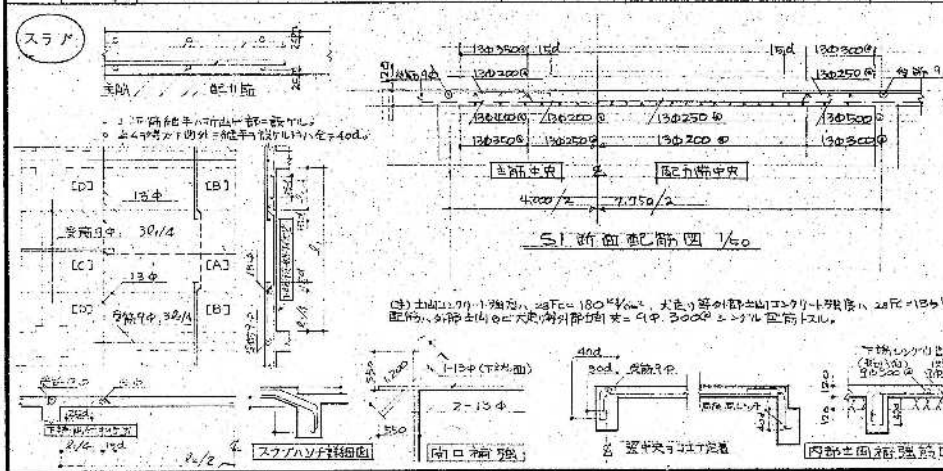
	G ₁			G ₂			G ₃			G ₄			G ₅			G ₆		G _{6A}		G ₇		G ₈		G ₉			G ₁₀		G ₁₁			G ₁₂			G ₁₃			G ₁₄			
	外端	中央	内端	外端	中央	3, 5端	外端	中央	内端	外端	中央	外端	外端	中央	内端	端	中央	端	中央	端	中央	端	中央	外端	中央	内端	全	外端	中央	内端	外端	中央	内端	外端	中央	内端	全	全			
2G																																									
断面 (b×D)	300 × 900			300 × 900			300 × 900			300 × 900			400 × 750			300 × 750		400 × 650		300 × 750		300 × 650		350 × 850			350 × 550		350 × 650			400 × 650			350 × 650			350 × 550			
上端筋	4-D22	2-D22	3-D22	3-D22	2-D22	4-D22	3-D22	2-D22	3-D22	3-D22	4-D22	3-D22	3-D22	2-D22	3-D22	3-D22	2-D22	4-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22
下端筋	4-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22
スラブ厚	90 150 ⑥			90 150 ⑥			90 150 ⑥			120 100 ⑥			120 100 ⑥			90 200 ⑥		90 150 ⑥		90 150 ⑥		90 200 ⑥			90 150 ⑥			90 150 ⑥			90 150 ⑥			90 150 ⑥			90 150 ⑥			90 150 ⑥	



(注) 1. 構造図(仮図、断面)は、フナリ型既設四角管の断面を
本基準既設断面とする。
2. 本基準既設断面=記載のレイアウト図(左)と、日本建築
学会編『鉄筋コンクリート構造設計指針』(昭和57年)第3版第4章第3節

板 厚 mm	鋼 筋 直 徑 mm	Fe = 180		Fe = 210		註 明 詳		
		SR24 (7-77A)	40 d	35 d	○	---	25 d	in D 25 d
		SD30 (7-77B)	45 d	40 d	○	---	22 d	in D 22 d
			30 d	25 d	○	---	19 d	in D 19 d
		SD35 (7-77C)	50 d	45 d	○	---	16 d	in D 16 d
		35 d	30 d	○	---	13 d	in D 13 d	
					○	---	9 d	in D 9 d

Fig. 1

[illegible]

鉄筋コンクリート工事仕様書

材	セメント: JIS R5210 普通セメント 生コン: JIS A5308 普通セメント
所	鉄筋: S424, D4φ, S430C (使用済)
工	鉄筋の使用は現場で必要に応じて行う。
法	鉄筋の埋入: S424, S430C, NAK1 (埋入)
諸	コンクリートの強度: 28日強度 25MPa (設計)
検	コンクリートの養生: 養生期間 28日 (設計)

断面図

断面図は、橋脚の断面を示す。断面は、コンクリートで構成され、鉄筋が埋入されている。断面の寸法は、図中に示されている。

[illegible]